2018年度大学「総合人間科学」保健福祉学部カリキュラムマップ

				10-1			大学の学位授	与の方針(DP)		
			単位	立数	DP1【失	u識・理解】	DP2【思考·判断】	DP3【関心·意欲】	DP4【態度】	DP5【技術】
			必修	選択	1-1)	1-2)	2-1)	3-1)	4-1)	5-1)
		キリスト教学(旧約聖書)	2 2		0					
		キリスト教学(新約聖書)	2		0					
	キリスト教教育	キリスト教と西南女学院のあゆみ キリスト教と文化 キリスト教と文化	1		O				0	
숮		キリスト教と文化		1	O				0	
全学共通科目		キリスト教と現代		1	0 0 0 0				0 0 0 0 0	
共	初年次教育	初年次セミナー I 初年次セミナー I	1		Q			0	<u> </u>	
通利		初年次セミナーロ	1		0			0	0	0
17		運動と健康 チームスポーツ	1	1	0					
		テームスホーラ 生涯スポーツ		1	0				0	
	女性と健康			1	0 ©				U	
		女性史		1	0					
		共生社会とジェンダー		1	0					
		保健福祉学入門	1		0 0 0 0 0			0	0	
		文学 日本国憲法		2 2 2	<u>©</u>					
		日本国憲法		2	Q					
		生物と生命科学		2	<u>©</u>					
	****	数学リテラシー ころと人間 経済学入門 生活の中の化学		1	Q					
	基礎教養	こころと人間		2	<u>©</u>					
		<u> </u>		2	<u>©</u>					
		生活の中の化学		2	<u></u>					
		人生と哲学		2	Q					
		ムーの10月 人生と哲学 法学 比較文化と国際理解		2 2 2 2 2 2	0 0 0 0				~	
		基礎英語					-		0	
保				1	0					
健		英会話入門		1	0					0
健 福		実用英語コミュニケーション		1	0					0
祉 学 部		中国語入門		1	0					0
字如		中国語発展		1	O					0
	アカデミックスキル	ハングル入門		1	O					0
通	アルナミックスモル	ハングル発展		1	Ø					0
共 通 科 日		日本語表現法		1	O					0
目		メディアリテラシー		1	٥					0
		情報処理基礎		1	Ø					0
		情報処理演習		1						0 0
		情報の理解と表現		1	0					0
		111年の理解と表現		1	0	-				0
				1	© © O					
	地域創生	北九州の技と文化 ボランティア概論		1	<u> </u>					· ·····
	吧坝剧土	ホランティア 概調 高齢者支援学 I		1	<u> </u>			0	0	· ·····
		<u>高駅有又抜子」</u> 高齢者支援学Ⅱ		1		0			0	· ·····
		高齢有支援子ロー	2	1	0	0		O	0	
	キャリア形成支援	キャリア開発 ライフイベントとキャリア支援	۷	1	0					· ·····
	イヤリア形成又抜	フィフィハントとキャリア 又抜		1	0				0	· ·····
		実践キャリアプランニング		1	0		1		U	

2018年度大学「総合人間科学」人文学部カリキュラムマップ

			224 /	L #L			大学の学位授	与の方針(DP)		
			里(立数	DP1【知	〕識・理解】	DP2【思考·判断】	DP3【関心・意欲】	DP4【態度】	DP5【技術】
			必修	選択	1-1)	1-2)	2-1)	3-1)	4-1)	5-1)
		キリスト教学(旧約聖書)	2		O					
		キリスト教学(新約聖書) キリスト教と西南女学院のあゆみ	2		O					
	キリスト教教育	キリスト教と西南女学院のあゆみ	1		O				0	
全		キリスト教と文化		1	O				0	
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		キリスト教と現代 初年次セミナー I		1	O				0	
全学共通科目	初年次教育	初年次セミナーⅠ	1		0 0 0 0 0 0			0	0 0 0 0	
通利		初年次セミナーⅡ	1		©			0	0	0
日		運動と健康 チームスポーツ	1		<u>©</u>					
н		チームスホーツ		1	0 0 0				0	
	女性と健康	生涯スポーツ 女性史		1	0				©	
		メ注文		1	<u> </u>					
		共生社会とジェンダー	1	1	0					
		人文学入門	l	0	0				0	
		文学 日本国憲法		2 2 2	0 0 0	+				
		日本国憲法 生物と生命科学		2	<u>©</u>	+				
		<u>エ初にエルドナ</u> 数学リテラシー		1	<u> </u>					
	基礎教養	<u> </u>		1	<u> </u>	+				
	SEC INC TA LIC	こころと人間 経済学入門		2	0	+				
		生活の中の化学		2	0	+				
		生活の中の化学 人生と哲学		2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	+				
		法学		2	Õ	1				
		比較文化と国際理解		2	0	1			0	
		中国語入門		1	O					0
人文		中国語発展		1	Ø	Τ				0
文学部共通科		ハングル入門		1	0	1				0
部		ハングル発展		1	0	1				0
共		フランス語入門		1	O	1				0
通科	アカデミックスキル	フランス語発展		1	0	1				0
E		日本語表現法		1	0	-				0
		メディアリテラシー		1	Õ	+				0
		情報処理基礎		1	0	+				0
		情報処理演習		1	Õ					0
		情報の理解と表現		1	0					
		北九州の過去・現在・未来		1		+	1			— <u> </u>
		地域プロジェクト		1	© 0	+		0	0	.
	地域創生	北九州の技と文化		1	0	+				· [· · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		ボランティア概論		1	0	+				
		キャリア開発	2	-		1	1			t
	キャリア形成支援	ライフイベントとキャリア支援		1	© 0	1		<u> </u>	0	1
		実践キャリアプランニング		1	Ö	1		<u> </u>	0	1

看護学科

学位授与の方針(DP)

看護学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士(看護学)の学位を授与します。

DP1【知識・理解】

1 - 1) 小川市、一小市 1 - 1) 看護の対象である人間の尊厳や多様性の理解と、社会をグローバルに捉える視点を修得している。 1 - 2) 看護実践に必要な基本的な知識を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1)健康上の課題を解決するため、情報や知識を活用し論理的に思考・判断できる。

DP3 【関心・意欲】

3-1)自立した女性として、生涯を通じて社会貢献しようとする意欲をもっている。
 3-2)健康支援に関わる人々と協働・連携し、生活の質を維持・向上させようとする意欲をもっている。

DP4【熊度】

4-1) 看護実践者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。
 4-2) 根拠に基づいて看護実践しようとする姿勢を身につけている。
 4-3) 社会の変化を捉え、自ら学び続ける姿勢を身につけている。

DP5【技能·表現】

1010年間、100年間の対象と良好な関係を築くことができる。 5-2)地域や社会において看護の対象に基本的な看護を実践できる。

教育課程編成・実施の方針(CP)

【専門教育科目】

 看護学科の教育 matrix, 「看護の発展」で構成する。 看護学科の教育課程は、看護実践者の育成を目的として、総合人間科学と専門教育の「看護を学ぶための基礎」「看護実践の基盤」「看護実践の応用」「看護実践の統合」

2. 「看護を学ぶための基礎」「看護実践の基盤」では、看護の対象である人々を理解し、看護を実践するための基本的知識・技術の修得および態度を育成するとともに、看護に 関わる倫理観を養う。

3. 「看護実践の応用」では、あらゆるライフステージ・健康状態にある個人・家族・集団・地域社会を対象に看護を実践できる能力を育成する。

4. 「看護実践の統合」では、これまでの段階的・系統的な知識を統合し、社会の変化に対応する力を養い、健康支援に関わる人々と連携・協働する能力を育成する。

5.「看護の発展」では、地域包括ケアおよび看護キャリア形成と看護実践を柱におく。地域包括ケアでは、地域社会の人々が望む暮らしに健康の側面から柔軟に対応できる能力 を養う。また、看護キャリア形成と看護実践では、女性として自立し、生涯を通して社会貢献する態度を育成する。

6. 看護師教育課程の卒業要件に加えて、保健師国家試験受験資格、教育職員免許状取得に関する科目を組み込んでいる。これらの関連科目を履修し、所定の単位数を修得することで、保健師国家試験受験資格、養護教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状(看護)を取得できる。

			必	選		l	開講時	「期・遁	授業	時間炎	ά											
		科目			1年	下次	2年	下次	3年	巨次	4年	次	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
			修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	3-2	4 - 1	4 - 2	4-3	5 - 1	5 - 2
\square		看護形態機能学 I	2		4									O	0							
		看護形態機能学Ⅱ	2			4								O	0							
		臨床栄養学	2					2						O	0		0					
	看	感染と免疫	2		3									O	0							
	護	疾病学総論	1			2								O	0							
	を	疾病学各論 I	2				4							O	0							
	学	疾病学各論Ⅱ	1					2						O	0							
	žş	看護のための臨床検査	1					2						O	0							
		薬理学	2				2							O								
	た	保健統計学	2			2								O	0							
	め	社会保障概説	2			2							O		0							
	Ø	家族と健康	2				2							Ø	0							
	基	対人関係論	1		2								0	Ø	0							
	礎	発達心理学	1				2						0		O							
		臨床健康心理学		1				1					0		O							
		医療と倫理		1		1								O				0				
		健康教育論	1				1							O	0							
		看護学概論	2		2								0	O		0	0	0				
		看護理論		1					1					O	0							
		看護倫理	1					1					0	Ø				0				

		必	選			開講時	F期・週	1授業	時間炎	k											
	科目			1年	三次	2年	三次	3年	三次	4年	次	DP	DP	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
		修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
着護	看護技術論	1		2								0	O		0	0	0		0		
実	生活援助技術論演習	3			6								O	0			0	0			
践	診療関連技術論演習	1				2							O	0			0	0			
0 #	フィジカルアセスメント技術演習	1			2								O	0				0			
基盤	看護過程論	2				4							O	0			0	0			
	基礎看護学実習 I	1			実習								0	0	0	0	0	0		O	
	基礎看護学実習Ⅱ	2				実習							0	0	0	0	0	0		0	Ø
	公衆衛生看護学概論	2			2								O	0		0					
	小児看護学概論	1				1						0	O								
	小児看護方法論	2					2						0	Ø		0			0		
看	小児看護学演習	1						2					0	0				Ø			
護実践	小児看護学実習	2							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
践 の 応	母性看護学概論	1				1						0	O	0							
用	母性看護方法論	2					2						0	Ø		0					
	母性看護学演習	1						2					0	0			0	O			
	母性看護学実習	2							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
	成人看護学概論	1				1							O	0	0						
	成人慢性期看護方法論	2					2						0	Ø		0					
	成人急性期看護方法論	2					2						0	Ø		0					
	成人看護学演習	2						4					0	Ø	0	0	0	0			
	成人慢性期看護学実習	3							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
	成人急性期看護学実習	3							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
看護実践	老年看護学概論	1				1							O	0			0	0			
実 践 の	老年看護方法論	2					2						0	O		0					
応用	老年看護学演習	1						2						0		0		Ø			
	老年看護学実習I	2							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
	老年看護学実習Ⅱ	1							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
	精神看護学概論	1					1						O	0							
	精神看護方法論	2					2						O	0		0					
	精神看護学演習	1						2						0		0		O			
	精神看護学実習	2							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
	在宅看護学	2						2					0	Ø		0					
	在宅看護学演習	1						2						0		0		Ø			
看護	在宅看護学実習	3							実習	実習				0	0	0	0	0	0	0	Ø
実	看護マネジメント総論	1					1						Ø	0		0	0				
践	看護研究	1						2					0	Ø					0		
の	看護研究演習		3							2	4			O				0	0		
統合	看護総合演習	1								1	1			Ø	0	0		0	0		
	看護総合実習	2								実習	実習			0	0	0	0	0	0	0	Ø

			必	選		Ē	開講時	期・週	授業	時間炎	k											
		科目			1年	三次	2年	次	3年	三次	4年	次	DP	DP								
			修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	3-2	4-1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
		看護学特論		1								1				Ø				0		
	地	地域連携協働支援論	1				1						0		0		Ø					
	域包	地域生活支援論	1						2					0	0		O			0		
	括ケア	緩和・がん看護学	1						2					0	O	0	0					
		NPO論	1	1								1			0		Ø			0		
看護の	看護	看護キャリア形成論	1				1									Ø		0		0		
発展	キャ	災害看護学	1									1		0	0		O	0	0			
	リ ア 形	国際保健論		1				1					0	0		O						
	成 と	ウィメンズヘルス		1					1					0	Ø	0						
	看護実	クリティカルケア看護学		1							2			0	Ø	0		0	0	0		
	践	看護マネジメント論		1							1			0	Ø	0	0	0		0		
		疫学	2	2			2							Ø	0							
		公衆衛生看護方法論 I	2	2			2							0	Ø		0		0			
2	λ.	公衆衛生看護方法論Ⅱ	2	2				2							Ø		0		0			
ジ 宿 ノ	牧新	対象別公衆衛生看護活動論 I	1	1			1							O	0		0		0			
宿ろ言和範疇		対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ	2	2				2							0		0		0			
日在	阿系斗	保健医療福祉行政と政策	1	1					1					O	0		0					
ŧ	3	公衆衛生看護活動演習	2								4				0		0	0	O	0		
		公衆衛生看護管理論	2									2			0		0	0	0	0		
		公衆衛生看護学実習	5								実習	実習			0	0	0	0	0	0	0	O
	能態ァ	学校保健	2	2				2						O	0		0					
置いていて、不	しょう	養護概説	2	2				2						0	O		0		0			
利	。 学 目	健康相談	2	2					2					0	O				0			
												0	1	34	22	3	4	0	6	0	1	11
												〇 計	10 11	22 56	51 73	21 24	40 44	29 29	29 35	23 23	11 12	0

看護学科

学位授与の方針(DP)

DP1【知識・理解】 1-1)豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけている。 1-2)看護学分野での基礎的知識を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1) 健康上の課題を解決するため、身体的・心理的・社会的な状態を把握し、論理的に思考・判断できる。

DP3【関心・意欲】 3-1)社会の看護・医療ニーズの変化に対応して、自ら学び続ける意欲を持っている。

DP4【能度】 4-1)看護専門編としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。 4-2)保健・医療・福祉の総合的視野から、健康支援に関わる人々と協働・連携する姿勢を身につけている。

DP5【技能・表現】 5-13看機の対象と適切なコミュニケーションを図り、援助的関係を形成することができる。 5-2)看機の対象に必要な看護ケアを提供することができる。

教育課程編成・実施の方針(CP)

1. 希護学科カリキュラムは、希護専門職育成を目的として、全学科共通科目の総合人間科学と専門教育科目「希護を学ぶための基礎」「希護実践の基本」「看護実践の広用・展開」「看護実践の気法」「希護実践の充実」で構成する。

2.総合人間科学では、「文化と宗教」「心身と健康」「環境と情報」「国際社会と現代」に関する科目を含み、豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養を身につける。

3. 「香護を学ぶための基礎」「看護実践の基本」では、看護の対象である人々を総合的に理解し看護を実践するための基礎的知識・技術の修得及び態度を育成するとともに、保健・医療に関わる倫理題を養う。

「看護実践の応用・展開」では、あらゆる健康状態にある個人・家族・集団・地域社会を対象に必要な看護ケアを提供する能力を育成する。

5.「看護実践の統合」「看護実践の充実」では、段階的・系統的な学習の集大成として位置づけ、社会の看護・医療ニーズの変化に対応する力を養うとともに、保健・医療・福祉の総合的視野 に立ち、関連職種と連携・協働する能力を育成する。また、生涯を通して主体的に学び続けるための基礎的能力を養う。

6. 看護師教育課程の卒業要件に加えて、保健師国家試験受験資格、教育職員免許状取得に関する科目を組み込んでいる。これらの関連科目を履修し、所定の単位数を修得することで、保健師国家試験受験資格、教育職員免許状を取得できる。

		選	(高	養教			開講時	;期・J	圆授業	時間劵	ζ										
	科目		看一護種	い一種	14	年次	2 ⁴	F次	34	年次	44	年次	到達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
		択	[∪] 免	免	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	5 - 1	5 - 2
	教職概論	2	2	2			2						 教職の登録や教師の職務内容、社会的責任などについて説明することができる。 専門職としての教師に求められる資質、能力について説明することができる。 教員兼改の歴史、現状、現職所修の動向について説明することができる。 教員条故の歴史、現代、現職所修の動向について説明することができる。 	Ø							
	教育原理	2	2	2		2							 教育の理念や思想、原理などについて基本的な事項を説明することができる。 学校教育の歴史や機能について基本的な事項を説明することができる。 現代教育の課題や改革動向について説明することができる。 	O							
	教育心理学	2	2	2			2						・学習のメカニズム(どのように人は発達して、学習し、考え、記憶するの か)の過程を設明できる ・学習活動にかかわる原因階層を物識(プけのタイプを表明できる ・児童・生徒との問わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる ・児童・生徒との問わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる	Ø	0						
	教育社会学	2	2	2				2					 子どもの発達を社会的、文化的条件から運解することができる。 現代社会によける子どもの発達に関するトピックスを学び、概要を説明することができる。 子どもの発達を説明する社会学の基礎的概念を活用することができる。 	Ø							
	教育課程論	2	2	2				2					 教育課程の宣義、編成の原理と方法などの基本的事項について説明することができる。 学習指導要領の内容と特徴について説明することができる。 教育課程成革論など教育課程の現状や課題について説明することができる。 	Ø							
	特別活動論	2	2	2					2				 特別活動の特徴で課題について理解し説明することができる。 学習指導要領における特別活動の位置づけや内容を理解し説明することができる。 学校・子どもの実態と特別活動における教師の指導性について理解し説明することができる。 特別活動に関わる実践記録を分析することができる。 	Ø							
	教育方法論	2	2	2					2				 教育実践の原理・電腦などについて説明することができる。 授業の原理や方法を理解し、学習指導家を書くことができる。 実践混除の分析方法を身につけ、分析することができる。 授業改革の課題と動向について説明することができる。 	Ø						0	
	看護教科教育法I	2	2						2				 1. 金融教育制度及び高等学校看護科教育の目標および教育課程について説明 できる。[1-2 3-1] 2. 希望教育の方法と学習課論について説明できる。[1-2 3-1] 3. 教材得死及び教材開発のあり方について理解し、教科体成できる。[1-2 3-1 5-2] 3-2] 4. 名職教育の授業説計方法について理解し、授業設計できる。[1-2 3-1 -7] 4. 名職教育の授業課価方法について理解し、授業評価方法を取り入れた授業 数計ができん。[1-2 4-3] 4. 日本の1 		0	Ø	0				0
教職	看護教科教育法Ⅱ	2	2							<i>←</i>	\rightarrow		(1) 高等学校電振科の要打相当な数な資源観を説明できる。[1-2 3-1] 1.高等学校電振科の要打相当な数な資源観を説明できる。[1-2 3-1] 2.2 看護数第における「実相」の学習形態の特徴について説明できる。[1-2 3.1 講義と変更の一体的な指導に係る長葉の設計方法及び評価について説明で きる。[1-2 3-1] 4. 臨地実習によける指導計画・指導方法について理解し、指導計画・指導方 法を作成できる。[1-2 3-1 5-2] 5. 複擬授養を実践し、零載的に評価できる。[3-1 5-2]		0	o	0				0
に 関 す	学校保健教育法	2		2						2			 (機関政策を未成し:参照内に計画)とさの(1%1 5*2) (中における保護教育の基本的な考え方について説明できる (1-2 3*1) (中・市・高等学校における保健教育の基本的な考え方について説明できる (1-2 3*1) (学校保護で重視される保健教育について説明できる [1-2 3*1] (株成長な展開するために指導計画を体でさる [2-1 3*1] (作成した指導計画を基に機擬授業を展開し、評価することができる[2-1 5*1] 		0	0	0			0	
る 科	道徳教育の理論と実践	2		2			2						 1. 道徳と実践にかわわる課題を理解することができる。 2. 学習指導薬の基本わら構造を理解することができる。 3. 学習指導薬の基本的な構造を理解することができる。 4. 道徳の授業実践にかわる基本的な知識を習得し、接擬授業の形で実践することができる。 	Ø						0	
目	生徒・進路指導論	2	2						2				 生徒指導の意義・内容を説明できる。 子ども理解の内容・方法を説明できる。 間範行前・トラブル多への対応ができる。 連絡指導・キャリア教育の意義・内容を説明できる。 	O							
	生徒指導論	2		2					2				 生徒指導の意義・内容を説明できる。 子ども理解の内容・方法を説明できる。 問題行動・トラブル等への対応ができる。 	O]
	教育相談(カウンセリングを含む。)	2	2	2				2					 生徒と数員間のコミュニケーションについて理解を深め、カウンセリング の技術を使うことが出来る。 学校内外で発生する子どもに関する社会的問題について理解を深めること が出来る。 子どもの問題に対して具体的な援助計画を立てられるようになる。 	O						0	
	事前及び事後の指導	1	1	1						←		→	1. 実習に臨た上で必要な知識及び技術を習得することができる【i=0 5-2】 2. 学校教育の現場で実習する上で、留意すべき事項を理解し、必要な物心两面の準備をおこなうことができる【2-1 3-1 3. 実習を通して体験した事項や課題について学生相互間で意見交換をおこな うことができる【2-1 3-1 5-2】 2. 愛習を通して修得した事項や課題を整理することができる【2-1 3-1 5-2]		0	0	0				Ø
	教育実習 I	2	2								←	\rightarrow	1. これまで環接した教職科目及び専門科目等の知識及び理論に基づいて、授 要を展開できる。[2-1 5-2] 2、実習故の教師及び生徒との交流を通して、望ましい教師の資質及び能力の 向上を図ることができる。[2-1 3-1 4-1 4-2 5-1] 3. 教育における研究課題を発見し、課題解決に向けた取り組みについて考え ることができる。[1-1 2-1 3-1]	0	0	0	O	0	0	0	0
	養護実習	4		4							←	\rightarrow	 実習校における学校保健活動全体の展奨を理解し、説明することができる [1-2 2-1 3-1] 取員としてのあり方を理解し、学校組織の一員として他の願員と協働し行 動することができる。[1-1 2-1 3-1 4-1 4-2] 実習校における、保健教育を理解し、顔別や集団に対する保健指導を行う ことができる。[2-1 3-1 5-1 5-2] 	0	0	0	O	0	0	0	0

教職実践演習(中・高)	2	2					 教職職員での学びを再点検し、自らに残された課題を探ることができる。 [2-1 3-1] 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し 伸ばすことができる。[2-1 3-1] 宿候される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探 ることができる。[2-1 3-1] 生実提解に基づいた教育活動を展開することができる。[3-1 5-1 5-2] 長梁の計画、実施:評価に関する知識と実践力を伸ばすことができる。 [3-1 5-2 5-2] 	O	0	0	
教職実践演習(養護教諭)	2		2			2	1. 教職課題開連発目について振り返り、各自に残された課題を確認すること ができる。[2-1 3-1] 2. 教養教諭として求わられる資質(能力を具体的な学校場面に位置づけて考 えることができる。[2-1 3-1] 3. 信報をれる学校づくりに資する実験教諭のあり方について理解を深め、意 見を述べることができる。[2-1 3-1] 4. 児童生後等の理解とそれに基づく教育活動について実践する方法を身につ けることができる。[3-1 5-1 5-2] 5. 保養教育の計画(実施・評価に関して実践的な活動を展開することができ る。[3-1 5-2 5-2] 6. 実養教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用法を身につけるこ	0	0	0	

福祉学科 学位授与の方針(DP)

DP1【知識・理解】 1-1)豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える視点と知識を身につけている。 1-2)対人援助に必要な基礎的知識を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1)個人や社会の福祉的課題について、的確に把握し、支援方法を検討できる。 2-2)対人援助職としての倫理的判断ができる。

DP3【関心・意欲】 3-1)人びとのいのちや生活について、さらに社会の福祉的課題について関心を持つ。 3-2)課題解決に向けた創造的な支援とは何かを探求しようとする意欲がある。

DP4【態度】 4 ~1) 社会の一員としての自覚を持ち、責任を持って行動できる。 4 ~2) 人びとの異なる立場や考え方を理解し、協力することができる。 4 ~3) 自らを成長させるための課題を自覚し、自己研鑽に努めている。

DP5【技能・表現】 5・1〕他者と開わる上で必要とされる基本的なコミュニケーションスキルを身につけている。 5・2)対人裏明慮しての基本的な専門的スキルを身につけている。

教育課程編成・実施の方針(CP) 1. 福祉学科は、福祉・養護教諭コースと子ども家庭福祉コースで編成される。

2.各コースとも社会福祉士国家試験受験資格を基本として、福祉・養護教諭コースでは、同時に精神保健福祉士国家試験受験資格、養護教諭一種免許状のいずれか1つを取得することができる。子ども家庭福祉コースでは、同時に保育士資格が取得できる。

3.福祉学科カリキュラムは、教養科目を基盤として専門教育科目は、「福祉基礎科目」「福祉専門科目」「精神保健福祉関係科目」「福祉心理臨床関係科目」「保健・ 医療関係科目」「保育関係科目」「専門研究科目」と教職に関する科目で構成する。

4. 「福祉基礎科目」では、専門的学習の準備として基礎的な対人援助のイメージを確立し、社会福祉士、精神保健福祉士、業護教諭、保育士に必要な学習スキルとコミュニケーションスキルを獲得する。

5.「福祉専門科目」「精神保健福祉関係科目」「福祉心理臨床関係科目」「保健・医療関係科目」「保育関係科目」及び敷職に関する科目では、社会福祉士、精神保健 福祉士、養護教諭、保育士として必要な専門的知識と理論及び技術の修得を目指すとともに、専門職としての態度を育成し倫理観を養う。

「専門研究科目」は、学びの集大成として位置づけ、3年次、4年次と継続して開講し、自らの課題を設定し探求する姿勢を身につけるとともに、主体的に学び続けるための基礎的能力を美う。

		必	選		I	開講時	F期・i	週授業	時間刻	敗													
	科目			1年	三次	2年	F次	3年	F次	44	戶次	利達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	DP	D P	D P
		修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	2 - 2	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
	ヒューマンサービス基礎演習	1		2								ビューマンサービスの専門家として必要な次の3つの基礎的能力を形成する。 D 自分を表現する力を形成する。 ② コミュニケーションを通じて関係をつくる力を形成する。 ③ 人と協力して物事を進める力を形成する。							0	0	0	©	
	基礎実習		2	2	2							 実習生としての心様え・マナーについて理解し、実践できる。 実習に向けた諸手続とについて理解し、実行できる。 利用者との関係形成の方法について理解し、実践できる。 実習施設での具体的な支援について理解し、実践できる。 					0		0		0	0	
	<u>福祉入門</u>	2		2								1. 福祉を学ぶ意義について理解できる。 2. 福祉への興味・関心を高め、自ら芋びを深めることができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	現代社会と福祉	4						2	2			1.現代社会における福祉期後と福祉政策について関策し、説明できる。 2.福祉の現金やくる理論と哲学について開発し、説明できる。 3.福祉制度の発達過程について理解し、説明できる。 4.福祉政策における必要と貸款、課題について理解し、説明できる。 5.福祉政策の保護委者と相違政策について理解し、説明できる。 6.相談援戦所活動と福祉政策の関係について理解し、説明できる。	0	0	0	0	0	0					
	社会学概論		2		2							 社会学による社会理解の基本的方法を理解できる。 総計一・学物宣称わら社会の様子を読み取ることができる。 社会学史における思想や方法論の変遷を理解できる。 現代社会の麗色を懇互し、それを把握するための社会学的方法と結びつ することができる。 	0		0								
	社会調査の基礎		2							2		 社会講家の意義と目的 建約デージとその方法 置約デージとその方法 質約デージとその方法 社会講査を支除する技術と道具 社会講査における倫理と個人情報保護 	0		0	0							
	相談援助の基盤と専門職	4		2	2							 社会醫社、精神保護福祉士の発賞と意識について説明できる。 相談説物の現色を範囲について説明できる。 相談説物の現色と権引換率の意象を範囲について説明できる。 相談説明に応め背障と専門機構構成準にかいて説明できる。 総合的かつ包括的な提明と多職構進構成について説明できる。 	0	0	0	O	0	0	0	0			
	相談援助の理論と方法 I	4				2	2					1. 和該援助における人と環境との交流作用に関する実施について説明できる。 2. 相談援助通路とそれに係る効果と技術について説明できる。 3. 相談援助におけるめざすべき規則関係の形成について説明でき。 4. 相談提助における機関構係が見た生とも問題していて常時するととがで 5. 5. 6. 7. 相談提助のための面接技術について説明し、活用することができる。	άr.	0			0						
福	相談援助の理論と方法Ⅱ	4						2	2			1. 様々な生活上の問題を人と環境との交互作用の中で生じる事象として考 がなしたがそさ、 なるしたがそさ、 3.4 福祉振動の対象となるクライエントンズアムについて説明できる。 3.4 地域に加ら細枠を可能にする社会資源の活用,調整、開発、ネットワー: ンパこついて説明できる。 4.4 様々な実践とデルやアプローチの特徴について説明できる。 5.4 福炭取明における事門分析の意識や力法について意解する。 6.4 福装取用を通して、総合的かつ包括的な相談提動の実践力法についい 考察することができる。	0	©	0	0	0	0		0			
祉 専 門 科	地域福祉論	4				2	2					 地域福祉の基本物た多文が、地域福祉の主体と対象を理解できる。 地域福祉に係る組織、信体及び専門線の夜都と実際について豊晴できる。 住民等加の意味と方法について豊晴できる。 住民等加の意味と方法にないで豊晴できる。 地域福祉の大学になった場合にないて登録できる。 地域福祉の環境と支援について豊晴できる。 地域福祉の環境とておからの地域福祉のあり方について可解できる。 	0	0	0	0	0	0	0	0			0
B	福祉行財政と福祉計画	2						2				福祉行教と福祉者面について発転し、その仕組みを設明できる。 2 福祉行我について理解し、説明できる。 3 福祉特徴について理解し、説明できる。 5 福祉計画の創動と言葉について理解し、説明できる。 5 福祉計画の目的と言葉について理解し、説明できる。 7 福祉計画の実際について理解し、説明できる。	0		0		0	0	0				
	福祉経営論		2							2		1. 福祉サービスにおける歴営の必要性と、社会福祉士の役割について理解し、 現所できる。 2. 福祉サービスにかからる組織や団体について理解し、説明できる。 3. 福祉サービスの創建し営の意識について理解し、説明できる。 4. 福祉サービスの管理運営の方法について理解し、説明できる。	0	0	0		0						
	社会保障論	4				2	2					 社会保護の使き・対象・使系について説明できる。 社会保護が足ち関係除納度の間除について説明できる。 社会保護が足ち関係を構成の間について説明できる。 社会保護が良されるとしたできる。 社会保護が内容について説明できる。 人主会保護が良されるとした。 サイントントントントントントントントントントントントントントントントントントント	0	Ø			0						
	高齡者福祉論	4				2	2					1. 高齢者の生活実態及びこれを取り巻く社会環境について理解し、説明できる。 2. 高齢者名使植品地度の展開造程について理解し、説明できる。 3. 介護保険期でして批易くその他の高齢者省価の出効度について理解し、説 できる。 5. 高齢者の沖みなも、精神・社会的特性について理解し、説明できる。 5. 余齢者の沖みな体、精神・社会的特性について理解し、説明できる。 5. 介濃酸化力等にかり多本体の考え力と認えについて理解し、説明できる。 5. 介濃酸化力等がり多本体の考え力と認えについて理解し、説明できる。 5. 介濃酸化力等がり多本体の考え力と認えについて理解し、説明できる。 5. 介濃酸化力等がり多本体の考えたと認えてついて理解し、説明できる。 1. 分濃酸化力です。体気期ケブ、体気期ケブ、し環境整整を含む)について理想 1. 説明である。たいに可想のため、	ő	O	0	0	0	0					
	障害者福祉論	2					2					1 確認のある人の福祉の優先や概念について資料する。 2 確認のある人の経法発展して、たていいて資料する 2 確認のある人の福祉制度の歴史的な展開、そ知の状況について理解する 3 確認のある人についての決定開業する結構をと見な支援について透解する 4 支援サービスの提供と相談援助の方法と制度など理解する	©	0			0						

			必	選			開講師	寺期・う	週授業	转間	敗			Γ										Γ
		科 目			14	手次	24	手次	3±	手次	4年	F次	到達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
i	i		修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	1 現代社会と子どもと家庭について理解する	1 - 1	1 - 2	2 - 1	2 - 2	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
専		子ども家庭福祉論	2				2						1 %以仏云ですとなる迷茫がいて運動する 2 子ども家庭猫雄の広想と子どもの権利の逆展の歴史について理解する。 3 子ども家庭猫雄の活動度について理解する。 4 子ども家庭福祉同時する組と保健について理解する。 5 子どもと家庭への援助活動の在り方について理解する。	0	©			0						
		公的扶助論		2					2				1. 低所得考着の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際につい 感覚できる。 2. 生活体凝拒の原理・原則、保護の種類と内容、手続、管理運営体制につい 感気できる。 3. 生活保護制度における専門職の発料と勉勵後との連携について現実できる。 5. 自立支援プログラムの目的と実際について理解し、低所得着層の自立のあり がについて考察できる。	5	0	0			0					
門		医療福祉論		2			2						 保健医療サービスの総体的な理解とその活用を図れる知識・技術を身につう ることが出来る。2.保健医療領域における専門職の意義と役割を理解できる。 	[†] ©	0	0	0	0	0	0	0		0	0
		就労支援サービス論		2							2		1. 就労支援の必要性と社会福祉士の役割について照解し、説明できる。 2. 雇用 彼労の動向と施展について理解し、説明できる。 1. 健美学を代析者やの意力支援サービスについて理解し、展明できる。 3. 就分支援にかっわる基礎知識を用いて、就分支援について実践的に考える。 5. 就分支援にかっわる基礎知識を用いて、就分支援について実践的に考える。	. 0	0	0		0						
201	福祉	権利擁護論		2						2			1. 相談機師活動において必要な知識となる悪法・民法・行教法の基礎につい 第年できる。 2. 成年税見制度: 1常生活自立支援率素を中心とした、権何機構に係る諸助 こので実務すである。 3. 社会的に支援必要なる。 5. 名紙: 114月には可管問題の発酵よび賃貸について理解できる。		0	0			0					
	専	司法福祉論		2							2		1. 更生保護の対象者も社会の一員である、ということを正しく認識できる。 2. 更生保護制度の概要について説明できる。 3. 更生保護制度における関係機関の連携・協働について説明できる。 4. 更生保護・司法福祉の現状と課題について認識し、考察できる。		O	0			0					
	門科目	社会福祉の歴史と思想		2		2							1. 近代日本における社会融俗の生成の要要で学ぶ。 2. 倉垣現代務: 魔聖改良, 進化数な, 魔知裏難, セツルメント運動から労働) 動物代表的な社会施祉思想について等す文献学成者が資料, ビブス等等を通して学 3. 社会磁地先駆者の思想からソーシャルワータの価値について考察する 4. 特定の人物について運用、その実践と思想をより高く主体的に学ぶ。	©				0						
		介護技術演習		2		<u>2</u>							 安全で快適な生活環境の必要性を理解し、実際に展開できる。 日常生活における基本介護の技法を理解し、実際に展開できる。 緊急時の対応について理解し、実際に展開できる。 		0								O	0
		家庭支援論		2							2		 実庭の登業と機能について理解する。 子育て実施をとりまくたた的状況について理解する。 子育て実施支援権制について運解する。 子育て実施支援権制にのごを照射する。 生活しの問題を抱えた実施の状況をアセスメントし、ニーズに応じた支援の 規則と関係機関との連携に いて考察することができる。 	>				0	0					
6 4		<u>スクールソーシャルワーク論</u>		2								2	 スクールソーシャルワーカーの必要性が説明できる。 スクールソーシャルワーカーの専門的役割や実践活動内容が説明できる。 	0	0	0	0	0	0					╞
目		相談援助演習 I	1			2							1. 相談磁動演習の体素、それぞれの内害と位置づけについて理解できる。 と、現在としている描述的課題・問題(22歳虚待、ホームレス、高齢者虚待、 味、引きこちりなど)について理 年に見合いたである。 はと認識社上での蓄動領域・場、そこでの具体的な支援内容、役割について説明 できる。 自ら自身の増越や思考機同に目を向け、対人援助場面における自己覚知の 改都について説明できる。 、基本的なコミュニケーション技術について環解し、活用できる。		0	0		0			0	0	0	
		相談援助演習Ⅱ	1				2						1. 相談援動の展開過程における課題と留意点を理解し、面接技術を活用でき 5. 相談援動の専門職として求めたる価値・実践の原則について理解し、活用 できる。 5. 利用者の生活状況を包括的に理解する視点と力法について理解し、活用でき 5. 利用者の生活状況に介入する方法について理解し、活用できる。 6. 利用者の生活状況に介入する方法について理解し、活用できる。		0	0	0						0	0
		相談援助演習Ⅲ		1				2					1. 相談援助の対象者及び地域が抱える課題とその社会的背景について理解でき 者談援助の展開電程について賃貸し、実装できる。 3. 相談投防で用用されるお曝、体気について賃貸し、実装できる。 4. 相談投防の実践モデル・アプローチについて賃貸し、実装できる。 5. 相談提助の専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくこと ができる。	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
専		相談援助演習Ⅳ		1					2				 相談援助の対象者及び地域が抱える課題とその社会的背景について理解でき 2.相談提明の開端器について理解し、実施できる。 相談提明で用端器はもか場。技術について理解し、実践できる。 相談援助の実施モデル・アプローチについて理解し、実践できる。 相談援助を専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくこと いできる。 	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	福祉専	相談援助演習V		1						2			 相談援助の対象者及び形態が抱える課題とその社会的背景について理解です。 相談援助の規制におくちが調査化について理解し、実践できる。 相談援助の実践モデル・アプローチについて理解し、実践できる。 地域協動の実践モデル・アプローチについて理解し、実践できる。 地域協動と監備と構成に知らな知識、技術について理解し、実践できる。 地域協議と(活動)計画の第定や福祉サービス評価の手法について理解でき。 地域協議のを専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。 	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	門科目	相談援助実習指導 I		2			~						1.4 総援助来習および相談援助表習指導の意意、目的について理解する。 2.4 総長助来習を行う今来習分野および施設・機関について理解を読める。 3.4 相談援助来習に騙わうえで必要な姿勢・64歳を身につける。 4. 実習施設で必要とされる知識・提助技術について理解する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	O	0
		相談援助実習指導Ⅱ		4					2	2			1. 相談提供に称う知識・技術の実際的な理想を深め、実践的に体得する。 と 相談提供に称う知識・技術を実際に活用し、相控規則構にを要な営業、技術 を習得する。 3. 職業業績要を求け付し、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 4. 相談規則実習に向けての準備・手続き、実習後の予習について理解する。 1. 相談規則実習では集受後期活動を専門的援助技術として載念化し、理論 し、体系立てていく能力を演奏する。	0	0	Ø	0	0	0	Ø	0	Ø	0	0
敗		相談援助実習		4					÷	→			1、実営を通して構設扱いに係る知識と技術について実際的に理解し、体得す の、社会福祉として求められる実践 技能。自己に求められる異題把握等す 合的に対応できる進ルを習得する。 3、職業商業を分化けた、法会福祉ととしての自覚に基づいた行動ができる。 4、間違の努め専門職との逮捕のあり力およびその具体的内容を理解し、実践 30。 5、実営での具体的な体験で活動を通して、援助技術を概念化し、理論化する。 ができる。	°.	0	0	©	0	0	Ø	0	0	0	0
		精神保健福祉に関する制度とサービス		4			4						 精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて説り できる。 精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容につい (変別できる。 精神障害者の支援において係わる施設・団体・関連機関等について説明できる。 サー度電動度と医療最後起について説明できる。 十会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知 と理解し説明できる。 	* 0	0	0	0	0	0		0	0		
育		精神障害者の生活支援システム		2				2					1. 特特確認者の丘底支援の登載と特徴について理解し説明できる。 2. 特特障害者の殆ど支援に関する制度, 施策と相談後勤活動について理解し 引できる。 3. 職業リハンビリテーションの既会友び特特障害者数方支援に関する制度・施 4. 桁政機関における特特保護福祉土の相談援助活動について理解し説明できる。 4. 行政機関における特特保護福祉土の相談援助活動について理解し説明でき 5.		0		0	0	0		0		0	0
4	精神保健福祉関	精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 [2		2			4				 精神保護福祉土が行う相謀援助の対象と相謀援助の概要について理解し説り できる。 精神儒書者の相謀援助に係る専門職の理念と範囲について理解し説明できる。 精神儒書者の相謀所における権利擁護の意義と範囲について理解し説明できる。 精神儒者者の相謀所における権利擁護の意義と範囲について理解し説明できる。 精神儒人転換加速の運行の変更な現明できる。 対静体展転度施加必要な内容定効用できる。 対静体展転度施加必要な方法できる。 	ŝ	0	0	0	0	0		0		0	0

			必	選			開講時	_{岸期・}	週授業	時間	数			Τ										
		科 目			14	手次	2年	F次	34	手次	4年	戶次	到達目標	DP	DP	D P	D P	D P	DP	D P	DP	DP	DP	D P
			修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	2 - 2	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
	《係科目	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		4						4			(新幹府總福祉和憲規前法額の周囲が現所できる。 一般を多く整にした相接助の原則ができる。 人物を考慮した相接助の原則ができる。 の一個である。 の一個である。 の一個である。 の一個では使細症の実践場面が想定でき、具体的相談支援のイメージを説明できる。 5.		0	0	0		0		0			
日		精神疾患とその治療		4				4					1. 精神確當に起こりやすり 症状 (精神症状) とそれを表現する指語を理解し、 19を説明できる。 2. 精神確認の各々について理解し、その内容を説明できる。 3. 精神確認の信頼 社会復帰および社会資源の活用について理解し、その内容 を説明できる。		0			0		0	0			
		精神保健福祉援助演習 I		1				2					相談援助に係る基礎的な知識と技術について実践的に理解できる。 専門的援助技術を概念化し理論化し体系立てていくことが理解できる。	0	ø	0	0	0	0	0	Ø	0	ø	O
		精神保健福祉援助演習Ⅱ		1					←				 精神障害者の生活や生活上の困難について把握し説明できる。 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について習得し実践できる。 	Ŕ	0	0		0	0		0	0	0	o
		精神保健福祉援助演習Ⅲ		1							<i>←</i>		3. 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。 精神障害者の生活や定話上の周期について把握し説明できる。 精神障害者に出た水られる相差扱助に係る知識と技術について習得し実習できる。 専門的提助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。 	ξ. O	0	0	0	0	0	0	Ø	0	0	©
		精神保健福祉援助実習指導I		2					¢				5. 雪川市道的広街にしてお助してお願いてきた。 5. 雪川市道的広街市となって観察できた。 2. 精神総構施経動実営の選ぶれている現状及り、生活上の因際について理解できる。 3. 精神総構施地展開に係る知識と技術について具体的、実際的に理解し実践的な技術等を体得する。 4. 精神体構施社長して求められる質質、技能、倫理、自己に求められる質質、技能、倫理、自己に求められる異異、図響、総合的に対応できる。		0	0	0	0	0	0	O	0	0	0
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		4							2	2	春神保健區経現動実習の宣衆について理解できる。精神障害者の置かれている 以及び、生活上の周疇について理解できる。精神保健総社援助に係る5編集と構 こっいて、具体的つ実際的に理解、実践的な技術等な体料する。精神保健 ととして求められる質質、技能、編集、自己に求められる課題把握等、総合的1 的でできる。	E O	0	0	0	0	0	0	Ø	0	0	0
専	精神保健	精神保健福祉援助実習 I		2					-	<i>~~~</i>			1. 精神保護描述規則定びに留き者等の相談規則に係る専門的施設と技術について見体的の実際的に理解に実践の技術等の体長と目指す。 足、精神保護描述規則支援を通して、精神障害者のおわれている現状を獲解し、 やま活業整定本圧しの課題について把握し説明できる。 3. 精神保護描述として求められる覚覚、技能、倫理、自己に求められる課題 (感素)、68から100%の決壊法を支援し関連分野の専門職との連携のあり方及び その具体的内容を実践的に思解できる。	Ŭ	0	0	0	0	0	0	O	0	Ø	0
門	~福祉関係科目	精神保健福祉援助実習 II		2							←→		1. 利用者やその関係者、版準・範囲、事業者、目体に民や示シシッティア等と、 なが知るさま。ホーシーコンや人との付き合い方などの用冷な人間関係を形成 ることができる。 2. 利用者者操作とかの需要の把握及び支援計画の作成について2種は見限できる。 1. 利用者者やその関係者(家族・親族・女人等)との支援関係の形成について2 4. 利用者やその関係者(家族・親族・女人等)との支援関係の形成について2 4. 利用者やその関係者(家族・親族・女人等)への特特擁護及び支援(エン・ ノンドと含なり、となの評価にいつい環境は見切できる。 5. 精神冷概器・保健・福祉に係る多層種連携化はひたする支援におおるチーー フレントを含なり、とない実績に見切できる。 6. 精神冷機器福祉とたしての職業価額と注意付き構成して必要にと思うできる。 6. 精神冷機器福祉とたしての職業価額と注意付き構成の主要になってごろ 6. 精神冷戦者の大部分、電気の振行を認定へのご類を起 8. 施設・機関・事業者・団体等のあるとついて2種 に見到できる。 9. 当該実務先が接続社会の可能加定・機関・事業者・団体等であることへので 9. 当該実務先が接続社会の可能加定・機関・事業者・団体等であることのでの 9. 当該実務先が接続社会の可能加定・機関・事業者・団体等であることのでの 9. 当該実務先が接続社会の可能加定・機関・事業者・団体等であることのでの		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教		精神障害者地域生活支援論		2								2	社会資源の活用・調整・開発に関して理解し説明できる。 1. 特殊障害者の生活支援の意義、特徴が説明できる。 2. 特殊障害者の居住支援や、数労支援について実践と制度施策両面から説明が できる。 3. 地域においての特神保護福祉士としての活動が、具体的イメージをもって説 引できる。	0	ø	0	0	0	0	0	0	0		
育		心理学概論 I		2	2								1. 心理学とは何か、心理学の自治すもの、人間性のモデル、問題発起と実験 こついて説明できっい、説明であった。人生の各時期の発達特徴について説明できる。 2. 発達と処理やの親点がら、人生の各時期の発達特徴について説明できる。 は、デロプサライとは何か、特性論、型意識、特神方節的理論、人間学的理 論、学習理論などの人格心理学の親美について説明できる。 4. 個人差の作用、人格の薄化、知識化量ななど、臨床心理学の心理プセスメン 5. ストレス、精神医想の問題、心理学が方法による行動変容など、臨床心理 その心理学が使動の問題について説明できる。 6. 集団接紙、リーダーシップ、説得と態度変化など、社会心理学の概要につい 説明できる。	0	Ø			Ø						
	福	心理学概論Ⅱ		2		2							1. 神経系の仕組み、情報の入力と体制化などの神経心理学の観察について設 打さる。 2. 学習とは向か、条件づけ、行動の制御、社会的学習理論など、学習心理学 変更について認知できる。 当時のに対していたで説明できる。 4. 動機づけ、情報などの感情の必要での必要でについて説明できる。 4. 動機づけ、情報などの感情の必要での感要について説明できる。 5. 発達の研究力法、各機能の発達的変化等、発達心理学の感要について説明で さる。	0	0			0						
	11社心理	認知行動療法基礎演習		1				2					 認知行動療法の歴史、意義、適用を説明できる。 認知行動療法の基本的な考え方、技法、支援過程を説明できる。 		0	0		0						
科	「臨床関係	<u>発達アセスメント演習</u>		1					2				1. を種発達検査や知能検査の士台となる理論を理解し、今後の学習に活かす、 とができる。 2. 検査実施のための技術の基本を身につけ、実践に活かすことができるよう 另方を始める。			Ø	0		0					©
	科目	高齡者臨床心理演習		1						2			益価編は心理度習いでは、高齢者質報におけるアセスメントと編床心理学的ア: ローチについて実快やディスカッションを通して学習を取める。 1. 高齢者を対象とする原の福祉編体心理学の環題について説明できる。 2. 高齢者: 認知定高齢者のアセメメントの実際、心理療法の実際について説明 できる。 3. 各アセスメント、心理療法についての理想を深め、福祉専門職の視点からら				0		0					©
日		発達心理学1		2		2							1. 小型の電力電力に増加したし、ご参加電気の支援のとしている。 1. 転児期の発達機能しいて説明できる。 2. 各機能の発達機能と発達の仕組みについて説明できる。 3. 発達と信息の関係にかいて説明できる。 3. 発達と信息の関係にからご説明できる。 2. 今年の発達理論、ブルーナーの交達理論、エリクソンの発達理論)について 説明できる。 5. 発達皮障を発達課題について説明できる。 6. 発達の研究方法について、それぞれ対比させながら説明できる。	*	0			0						
		発達心理学Ⅱ		2			2						1. 生産要達の要学の成功立ちと研究方法について説明できる。 2. 来接設設置を建築間について説明できる。 3. 責任期以降の身体的特徴、知覚、運動機能、けかぶ方けなどの身体機能の発 違こいて説明できる。 4. 責任界以降の知能、記憶、思考、前法性などの認知機能の発達について説 6. 責任期以降の実施と活、職業生活に関連する自己の発達について説できる。 6. 責任期以降の実施と活、職業生活に関連する自己の発達について説できる。	0	0			0						
		発達臨床心理学		2						2			1. 自間をベイクトラム諸客のある人たちの特徴について、説知、情勤、コミン ラレージョン、大法信の観点から現内できる。 2. 自閉をベイクトラム諸客のある人に対する援助法である「対人関係発達指 4. (DDI) 」の優定にいいて説明でし、の他の援助法と「対人関係発達指導法 (301) 」との違いについて説明できる。	¢.	0	0		0						
専		発達臨床心理学演習		2							2		 割り当てられた実装研究の内容についてまため、報告できる。 編告された研究について、積極的に意見を述べ、ともにディスカッション(し、研究に対する開発を濃めら、 い研究に対する開発を濃めら、 3、報告・クループ討議を通して、発達臨床も理学的実践に活かす努力を始め ら。 執告・ウループ討議を通して、発達臨床も理学的実践に活かす努力を始め 執合の中央の供給、切り、中央も少児し、シウトのと非常に、「知知のたさ」 	2		Ø	0		0			0		
門		障害者心理学		2				2					1. 確害の定義(低学・福祉、教育的立場からの定義)を整理して説明できる。 2. 視覚障害者、健康障害者、気地的障害、肢体に自由者、重重・重義障害者、 附加障害者、発達障害者の心理特性の理解と心理的規則の在り方について説明 さ。 3. 障害受害の諸説を理解し、障害者及び家族の心理状態に応じた援助について 現明できる。		0	0		0						
1	福祉心	藍床心理学概論		2		2							1. 臨床心理学の定義、歴史、現状の概要について説明できる。 2. 臨床心理学の歴境となっている振興論と発展し、説明できる。 3. 発達理論となら臨床への応用しついて、その既長を説明できる。 4. 対象と覚解する上でのバーソナリティ 国連と発達理論が形たす役別を理解 し、説明できる。 5. 臨床心理学的規則における心理アセススとトの視点について理解し、心理 ット・イルドインドエールになった面でしないなか。	0	0			0						

			必	選		1	開講時	∲期・∃	週授業	時間数	发			Γ										
		科 目			1年	戶次	2年	手次	3年	次	4年	F次	到達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
			修	抧	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	2 - 2	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
	理臨床関	カウンセリング論		2			2						 カウンセリングの基本構造について説明できる。 様々なカウンセリングの形態に共通する主要なカウンセリングの段階とプロ セスについて説明できる。 代表的な4つのカウンセリングの立場とそのプロセスについて説明できる。 		0	0			0					0
教	係科	社会心理学		2						2			 社会的な存在としての人間について説明できる。 人間に影響を与える社会的要因およびその影響の結果について説明できる。 社会会理学の各領域における理論を説明できる。 社会会理学の各領域における実験・調査の手続きとその結果を説明できる。 	0				0						
育		家族心理学演習		2							2		5. 1. わが国における家族の変化を説明できる。 2. システム論に差で、実践理解を使め、現内できる。 3. 客様の実態支援において抱えくすい問題を理解し、個々の問題への支援の力 3. 客様の問題権決を家族と共に進めることができるような基本的な態度とスキ ルを獲得する。		0	0		0						
		<u>カウンセリング演習</u>		1							2		 心理カウンセリングの定義、アプローチ、学び方について理解している。 心理カウンセリングの基本的態度を修得しようと努力することができる。 心理カウンセリングの技術の質を向上させるための方法を理解し、それに向けて努力することができる。 	1		0	0					O		0
		健康臨床心理学		2							2		 建築心理学と健康臨床心理学の目的と課題を説明したり、知識を整理することができる。 建築臨床心理学の基盤となる諸理論を説明したり、実践に活かけ視点を説明 できる。 臨床の場における心理支援の展開を説明できる。]	0	0		0						
科		スクールカウンセリング論		2								2	 「スタールカウンセラー事業」の概要について説明できる。 学校で行うカウンセリングの特徴について説明できる。 スタールカウンセラーと教員、教育委員会等他職種との連携について説明で きる。 	2		0	0		0					
	保健	医学総論	4				4						1. 人の成長・発達について説明できる。2. 人体の構造と機能(心身機能と身体 構造)について説明できる。3. 各種の実態の成り立ちについて説明できる。4. 障害について良好的に説明できる。5. リハビリテーション について具体的に説 明できる。6. 国際生活機能分毎(ICP) について具体的に説明できる。7. 健康と 疾病を防ぐ保健対策について具体的に説明できる。	O				0						
Ħ	・医療関	微生物学		2		2							 個本の病原拠生物の性状(感染源・感染経路・病原因子・病態・臨床像)を 設明できる。 感染はなび寒値のメカニズムを理解し説明できる。 感染症を予防するための方法や好解について説明できる。 生体の免疫現象について理解し説明できる。 	0										
	係科目	栄養学		2				2					1)福祉に従事する立場から、栄養について年ぶことの産業を従則できる。 2)福祉に従事する立場から、どのような栄養指導を実践すべきかを設けでき る。 3)全集期、思孝邦、青年期の生活苦聞や食行的地方の問題点を説明できる。 3)健康や栄養に関連する変種である医師、香護師、保健師、管理栄養士・栄養 土などと一部に認知の立場 から健康や栄養或客のために協力すべき必要性を説明できる。	()				0						
		生理学		2				2					1. 福祉学科の専門分野と関連が深い、神経系の働きについての基礎的事項を訪 明できる。 2.対象を認識するための感覚器の働き、中枢での情報の統合、運動神経による 骨格筋の制御の仕組みについて、基本的な説明ができるようになる。 3. 人間の生命性特のために必須な、免疫機細胞の働き、血液循環、呼吸、尿生成 の基本的な仕組みについて説明できる。											
専		解剖学		2			2						1. 人体の検査を学ぶための共通の言葉、解剖学用語を理解し、説明できる、 2. 人体がどのような器官をもち、いかに機能的に配置されているかを理解し、 説明できる。 3. 人体を構成する細胞、細識、器官の多様性が一個の受情卵から始まることを 理解し、説明できる。 開建を理解し、説明できる。 に、人体各部、各部官の汚聴を発生、成長、発育、加齢ならびに機能と関連づけ て理解し、説明できる。 6. とドの優美、既得などを理解する上の基礎知識を修得できる。											
		運動処方論		2						2			1) 健康や体力を保持・増進する上での運動の重要性を説明できる 2) 発育・発達に応じた道び計画を作成できる 3) 高齢者の自己を促手運動と計画できる 4) 正常で安全な妊娠・出産のための運動を計画できる		0									ø
門		学校保健 I		2			2						 学校保健活動の全体環境について環解できる。 今日の教育4日指す姿はた学校保健の登船について理解できる。 学校保健委会社会中んに関連法規について理解できる。 学校保健委会社会中んに関連法規について理解できる。 建築業績にはちる体活動の強不その進かりたついて理解できる。 健健業前、感染症とその予防の感要について理解できる。 学校協会(食育)、住装育(主ィズ教育の運動方について理解できる。 学校保健活動の推進を図る保健主事・実護教論の職務内容について理解できる。 学校保健会会の営業とその進か方について理解できる。 学校保健会会の営業とその進か方について理解できる。 		Ø	0	Ø	0	Ø	Ø	0	O	0	0
教	保健 · 医療	学校保健Ⅱ		2				2					1. 子どもの客情・発達・社会環境の視点から残壊数部の歴史と免許法を理解し、養護数論の履務と専門性について説明できる。 2. 見虚・生活の乾燥蒸躍を学れ気料目症に合う体健並経営計画を立案し、運 営力法、評価計について説明できる。 3. 雪気(機変と生き)を結まえた中行保健・安全における養護教論の役割につい 4. 学校における健康観察、学校感染成子的と対策、学校感染成一般性変更更 量、生活の機械管理、保健指導、保健広報活動、学校環境第生等について説明で きる。 5. 青どものストレスの現状と学校整練相談の進め方について説明できる。 6. 紙織的活動の意義と方法を理解し、学校内外の関係者の連携の力法について 説明できる。		Ø	0	Ø	0	0	Ø	0	0	0	0
育	※関係科目	地域保健学I		2						2			 地域の特性と地域所確認の非常について説明できる。 地域保護部長と、存装機構におけるそれぞれの乾着について説明できる。 金機管理と教急医療の体制と内容について説明できる。 生業医療やっき形成の自時や活動内容について説明できる。 無壁環境づくりにおける現状と課題について、自分の考えを持つことができる。 	۵	0	0		0		0				
		地域保健学Ⅱ		2							2		1. 日本における現代社会の健康問題を理解し、保健・医療の動向について説明できる。 3. 子どもの健康問題を問題解決め支援力法のポイントを説明できる。 (1) 諸問題の使え方と問わっ方(根拠、受容、共感、アセスメント、対応) (2) 注目したい子どもの現象と対応 3. 子どらの健康問題解決の支援力法の特徴(対索・場面・方法)について、 養護後篇の視点から説明できる。 4. 事例分析・ロールデレイを通じて、健康相談における養護教諭の具体的な友 など意測できる。 5. 健康相談におけるアセスメント、危機介入(対応介入)、評価等のプロセス とその記録について説明できる。 4. 養養教諭が行う実践研究の意義と進め力について説明できる。		0	0		0		0				
科目		看護学		4				4					 人工開催社を進め、着操い日点から使味の含え方を説明できる。 オ書値の低点な「表操師」でいて説明できる。 オ書値の低点な「表操師」でいて説明できる。 オ書修用、中心の功識(国際トキドをアンワ・デュナンの功績とV. ヘンダーン学の言意理論を評解し、者後の見からた。 大「オチンケールの功法(国際トキドをアンワ・デュナンの功績とV. ヘンダーン学の言意理理論を評解し、者後の見から、アライマシート・シング等を理解し、者後の日本のため、アライマシート・シング等を理解し、者後の日本のため、 大「老澤運想のありをかとして、アレビシデー・インコンドなことができる。 小児智捷・恩を明若得の基礎加減を理解し、説明できる。 小児智捷・恩を知着の「基準の大会」の思想を含。 小児智捷・恩を知着の「基準の大会」の記録に含え。 小児智捷・恩をの者にないて説明できる。 市内部の方と方と参加りていて説明できる。 美術の方を方とながりたいていて説明できる。 美術の方を方とながりたいいて説明できる。 美術の方を方とながりたいいて説明できる。 美術の方を方とながりたいいて説明できる。 美術の方を方とながりたいでいて説明できる。 美術の方を方とながりたいいて説明できる。 事故の偽病の重傷度、緊急度を判断し、適切な処置内容を説明できる。 	0	0	0		0		0			0	
		基礎看護技術		2					2				 学校現場における健康と環境の関係が理解でき、維持するための方法につい て説明できる。 フィジカルアセスメントの必要性が理解でき、正しい方法で実施できる。 身体面における緊急準絶差中の対応が理解でき、広急処置を実施できる。 4、学校現場で遭遇することの多い疾患に対する治療方法と、援助するための方法を説明できる。 	, ©	0			0	0				Ø	

			必	選		1	開講時	蜩・ì	圓授業	時間教	汝			Τ										
		科目			1年	次	2年	次	3年	淡	44	F次	到達目標	DP	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
┝			修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	[外来来習]		1 - 2	2 - 1	2 - 2	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
専		看護臨床実習		4						2	2		1. 外美空部の成社と各件の特徴を使えることができる 2. 各杆におけろ等。診療がかい、機能指導の実施を見学し、観察の目を養 3. 合料における予診。診療がかい、機能指導の実施を見学し、観察の目を養 4. 会認が気は甘きまよび実施のと環境が低くと発情する 4. 会認が気は甘きまよび実施や実施してきる。 1. 意思、(名)、の健康との問題を明らかにし、それに対する非広者濃が実施 5. 保健成度補加における複味者が高いできた。 3. 意思、(名)、の確康との問題を明らかにし、それに対する非広者濃が実施 5. 保健成度補加における複速体割の機能と者濃脹の役割、実護教諭としての 4. 意思、(名)、の適切な環境を整えることができ、追防後の生活について考) 5. 保健成度補加における複速体割の機能とを遵護の役割、実護教諭としての 4. 意思、(名)、の適切な環境を整えることができ、追防後の生活について考) 5. 保健成度補加における複速体割の機能としての 4. 意思、(名)、の適切な環境を整えることができ、急防後の生活について考) 5. 保健成度が高いにおける複速を割の 5. 保健成度の健康ができる 7. 定義のとないの確認を自時の養護があが適切におよなえ、それに伴う援助をと 8. 世界のを含め、 5. 保健成素のとないの確認を自時の 5. 保健成成功を含め、 5. 保健成素ができ。 5. 保健成功を含め、 5. 保健成成功を含め、 5. 保健成功を含め、 5. 保健成成功を含め、 5. 保健成成功が 5. 保健成成功を含め、 5. 代表、 5. 代			0		0		Ø			Ø	
	保健・医病	薬理学		2					2				1. 医薬品の取り扱いや規制について説明できる。 2. 薬物の生化内運命を取用できる。 3. 薬効に影響する要乱について説明できる。 4. 主要な医薬品の作用の仕方、薬理作用、有害作用を説明できる。	©										
門	療関係科目	精神保健学		4					4				 精神の構造と働きおよび、ライフサイクルにおける精神保健について理解 、内容を説明できる。 大部でれの生活の場における精神保健と病理について理解し、内容を説明 3、精神保健に関わる健康領導法、精神保健活動と精神保健対策について理解し、 内容を説明できる。 林神保健のアセスメント方法と治療的アプローチについて理解し、内容を引 引きる。 精神保健に関する法律について理解し、内容を説明できる。 	0	Ø	0		0		0	0	0		
教		公衆衛生学		2					2				1.「公衆衛生学」で学ぶ領域と現実社会の中での公衆衛生問題の関係を理解 さあ、 さん、 名、公衆衛生学は、多くの専門分野の学問の総合学であり、各専門学の学問題は 役別できる。 3.各専門学の範疇である公衆衛生学上の重要単項について説明できる。 4. 養護常識として求められている予問レベルについて理解し、一定の質問には 取得できる。 5. 国内外の最折情報に関心を抱き、公衆衛生問題についてはノートや教科書) 加速することができる。	¢ ⊥ ©				0						
		生命倫理		2				2					1. 生命論理とはなにかについて理解できる。 2. 「いのち」の始まりを歩いる活問題について、様々な視点をふまえたうえ で、自分の考えを述べることができる。 3. 「いのち」の終わりを使いて活問題について、様々な視点をふまえたうえ で、自分の考えを述べることができる。 「のかで加えて変化を失えまくからな」。なっかあるため…	0			Ø	0			0			
*		保育原理		2	2								(旅育に関する事柄を考える力を身につけ、自らの考えを持つ (探育の意識)へいて関係しるえたや方法を知ら 様々な保有関連や歴史について思想する (保育の現状や常願を想解し、自ら問題の解決策を考えることが出来るように) 5.	¢ ©	Ø									
育		社会的養護		2						2			1 社会的養護の営業と歴史的変遷について増新する。 社会的養護の既や実験体系について増新するようになる。 3 社会的養護の既や実験を提供し、児童の人権擁護や自立支援等について 常確されずる体が実践を増新し、児童の人権擁護や自立支援等について なできるようになる。	* O	0	0	0	0						
	保	教育原理		2				2					 教育の宣義と自的及び児童福祉との関連 教育の宣教(地)などは理論の概範 教育物度の理解 北京物度の理解 北 (主張学習社会に向けた教育 現代社会における教育問題 	0				0	0					
科	育関	保育者論		2		2							(疫育なの論理を理解する、 (疫育なの説や認識する、 専門的成長を志向できるようになる。 ・「保育者」についての概念を確立する。 、子どもの心身の健康増進を図る地域行政における保健活動の意識が理解でき		O	0	0	0		0	0	O		
E	係科目	子どもの保健 I 子どもの保健 I		4			2	2	2				5. よぞもの身体の構造と機能の発達について理解できる。 よぞもの映解(こころの問題に含む)と保有上の記載が理解できる に伴れたおける推営業、安全に健留発達類、有数できる。 にそどもの健康変化安全に係る保健活動の計画および評価について説明できる。 こそどもの健康発気がな少な身の発育・発達を保す保健活動や環境について考 えことができる。 よぞとのの認識性が防及び疾病時の対応法術を習得できる。 、など気感覚がため及び疾病時の対応法術を習得できる。 、常有現場における安全管理(学事故防止の具体的な対策を考えることができき) 、作者現象に対する安全管理(学事故防止の具体的な対策を考えることができき)	0	0									0
		子どもの食と栄養		2					2	2			することができる。 1、小児の健康なた活や発育発達に対する食生活との間達性と意義や栄養に間 5基本的時職について塑料する 2、食育の基本とその利害及び食育にための環境を地域社会・食文化との関わ つやて選挙する には、おける食生活の環境を地域社会・食文化との関わ のや気がまたと感謝する 単な気がるよどを読する。 4、特別含として愛事。食育の重要性を理解し「食育」活動に関する方法も展 できる基礎的能力を培う	р О	0									0
		保育の心理学 I		2				2					1. 保育実験と発達との間体構造を発酵し、適切に説明できる。 2. そどらの諸機構の発達的変化となり仕組みを簡認に説明できる。 3. 子どらの対人関係の発達を説明できる。 1. ッインスターンの相交進した認識機、初期経験の重要性を想解し、保育の 着、保育計画への応用への学びを始める。	ž o	Ø	0	0	0						
		保育の心理学Ⅱ		1					2				 子どもの心身の発達と保育実践の関わりについて理解を深める。 生活と並びを追してきぶ子どもの経験、学習の過程を理解する。 (株育における発達酸防じついて学ぶ。 (株育課程を理解し、作成できるようになる。 		0	0	0	0	0			0	0	
専		保育課程論		2							2		・保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価について理解する。 ・指導計画が作成できるようになる。 ・計画、実践、名祭・評価、改善の過程について理解し、活用できるようにな 5。			0		0						0
		保育内容 総論		1						2			・ 保育内容総論、の登義と、乳幼児の保育の基本を整轄する。 様本な見え現保有の法や内容について完ぷ、 キアともの容違の期所性を登解し、違切な提問転行える力を美う。 を留敏における保育のねらいや内容を関連づけて計画・実践・評価すること: 学ぶ。 乳幼児期に必要な保育内容を認識し、各領域の内容を総合的にとらえる。	È	0	0			Ø					0
門		保育内容 健康	_	1				2					●須知規期の融金な心身の発育について理解することができる。 ・そともの聴能に関する除有許否について説明できる。 ●認能「健能」に関する除有計画を定てることができる。 ・健能・体力づくりのための運動・体育遊びを実践できる。		0	0			0					0
		保育内容 環境		1					2				6 保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、気幼児の「環境」につい で知識を習得する。 ・「環境」におらいをおいた保育を展開できるようになる。 1. 保育所保育指針における領域「人間関係」の内容や位置づけを、説明でき		Ø	0			O					0
教		<u>保育内容 人間関係</u>		1			2						5. 2. 圏生活における「人とかかわる力」の育ち(社会性の発達)について、「j 5. との間壁で説明できる。 3. 圏生活におけできる。 4. 圏生活において「人とかかわる力」を育てるための保育剤の働きについて、 時代できる。 時代できる。 4. 同些活における「けんか」や「同題行動」などへの保育者の効応について、 現明できる。		Ø	0			Ø					0
~	保育問	<u>保育内容 ことば</u>		1		2							毛幼児期のテとものことは立官もの遺配について簡単することができる。 下とものことはつ育ちを支える保について、様々本単体もとに考試する、 とができる。 くどれのことはの育ちを支える児童文化財について増単することができる。 係首内単「ことは」のねらいと内容について増加することができる。 (確応、国等する方とその中での「表現」の役者を見明できる。)		Ø	0			0					0
	関係	保育内容 表現		1	2								・子どもの「表現」について説明でき、「表現」を引き出すための方法を体得 る。	t	O	0			O					0
育	科目	乳児保育		2					2	2			乳児保育の意義と歴史を研解し、説明できる。 気児の確認の実際で、乳児に大切の環境を決明できる。 気児の質にいたして実験することができる。 乳児保育における資育が可能力が起き有につける。 乳児保育における資育が可能力となうになる。 乳児保育における良くなどがありませんできるようになる。 子育て支援事業について説明できる。		0		0	0						0

		必	選		1	開講時	- 宇期・う	圓授業	時間参	汝			Τ										
	科目			1年	戶次	2生	手次	3年	下次	4年	巨次	到達目標	DP	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	DP	D P	D P
		修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	2 - 2	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
	障害児保育		2					2	2			 2 諸本やリスクのあろ子どもの保有の重念を覚解する。 2 諸本やリスクのある子どもの発達や行動の運解その特性について学ぶ。 3 実際の援助方法について学ぶ。 4 専門機関との連携や保護者家族支援について理解する。 	۵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ø
科	社会的養護内容		1							2		 社会的要選における児童の種種種様について見解する。 施設業業及び他の社会的業品を構築や発行しついて具体的に学び理解する。 領々の児童に応じた自立支援計画・業業計画の作成の意味と留意点を理解する。 (4) 本の児童に応じた自立支援計画・業技で地域との関係調整・自己実現等) (4) 本化技術、内容等理解すた。 (5) 総本の生活・現子環境研修・学校で地域との関係調整・自己実現等) (5) 総合としての範環・人間と専門性の向上に努めることを具体的に学び発展をす。 6. 社会的業績を通して家庭支援・児童家庭福祉や地域福祉についての理解や3. 施を得める。 	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保育相談支援		1								2	1. 保存相談支援の意義と原則について増解する。 2. 保存相談支援の具体的場面を想定し、保護者支援の内容や方法について考 5. これの 5. こ	76		Ø	0	0	0					
Ħ	保育の表現技術 I		1	2								- 教研表現、教楽実現に必要大音楽加減の必要をやにつける。 - 新聞法、発育性を習慣し、教研表現な方を高める。 - ビアノ演奏の基礎的技能を身ていける(バイニス・40番組度)。 - 休賀場面で用いられる音楽数材についての運解を深める。										0	0
	保育の表現技術Ⅱ		1		2							・正しい呼吸法、発声法を括かし、教育表現力を高める、 ビアノ (家族の基礎的装造をおてつける (バイエル100番程度)。 ・様々な緊認の漢法法を引につける。 ・保育場面で用いられる音楽表材についての思想を深める。 ・方楽や器楽演奏の技能を活かし、多様な音楽表現を立案し、実践することが きる。	с.									0	Ø
	保育の表現技術Ⅲ		1			2						 表現活動に関する知識や技術を習得する。 表現活動に関する知識や技術を習得する。 表現活動に係る軟材等の活用及び作成と、保育の環境構成及び具体的展開のための技術を習得する。 	-	0				0			0		ø
	保育の表現技術IV		1				2					・乳炭原期の造物表現の発電通程について運動することができる。 ・ 第広の中に入れる造形表現から、子どの表現を読み取ることができる。 ・ 考定な自然環境や素材とのかかわりから生まれる造形表現について、理解する ことができる。 ・ 朱国覧作や干どもとつくる行事における保育者の援助について、理解すること ができる。	-	0				0			0		0
専	保育実習 I		4					-				・保育業習指導の使養とリンクして実施する。 ・実習前に、実習力リンテクーション、実営主協介票、実習計画作成、事前訪 についての個別指導を行う。・児童部経施設の内容、機能等を実践発見での体料 を通して繋射す。 ・実習範囲中、相当教員のご回訪問では個別指導と共に、実習先のスーパール・ ・実習能用中、指出教員のご回訪問では個別指導と共に、実習先のスーパーレル ・実習能学習として、規当教員による実習体験後のスーパービジョンと体験を1 有するための報告会を行う。	í ©	Ø	0	0	0	0	O	0	O	0	0
門	保育実習指導 I		2					¢	\rightarrow			・実質の変更、目的について理解する。 ・実習を展開するとにつ意える***高都の内容と作成技術を理解する。 ・実習をへの事前時間も指まえて、実質課題と実質計画作成への道路をつける。 ・実習えてのマット知識、技術および人間関係の成成にいいて理解する。 ・保育ととして遵守すべき諸規則、裁規定、諸発約や守秘兼務、職案指理を理解 する。 ・実習を行う上でのリスク管理、健康管理などについて熟知しておく。 ・実習を行う上でのリスク管理、健康管理などについて熟知しておく。 ・実習をんついービジョンを行いうる体制の指導と報告会によりプレゼンテー ション能力も高める。	- -	Ø	0	0	0	0	Ø	0	Ø	0	0
保育関			2							<i>←</i>	→	・保育実習指導の使業とリンクして実施する。 ・実育部に、実習オリエンアーション、実習生品介葉、実習計画作成、専前訪市 に、実習なり構築を行う。 について調査の表示構築を行う。 第二をの連携・強化を図る。 来習数を浮きして、担当教員による実習体験後のスーパービジョンと体験をす 有するための報告会を行う。	r ŧ	0	O	©	0	0	©	0	0	0	O
教 係 科 目	2 杏実翌 均道Ⅱ		1							~	\rightarrow	・実習の宣義、目前について理解する。 ・実習を展開するとにの整えるべき素面の内容と作成技術を理解する。 ・実習をへの事前訪問も潜まえて、実質課題と実習計解化かつ道路をつける。 ・実習をでのサーム知識、技術および人間関係の形成にないて理解する。 ・保育ととして違守すべき諸規則、裁規定、諸英約や守秘義務、職業倫理を理解 する。 ・実習名行う上でのリスク管理、健康管理などについて熟知しておく。 ・実習名パーパービジョンを行いうる体制の指導と報告会によりプレゼンテ- ション能力も高める。	[∉] O	0	Ø	Ø	0	0	Ø	0	0	0	٥
育	保育実習Ⅲ		2							÷	\rightarrow	・保育所以外の度量福祉施設において、社会福祉施設の養護を実際に実践し、 育ととにる要実質賞、能力、技 術を修守する。 ・実態と地域の5.活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判理 かを養うとともに、子育でを支援するために必要とされる能力を身につける。 ・知識・技能と、実践を体系的に結びつける。		0	0	Ø	0	0	0	0	0	0	Ø
科	保育実習指導Ⅲ		1							<i>←</i>	→	実習の意義、目的について興味する。 朱智を儀開するにでの整くなべき事類の内容と作成技術を理解する。 ・実習長への事前訪問も請まえて、実質課題と実習計解化みの道路やつける。 ・実習長でのつすー知識、技術および人間関係の影形成では火雪野する。 ・保育ととして遵守すべき諸規則、諸規定、諸契約や守秘務、職業倫理を理解 する。 ・実習を行う上でのリスク管理、健康管理などについて熟知しておく。 ・実習を行う上でのリスク管理、健康管理などについて熟知しておく。 ・実習をのフィーヘビジョンを行いうる体制の指導と報告会によりプレゼンテ- ション能力も前める。		0	0	O	0	0	0	0	0	0	O
	保育実践演習		2							2	2	・保育に払かわる基礎に関する分析、検討を行うと共に、その課題について、リ 連合保護者を登録するための技術、方法について予修する。 ※問題を発見し、その問題を解決する適思を理解し、解決内容について再検討 る手法を取得する。	2		0			0			0		٥
日専門		2						2	2			教員の指導の下、各自(各グループ)で設定したテーマに基づいて研究を探め ことができる。 を自ったダイーブーであた」をついて「サーマに基づいて毎期時候の回答を選ん」をつい	©	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究科目	専門研究 Ⅱ	2								2	2	各自(各グループ) て設定したテーマに基づいて専門領域の研究を深め、そのB 果をまとめることができる。 専門領域の研究プロセスを学び、その成果を卒業論文としてまとめることができ	©	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	卒業論文		4							2	2	δ.	0	0	0	0	0	0	0	0	۵		

福祉学科

学位授与の方針(DP)

DP1【知識・理解】 1-1) 豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える視点と知識を身につけている。 1-2) 対人援助に必要な基礎的知識を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1)個人や社会の福祉的課題について、的確に把握し、支援方法を検討できる。 2-2)対人援助職としての倫理的判断ができる。

DP3 【関心・意欲】 3・1) 人びとのいのちや生活について、さらに社会の福祉的課題について関心をもつ。 3・2)課題解決に向けた創造的な支援とは何かを探求しようとする意欲がある。

- P-4 [態度] 4 - 1) 社会の一員としての自覚を持ち、責任を持って行動できる。 4 - 2) 人びとの異なる立場や考え方を理解し、協力することができる。 4 - 3) 自らを成長させるための課題を自覚し、自己研鑽に努めている。

DP5 【技能・表現】 5 - 1) 他者と関わる上で必要とされる基本的なコミュニケーションスキルを身につけている。 5 - 2)対人援助職としての基本的な専門的スキルを身につけている。

教育課程編成・実施の方針(CP)

1. 福祉学科は、福祉・心理・養護教諭コースと子ども家庭福祉コースで編成される。

2.各コースとも社会福祉土国家試験受験資格を基本として、福祉・心理・養護教諭コースでは、同時に精神保健福祉土国家試験受験資格、認定心理土資格、養護 教諭一種免許状のいずれか1つを取得することができる。子ども家庭福祉コースでは、同時に保育土資格が取得できる。

3. 福祉学科カリキュラムは、豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、人々を身体的、心理的、社会的、人格的存在として総合的に理解するための基礎となる総合 人間科学科目と、専門教育科目及び教職に関する科目で構成する。

4.専門教育科目は、「福祉基礎科目」「福祉専門科目」「精神保健福祉関係科目」「福祉心理臨床関係科目」「保健・医療関係科目」「保育関係科目」「専門研究科目」で構成する。

5.「福祉基礎科目」では、専門的学習の準備として基礎的な対人援助のイメージを確立し、社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士、養護教諭、保育士に必要な学習スキルとコミュニケーションスキルを獲得する。

6.「福祉専門科目」「精神保健福祉関係科目」「福祉心理臨床関係科目」「保健・医療関係科目」「保育関係科目」及び教職に関する科目では、社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士、養護教論、保育士として必要な専門的知識と理論及び技術の修得を目指すとともに、専門職としての態度を育成し倫理規を養う。

7.「専門研究科目」は、学びの集大成として位置づけ、3年次、4年次と継続して開講し、自らの課題を設定し探求する姿勢を身につけるとともに、主体的に学び 続けるための基礎的能力を美う。

		選	養教		B	開講時	潮・	週授業	转間	数													
	科目		-	1	年次	2	年次	3	年次	4	年次	到達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	DP
		択	種免	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	2 - 2	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
	教職概論	2	2			2						 教職の意義や教師の職務内容、社会的責任などについて説明することができる。 専門職としての教師に求められる資質、能力について説明することができる。 教員後成の歴史、現状、現職研修の動向について説明することができる。 教職をめぐる改革動向について説明することができる。 	0	0									
	教育原理	2	2		2							 数育の現念や思想、原理などについて基本的な事項を説明することができる。 学校教育の歴史や機能について基本的な事項を説明することができる。 現代教育の課題や改革動向について説明することができる。 	0	0									
	教育心理学	2	2			2						・学習のメカニズム(どのように人は発達して、学習し、考え、記憶するのか)の過程を説明できる。 や学習活動にかかわる原因得遇や動機づけのタイプを説明できる。 光量:生徒との関わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる。 役業形態や評価法を説明できる。	Ø	0		0	0					0	Ø
	教育社会学	2	2				2					 子どもの発達を社会的、文化的条件から理解することができる。 現代に為におりる子どもの発達に関するトビックスを学び、概要を説明することができる。 子どもの発達を説明する社会学の基礎的概念を活用することができる。 	0										
	教育課程論	2	2				2					 教育課程の意義、編成の原現と方法などの基本的事項について説明することができる。 学育器導要類の内容と特徴について説明することができる。 教育課程改革論など教育課程の現状や課題について説明することができる。 	©										
	特別活動論	2	2					2				1. 特別活動の特質で表面について理解し返用することができる。 2. 学習指導電気における特別活動の位置づけや内容と理解し返用することが できる。 3. 学校・子どもの実態と特別活動における数師の指導性について理解し返用 することができる。 4. 特別活動に関わる実践記録を分析することができる。		0	0	0							0
教職	教育方法論	2	2					2				 教育実施の原理や環境などについて説明することができる。 授家の原理や方法を賃頼し、学習推算後を着くとちができる。 実践記録の分析方法を身につけ、分析することができる。 授業改革の課題と動向について説明することができる。 	0	0	0	0				0		0	©
に 関 す る	学校保健教育法	2	2						2			 児童生産等の発症障碍に応じた保健教育の意義・目標を理解し、保健教育 の物質について規則できる。 保健学習の系統性と単元別教育内容を塑解し、その指導計画を説明できる。 残健学習の系統性と単元別教育内容を対応について理解し、保健指導条を作成することができる。 保健教育に関する保健投業の展開及びその評価ができる。 保健教育に関する保健投業の展開及びその評価ができる。 保健教育の教送者して指導案作成・投業展開・評価の重要性を理解し、 授業成立の要件を説明できる。 				0		0		0	0	0	0
科目	道徳教育の理論と実践	2	2			2						(1) 道徳と実験にかかれる舞鹿を理解することができる。 (2) 学客指導電気における建築市の位置がた袋切することができる。 (3) 学習指導電の基本的な構造を理解することができる。 (4) 道徳の優美装装にかかわる基本的な知識を習得し、構築授業の形で実践 することができる。	0			0		0					0
	生徒指導論	2	2					2				 生徒指導の意美・内容を説明できる。 デビも理解の内容・方法を説明できる。 間陷行動・トラブル等への対応ができる。 		0	0	0			0	0	0	0	0
	教育相談(カウンセリングを含む。)	2	2				2					 生生と教員間のラミュニケーションについて理解を深め、カウンゼリングの技術を使うことが出来る。 学校内外で発生する子しもに関する社会的問題について理解を深めることが出来る。 オどもの問題に対して具体的な援助計画を立てられるようになる。 	0	0	0	0	0			0		0	0
	事前及び事後の指導	1	1						÷	•	→	 教育実習に臨ひ上で必要な知識及び技術を習得することができる 学校教育の現場で実習する上で、留意サベき事項を理解し、必要な物心両面の準確をおこなうことができる 実習を通して体験した事項や課題について学生相互同で意見交換をおこなうことができる 教育実習を通して修得した事項や課題を整理することができる 	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	養護実習	4	4							←		1. 今年で間接した数価、等所科目等の可能や技術を基礎に、教育現場における実践的な限制を体験するととで、業業数額の面積を投所できる。 シ、定校反使活動を指述するために、学校教育全球の組織、運営を理解し、養 護教諭の立場を受制について執筆を通して説用できる。 3. 児童、生徒の人格形成と心身の成長・発達に実就し、教育における研究課題を発見すると共に自己の望ましい教師像を形成することができる。	٥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ø
	教職実践演習(養護教諭)	2	2								2	1. 教職職業関連体目について振り返り、各自に長された関連を確認する。 2. 業務委員として求められる資質。能力を具体的な学校場面に位置づけて考 えることができる。 3. 信献される学校づくりに資する実護教諭のあり方についての理解を深める ことができる。 4. 児童生徒等の意味の方法とそれに基づく教育活動についての実践力を高め ることができる。 5. 保健教育の計画・実施: 評価に関する実践力を高めることができる。 6. 実践教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用法を身につけるこ とができる。	0	٥	0	0	0	0	Ø	Ø	0	0	Ø

栄養学科

学位授与の方針(DP)

栄養学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士(栄養学)の学位を授与します。

DP1【知識・理解】 1-1)社会人としての基礎的な教養を身につけている。 1-2)栄養管理、栄養教育のために必要な、専門的な知識および技術を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1)健康に関する諸課題について、これまでに培った知識・技術をもとに論理的に思考し、判断することができる。

DP3【関心・意欲】 3-1)保健、医療、福祉に深い関心をもち、健康増進及び疾病予防・治療に貢献しようとする強い意欲をもっている。

DP4【態度】 4-1)専門職業人としての職業倫理をもっている。 4-2)専門的知識・技術を高めるため、継続的に自己を啓発し、研鑽しようとする態度が身についている。

DP5【技能・表現】 5-1)保健、医療、福祉の分野で、他の保健・医療従事者と連携・協働して、専門的な知識・技術を実践に活かすことができる。

教育課程編成・実施の方針(CP)

【専門教育科目】

食べ物と健康、人体の仕組みと疾病、社会・環境と健康などに関する専門基礎分野の科目を通して、幅広い教養を身につけるとともに、大学で栄養学を学ぶ目的を明確に する。(1年次、2年次)

2.臨床栄養、栄養教育、給食経営管理、公衆栄養などに関する専門教育科目を修得した後、病院・福祉施設・学校給食・保健所などにおける「臨地実習」を実施し、実践的 な能力とともに社会人としての基礎的な能力を養う。(3年次)

3. 将来の進路に合わせた、より深い知識・技術を身につけるため、「食と健康分野」「実践栄養分野」「臨床栄養分野」の科目を修得する。さらに、卒業研究、実践活動、 演習を通して、4年間の学びの集大成を行い、これまでに培った知識や経験をもとに、問題解決能力、論理的思考能力、企画立案能力を養う。(4年次)

4. 栄養士・管理栄養土数育課程の卒業要件に加え、フードスペシャリスト資格および栄養教諭一種免許状の取得に関する科目を設定する。これらの関連科目を履修し、所定の単位数を修得することで、フードスペシャリスト資格および栄養教諭一種免許状が取得できる。

		必	選		閉	講時	期・i	週授業	時間	数									
÷	科目			14	年次	24	年次	34	手次	4	年次	到達目標	D P	D P	D P	DP	D P	DP	D
		修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	月後非	9	1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	5 -
	公衆衛生学 I	2				2						 公衆衛生の歴史及び生命倫理について理解し、自分の言葉で説明できるよう になる。 皮学研究の分類、研究手法について理解し、皮学研究の計算ができるように なる。 感染症発症要因について理解し、成染症子防法を説明できる。 感染症発症要因について理解し、成染症子防法を説明できる。 生活習慣病の発症要因について理解し、疾病予防、健康増進及び健康管理について説明できるようになる。 最新の公衆衛生問題に関心を抱き、疫学統計の視点から観察できるようにな る。 		0	0	0	0		
社会・	公衆衛生学Ⅱ		2				2					1. 現壞衛生、公害の歴史を理解し、自分の言葉でまとかられるようになる。 2. 食牛毒は公衆衛生上度変な内容であることを理解し、食牛毒の予防法を他人 に説明できるようになる。 3. 母子保健、学校保健では、健康診断の重要性を理解し、虫歯予防の食事指導 などについて説明できる。 4. 医療保健細度と地域保健について理解し、栄養士、管理栄養士としての役割 説明できる。 5. 産業保健、精神保健、高齢者保健及び国際保健の内容を理解し、職業病及び 精神疾患の予防について説明できる。		0	0	0	0		
環境と健康	健康管理概論	2						2				 健康の概念、健康状態の歴史を自分の言葉でまとめられるようになる。 健康増進の概念と実際について説明できる。 健康管理の理論と実際について説明できる。 健康行政の歴史と現状および今後の課題について理解し、説明できる。 健康行政における保健医療情報、遺伝子要因と栄養との交互作用による健康 影響を理解できる。 		0	0	0	0		
	健康情報処理論	2				2						 適切な健康情報を検索・収集できる。 収集した健康情報に関する科学的視撮の有無について判断できる。 科学的机規のある健康情報を、他者に適切に情報伝達できる。 健康情報を解釈する上で必要な基本的な統計処理を理解できる。 	0	0	0				
	社会福祉概説	2					2					 社会福祉の理論および援助技術について説明できる。 社会福祉の創度、政策について説明できる。 社会福祉の歴史について説明できる。 社会福祉の諸問題について理解できる。 	0		0	0		0	
	看護学		2						2			 有護の概念について説明できる。 人々の生命を守る看護について一例を挙げて説明できる。 病払人々の自立を促す看護について一例を挙げて説明できる。 病む人々の自立を促す看護について一例を挙げて説明できる。 		0	0	0			(
	解剖生理学	2		2								 骨と筋肉、血液細胞の働き、免疫の基本的な仕組みについての基本的事情を 理解、説明できる。 認尿器系の基本となるネフロンと集合管について、各部の構造の概略を描 き、その働きを説明することができる。 血液構成の仕組み、肺におけるガス交換、血圧と血圧調整の仕組みについて 説明できる。 	0						(
	応用生理学		2		2							 個々の内分泌腺が分泌するホルモンについて、分泌の引き金、標的器官、生 進作用を説明できる。 男性と女性の生態器の構造、性ホルモンの働き、生殖の仕組みについての基 本事項を説明できる。 神経細胞でのインバルス発生の仕組みや、シナブス伝達など、生物電気の基 本事項を説明できる。 日律神経系を構成する交感神経と副交感神経の働きについて説明できる。 三大朱養素それぞれの消化・吸収の仕組みについて説明できる。 							(
	生化学 I	2			2							 生体化合物群の構造および物理化学的特性 酵素の役利、生理的意義 遺伝情報発現機構(流れ) 遺伝情報発現機構(流れ) 解構、クエン酸回路/呼吸鎖/酸化的リン酸化の連動と生理的意義 	0	0	0	0			
人体の構造と機能	生化学Ⅱ		2			2						 (1) 代謝各論を理解し、それぞれの生理的意義を高校生以上の学力を持つ人々に 説明できるようになる 2) 視載の代謝経路が互いに相互作用して代謝全体が運営されていることを理解 する 3) 生体内情報伝達機構の概要を理解し、高校生以上の学力を持つ人々に説明で きるようになる 上説の3点に重点を置き、生命現象を化学の目で見つめることができる素地を作- ようにする。生体内信格物よび化学反応を埋に締託するよりも、生命現象が、 ある意味化学の世界を利用することにより、成り立つものであるという感覚を養 うことに力点を置く、 	0	0	0	0			
能及び疾病	病理基礎医学	2			2							 肥大・萎縮、細胞死、循環障害、炎症、免疫、感染症、腫瘍などの病理学の 基本構会を説明できる。 臨床医学における疾病の診断法と治療の基礎およびEBMや医学倫理の問題に- いて説明できる。 	, ,	0	0	0		0	ŀ
の成り立	疾病診断治療学 I	2				2						 各疾患の病因・病態を説明できる。 各疾患の身体汚損・検査汚し活法を説明できる。 各疾患の疫学的常能を説明できる。 各疾患の気学が常常を説明できる。 各疾患で用いる薬剤の副作用について説明できる。 他の保健・医療従事者との連携・協働する方法を説明できる。 		0	0	0		0	
5	疾病診断治療学Ⅱ		2				2					 各疾患の病因・南艦を説明できる。 各疾患の身体所見・検査所見・食事機法を含めた治療法を説明できる。 各疾患の後竿的特徴を説明できる。 各疾患で用いる薬剤の副作用、手術の合併症について説明できる。 他の保健・医療使事者との連携・協働する方法を説明できる。 		0	0	0		0	

			必	選		閉	講時	期・i	週授業	影時間	数		1							
		科目			14	年次	24	年次	34	年次	4	年次	到達目標	D P	D P	DP	D P	D P	D P	
-1		T	修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	1 後期	 微牛物の基本的な性質を説明できる。 	1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	:
		微生物学		2					2				 1. 職工物の差中がのは長きฉ動りできる。 2. 主な病原性微生物の発症のメカニズムと感染予防について説明できる。 3. 主な病原性微生物の発症のメカニズムと感染予防について説明できる。 4. 病原性微生物に対抗する免疫システムを説明できる。 				0			
		運動生理学		2						2			 運動の種類、体力の種類にはどのようなものがあり、身体は運動でどのよう に変化し、それはどのような意味を持っているか裏明できる。 体力・ドーン"の基礎最後とその実際について理解できる。 私たちが健康に生きて行くためには、どのような運動がどれだけ必要である か、また健康状態をどのように判定するかを説明できる。 観床病、高血圧などの生活習慣病は、運動をすることである程度発病を予防 し、進行を見らせることが明定できる。このような病気の予防という観点からも 運動を理解できるようになる。 		0	0	0			
ľ		食品学 I	2			2	F						 食品成分表の歴史、内容を説明できる。 食品の構成要素である水、炭水化物、脂質、タンパク質、無機質、ビタミン、食物繊維などについて化学的特性を説明できる。 		0	0	0			t
卓		食品学Ⅱ		2			2						 各食品群ごとに、それぞれの材料特性、化学・物理特性、栄養特性、嗜好特性について説明できる。 食品のおいしさに関係する色、味、香りの成分や物性について説明できる。 酸化、加熱、酵素などによる食品成分の変化を説明できる。 		0	0	0			Ī
月去		加工食品機能論	2					2					 加工食品に使用される機能性素料について説明できる。 加工食品の保存中の変化や、変化を抑制するための包装機能について説明できる。 加工食品に使用される添加物の使用目的と生理機能について説明できる。 基本的な加工原理、主な加工食品の加工方法と機能性について説明できる。 		0	0	0			
港分		調理学	2		2								 1.食品の「安全」「栄美」「嗜好」にもとづいた食事設計・調理環境・調理操 作を説明できる。 2.調理操作に必要な知識を学び、実習科目へ応用できる。 3. ライフステージ別の味覚・嚥下の生理、嗜好特性、食品の物性を説明できる。 		0		0			
F	食べ物と健	食品衛生学	2					2					 1.食品衛生行政と関係法規について説明できる。 2.食品ごと、および家庭における食品衛生に関する留意点について説明できる。 3.飲料水の安全衛生について説明できる。 4.寄生虫を弾生動物について説明できる。 5.食品添加物について説明できる。 6.食牛事の実態と予防法について説明できる。 7.有害物質の毒性について説明できる。 8.食品と数化性物質の関わじこいて説明できる。 9. 厨房、および新様で使用される清毒薬の特性を説明できる。 		0	0	0			
	康	フードスペシャリスト論		2	2								1. フードスペシャリストの概念、その業務内容と期門性について設明できる。 2. 食べ物のおいしさについて生理、心理、食欲、嗜好、食文化など各方面から 説明できる。 3. 日本人の食生活の変遷を理解し、日本人の食物消費行動の特徴、食産業につ いて説明できる。 4. 現代の食卓の課題、食環境と食育、フードスペシャリストの展望について説 明できる。		0					Ī
		食品の官能評価・鑑別論演習		2			2	2					1. 食品の品質評価に関して、官能検査・化学的評価法・物理的評価法などの原 理や手法を説明できる。 2. 個々の食品について種類やそれぞれの特性を理解し、鑑別方法や品質の保持 について説明できる。 3. 最新の食品感別技術を理解し、食の現場での応用事例について説明できる。		0					Ī
		食品流通・消費論		2				2					 社会の変化と消費構造の変化について説明できる。 食食の生産・減通・消費の名詰門の特徴を説明できる。 各食品ごとの減通の役割と構造を説明できる。 多様な消費形態と外食産業・中食産業などについて企業行動について説明できる。 食の安全性に対する認識を深め、企業の取り組みを説明できる。 	0	0					
		フードコーディネート論		2					2				 フードスペシャリストとして非認に貢献できることを目標に、食生店における「フードコーディネート」の果たす役割と基礎知識を学ぶ。 実際の食生活の中で学習した内容を活用することにより、心の豊かさや食文化への塑解が深まることを知る。 「食」に関わる全ての営みが、食数育につながることを知る。 	0	0					Ī
		解剖生理学実習	1			3							1. 骨格模型の製作と小テストを通して、人体を構成する主な骨と筋肉について、名称を言えるようになる。 2. 泌尿器 血液、葡萄器、呼吸器、感覚器などの実習を通して、生命体を構成 するそれぞれの臓器の基本的な構造、働きについて説明できるようになる。 3. 実験結果のまとめ、グラフ化、考察事項についての調査を通して、科学レ ボートの書き方を身につける。	0	0		0			ĺ
		人体の構造と機能基礎実習		1	3								 食物中の栄養素の消化に関わる主な消化酵素の性質、働きについて説明する こと先化学および生理学で用いる基本的な装置、実験器具の名称・使用法に習熟 する。 ホルモンによる尿量調節の仕組みについて説明できるようになる。 ホルモンによる尿量調節の仕組みについて説明できるようになる。 転転車ルゴメーターを用いた推定法 に勝ちる。 転換素用を通信の意義を運解し、自転車エルゴメーターを用いた推定法 に勝ちる。 この時引き通して、哺乳動物の臓器の名称、形状、働きについて説明で さるようになる。 「管腔内消化」と「膜消化」の違いについて説明できるようになる。 	0	0		0			
		生化学実習	1				3						 グルコース、アミノ酸などの簡単な生体分子を分子模型で組み立てることができる。 実際試薬、実験観見、および実験装置の安全な取り扱いを習得し、実習で取りばだっての基本権作を一人でできる。 実験で得られたデータを解釈し、ひとに説明するための適切なグラフ、図を 4. 各実験項目でどの実験が対照実験であるかを説明できる 	0	0	0	0			
		食品学実験	1			3							1. 実験器具の取り扱い、試料の調製などの化学実験の基礎知識および基礎技術 を習得する。 2、実験で取り上げるいくつかの食品成分について、その基礎的な化学特性を説 野できる。 3、実験精果をまとめ、理論と照らし合わせて考察を行い、レポートにまとめる 一連の過程を理解し、その技術を習得する。		0	0				Î
	実験・	食品栄養実習	1				3						 加工食品の材料特性と製造方法について説明できる。 加工食品の成分特性について説明できる。 市販食品の適正な利用法について説明できる。 		0	0				t
	実習	食品衛生学実験	1						3				 基本的な教生物の現扱いができる。 . 厨房におりな健な物を登場の真要性を説明できる。 . 」 馬房におりな健な物を登得する。 .4 食品の変更・変異に関する分析技術を習得するとともに、食品の鮮度指標について説明できる。 .5 食品添加物の基本的な分析技術を習得する。 			0				Î
		健康情報処理実習		1				3					 アンケート調査の一連の流れを説明できる。 データの種類について説明できる。 仮設施定について説明できる。 保護定じいて説明できる。 朱養学研究で得られたデータについて、適切な統計的処理方法が選択でき 	0	0	0				f
		基礎調理学実習	1		3								 23日の使用法:計量の必要性:調味の基本などを踏まえた上で各調理操作の 調理上の要点について、説明できるようになる。 2、料理様式および食事構成について学び、主食・主菜・副菜・汁物の種類と調 理社を活用できるようになる。 3、季節ごとの代表的な食材について、取り扱い方や栄養素の特徴を説明でき る。 		0				0	
		応用調理学実習		1		3							1. 基礎調理学実習の学習を踏まえた上で、各種調理操作や食品の調理上の要点 について実習した用きさるようになる。 と、敵ご調理として、朝き、起食・分食の特徴や料理例、自分の日常食の調理法 や調理例について季節感や嗜好も取り入れ、活用できるようになる。 3、和風・洋風・中国風料理の特徴や種類を理解したうえで、折衷料理も自由に 作成できる。 4、デザートやおやつ、行事食について作る意義・文化や特徴を献立に活用でき るようになる。		0				0	Ì

				必	選		閉	講時	期・i	周授業	時間	数									
			科目			14	年次	24	年次	34	手次	4	年次	• 到達目標	D P	D P	DP	D P	D P	D P	D P
				修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	5 - 1
			臨床基礎医学実習	1						3				 心電図や血糖菌などの生理・生化学的指標を実際に測定し、その検査結果を 2%を変解できる。 健康状態と把握するために必要な面接法、診療法を習得し、病気の症候について説明できる。 小変数の確実について理解し、救命数金法を習得する。 ・病医で塩原材を直切ら詰果から、症例の病態をアセスメントし、病気の診断・ 治療を考察できる。 		0	0	0		0	
-		基礎	基礎栄養学 I	2			2							 2、発養の概念について説明できる。 2、各栄養素の構造と役割、およびその消化・吸収機構について説明できる。 3、糖質、脂質、タンパク質について、その生体内における栄養代謝の基礎を説明できる。 		0	0				
		《栄養学	基礎栄養学Ⅱ		2			2						 ビタミン、無機質、水・電解質の栄養について、その代謝の基礎を説明できる。 エネルギー代謝の基本について説明できる。 栄養における遺伝子の関わりについて説明できる。 各栄養養の代謝の相互関連について説明できる。 栄養学史、栄養障害、食物繊維などについて説明できる。 		0	0				
			栄養学概説	2			2							 食事摂取基準の概念(策定方針、策定に関する基本的事項)を説明できる。 食事摂取基準に設定されているエネルギーと各栄養素について、値の策定に 関する胃素、科学の挑脱を説明できる。 食事摂取基準に設定されているエネルギーと各栄養素について、値の策定に 関する胃素、科学の挑脱を説明できる。 食品成分素の成分項目のの方折法を説明できる。 食品成分素の成分項目の分析法を説明できる。 食品成分素の成分項目の分析法を説明できる。 食品成分素を用いて、手計算で、献立の栄養積算ができる。 		0	0	0			
		応用	応用栄養学Ⅰ	2				2						 栄養マネジメントの概要を説明できる。 食事摂取基準の基礎的事項を説明できる。 妊娠期 長見期における王朝、生化学物変化に応じた栄養の特性、この時期 に起こりやすい疾病の予防・改善のための栄養管理の方法、食事摂取基準を活用 した栄養管理について説明できる。 新生児期、乳児期の栄養の基本や心身の差官と栄養の関連性、消化吸収能を 主とした小児の栄養生理学的特徴について理解できる。 		0	0	0	0		0
専門		栄養学	応用栄養学Ⅱ	2					2					 乳児期の実養ケア、幼児期、学範期・思考期における心身の発達、食生活の 特性を失患し成長期における食事摂取基準を理解し、それぞれに適した栄養管理 について説明できる。 ス 成人の形態的・機能的な特徴ならびに、生活習慣病の概要およびそれらの栄 美の改善による予防および栄養管理について説明できる。 高 高齢期における加齢および宅化の理論、身体・精神的特徴、疾患、栄養管理 等を理解し、説明できる。 1. なぜ疾病の予防や健康の維持・増進さらに疾病治療に運動が有効なのかを理 		0	0	0	0		0
教 育 科			運動・環境と栄養		2						2			 など気中の「PUで使用の様子・用曲さらいた時に加い上無加い有効なのかを注 料に説明できる。何か、またその実施とそれらを生み出す社会的・経済的・生 さ方的背景について理解できる。 運動時に返求される余葉様の量・買・パランスについて理解できる。 運動時に以て、各栄養素がどのようにに割されるかそのグロセスを学ぶ。特 にエネルギー代謝と栄養素の関係について深く理解できる。 疾病・行外で病の治療、あるいは健康の維持・増進と生活環境がどのように 関進しているかを理解できる。 		0	0	0			
E		栄	栄養教育論 I	2					2					 (業業数有の産業、定義、目的など栄業数有の概念を説明できる。 (業業数有容額の現状と法的提携、実業注活動と栄業数有の歴史について説明できる。 (市動科学の理論、食行動変容のための行動科学理論について理解し説明できる。 (中動科学の理論、食行動変容のための行動科学理論について理解し説明できる。 (栄業数有マネジメントとカリキュラムの立案、学習形態、数有数材の選択など栄養数有の方法について説明できる。 (食環境と栄養数有の防傷について説明できる。 	0	0	0	0	0	0	0
		養教育論	栄養教育論Ⅱ	2						2				 ライフステージ、ライフスタイル、健康状態別の栄養・健康の特徴について 説明できる。 ライフステージ、ライフスタイル、健康状態別の栄養・健康の課題について 説明できる。 栄養教育に関連する法律や国の施策について説明できる。 	0	0	0	0	0	0	0
			栄養カウンセリング論		2						2			 人の食行動を科学的に考察するとともに、行動科学と栄養教育の関連性を理 解できる。 カウンセソンダと美教育の関連性について理解できる。 カウンセリンダマインドを持つことの重要性を理解できる。 	0	0	0	0	0	0	0
			臨床栄養管理学	2					2					ニュートリション・サポート、チームの一員として管理栄養土が備えておくべき 栄養管理の専門風味や技術の基本を学び、さらに保健、医療、福社との連携の中 でも、ケア・マネジメントに参画できる能力を養うことを目的とする。 1. 臨床における栄養管理システムと栄養時能について説明することができる。 2. 栄養管理のためのスクリーニング、評価(アセスメント)、プランニング、 キニタリング、再評価の方法ついて説明することができる。 3. 栄養ケブの記録法および傷病者への栄養教育の基本について説明することができる。 4. 栄養補給法および裏と栄養の相互作用について説明することができる。		0	0	0		0	
		臨床栄養堂	栄養治療学 I	2						2				 (業業スタリーニング・栄養アセスメントの意義および方法を理解し、説明で さか。 (業業本のシリーニング・栄養アマンを使用し、治療のための具体的な栄養管理方法 を認明できる。 (各実想の成別・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法 を認明できる。 (各実想の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケ アの評価法を説明できる。 (各共想の常成物の栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明 できる。 (素利と栄養)、食物との相互作用を説明できる。 (素利と栄養)、食物との相互作用を説明できる。 (人対応できる。 		0	0	0	0	0	0
		学	栄養治療学Ⅱ		2						2			 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法 を説明できる。 各疾患の公養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケ アの評価法を説明できる。 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明 できる。 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明 できる。 医療における栄養管理の意義、管理栄養士の役割を述べることができる。 		0	0	0	0	0	0
			臨床栄養活動論		1						1			 医療人とは何か、医療過誤を含めた医療に関する法律と管理栄養士の関わり について理解できる 医療施設におけるチーム医療と管理栄養士の活動の実際につい理解できる。 	0	0	0	0	0	0	0
			介護概論		1						1			 保健・医療・福祉の動向と現在の介護問題について理解できる。 介護の理念、概念及び機能について理解できる。 分離の原規増超について理解できる。 認知症病障者の介護について理解できる。 認知症病障者の介護について理解できる。 	0		0	0			
	専	公衆	公衆栄養学 I	2					2					 わぶ回の廃康・栄養問題の現状と問題点、公衆栄養施策について具体何をあ けながら説明できる。 「日本人の食事摂取基準」の概念と活用理論を理解し、集団のアセスメント ができる。 地域社会に低付いた集団の特性や諸問題を把握したうえで、適切な公衆栄養 		0		0	0		
	門分	※ 栄養 学	公衆栄養学Ⅱ		2					2				プログラムを計画・実施・評価することができる。 2. 公衆栄養プログラムの運営に際し、適切な社会資源の活用や、環境因子への 働きかけの手法を理解し、説明することができる。 1. 地域栄養活動実践の概要と行政組織、管理栄養士の役割について理解する。			0	0			0
	分 野	給	地域栄養活動論		2						2			 地域における公衆栄養活動プログラム立業の手法について理解する。 地域栄養活動の様々な場における管理栄養土の専門的な業務や活動の実際を 理解する。 給食とはどのようなものか、その概念を理解し、給食における栄養土・管理 栄養士の役利を説明できる。 				0	0	0	0
		食経営	給食計画論	2				2						 2、対象にあった栄養・食事管理の計画と評価のあり方を説明できる。 3、食材料管理、生産管理、衛生管理、施設・設備管理など個々の業務内容の基本と他の業務との連携を説明できる。 1.経営管理について説明できる。 		0	0	0			<u> </u>
		管理論	給食経営管理論		2				2					 2. 給食経営の資源となる「人」「物」「金」「情報」をマネジメントすること について説明できる。 3. 各種給食施設における給食の位置づけと給食経営管理の特性を説明すること ができる。 		0	0	0			

		21 D					同講時		1			E 14	741 Mar. 101 July	-		_	-	_	-	
	7	科目				年次		手次		手次		手次	到達目標 -	DP	DP	DP	DP	DΡ		
		栄養学実習	修 1	択	則朔	後期	前期	後期 3	前期	俟期	前期	後期	1. 糖質代謝に関する生理・生化学的指標を実際に測定し、その栄養評価上の意義を説明できる。 2. 脂質代謝に関する生理・生化学的指標を実際に測定し、その栄養評価上の意義を説明できる。 3. たんぱく氧代謝に関する生理・生化学的指標を実際に測定し、その栄養評価上の意義を説明できる。 4. エネルベー代謝に関する生理・生化学的指標を実際に測定し、その栄養評価上の意義を説明できる。 5. ビタミン、ネラル、その他栄養関連事項に関して、その栄養評価上の意義を説明できる。	1 - 1	<u>1−2</u>	0	0	4-1	4-2	
		応用栄養学実習	1						3				1. 食事摂取基準を活用し、ライフステージ別の対象者の状態・特性に応じた菜 業管理を行うことができる。 2. 作製数に送づいて実習を行う中で、各ライフステージにおける調理上の留 窓点を理解し、必要な調理技術を習得できる。 3. 競技種目別のアスリートの実業管理について理解し、それに必要な献立作 成、栄養補給活の立案ができる。 4. 特殊機算で簡(人人々の実管理について理解し、それに必要な献立作成、 栄養補給法の立案ができる。		0	0	0	0	0	
		栄養教育論実習 I	1						3				 食事調査、行動記録、身体計測により、対象者の栄養・健康に関する課題を 抽出することができる。 対象者のニーズ・アセスメントを基に、個々に対応した栄養教育計画を作成 し、栄養教育を実施することができる。 余業教育を実施することができる。 余業教育の名ためのプレゼンテーション技術について学び、実施す ることができる。 メ教者に対応したコミュニケーションを習得する。 	0	0	0	0	0	0	ł
	実験・実習	栄養教育論実習Ⅱ		1						3			1. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリングマインドと領聴のための技術を 獲得することができる。 2. ロールブレイングを通して、栄養カウンセリングの流れを理解することがで きる。 3. 病態、食事療法について理解し、対象者へ適切な栄養教育プログラム素を作 成し、実施することができる。 4. 栄養教育マネジメントに従って総合的に評価し、評価結果をフィードバック することができる。	0	0	0	0	0	0	
		臨床栄養学実習	1							3			 病院栄養管理の流れを理解し、設研できる。 栄養植物の種類と適定部を理解し、満確に選択できる。 火養地・所態および栄養状態を把握し、治療のための栄養ケア計画を作成できる。 泉体状況や栄養状態に応じた疾患・病態別の献立を作成し、調理できる。 身体状況と利用される他使用特殊食品の発気、特徴と理解し、説明できる。 経腸栄養管理に必要な管理栄養士の知識や技術を修得できる。 		0	0	0		0	
		公衆栄養学実習	1							3			 通切なニーズアセスメントを選択・実施し、プリシード・プロシードモデル に基づいた評価判定ができる。 スタ集団で地域の特性を把握し、適切な社会資源を活用した公衆栄養ブログ ラムを作成することができる。 4. 繊維的な実現がづくりを提案することができる。 		0	0	0			T
		給食経営管理実習 I	1					3					1. 実習計測に基づき各自が分担の作業を失ししながら、協力・連携の重要性を 認識できる。 2. 給食計加益および閉連科目の理論・知識・技術と実習との関連が理解でき る。 3. 栄養・食事管理、食材料管理、衛生管理、生産管理等の業務の計画、実施、 評価にかかわる帳票等の作成ができ、実施業務が遂行できる。 4. 給食調理業務のための基本的な調理技術を採用し、活用できる。		0		0			Ī
		給食経営管理実習 II		1					3				1. 給食経営費運動の理論と実習の限違が理解できる。 3. 給食経営増業務の中心とたち含素。全点等増えと、食材特管理、衛生管理、 生産管理、品管管理、施設改修管理、会計管理、事務管理などの各管理業務との 期連性について理解し、総合的な判断ができる。 3. 対象施設の特性に応じた完業・食事管理の計画・実施・評価のあり方を、実 務に基づいて3期できる。 4. 経営管理の資源である「人」「物」「お食」「情報」などの給食における特 性を把握し、マネジメントの理論を実務部で原則する手法を理解できる。		0		0			
		総合演習 I		1					2				 臨地実習の目的を理解し、実習に当たって必要な知識や技術を身につけ、積 極的な姿勢で実習に臨むことができる。 臨地実習1に向け、特定給食施設における給食システムの概要、給食の特質 および実発上常務を理解する。 	0	0		0		O	t
	総合演習	総合演習Ⅱ		1							2		 管理栄養士に必要な最新の栄養学分野における情報、関連領域の動向を理解 し、説明できる。 ライフステージ別栄養分野における栄養改善を必要とする事例について、専 門科目で学んだ内容から総合的に理解し、適切な栄養ケア計画を立案できる。 それぞれの疾患において、成因・病態・治療法を総合的に理解して、具体的 な栄養管理方法を提案できる。 各た思して、など、常美が再の作成、栄養ケアの実施、モニタリングを行い、 治療のための栄養管理を行うことができる。 		0	0	0	0	0	
	臨地	臨地実習I		1						1週			1. 完養士・管理完養士・薬筋の実践活動の場に臨んで、学内で学んだ理論と実践の現状を結び付けて理解できる。 の現状を結び付けて理解できる。 2. 学内で修得した給食の置なおよび給食経営管理に関する知識や技術を、臨地 実習施設で適用できる。 3. 給食の運営や関連の質板を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面等のマ ネジメントを行う能力を修得する。 4. 実践活動の場で業務上の問題点や課題に気づき、解決していく能力を身に付 ける。	0	0	0	0	0	0	Ī
	実習	臨地実習Ⅱ		2						2	週		 医療施設における栄養管理の営業、方法について理解し影明できる。 栄養ケアマネジメントを理解し実施することができる。 チーム援援を行うためのコミュニケーション能力を習得できる。 保健所・市町村保健センターの性格を理解し、行政管理栄養士の業務につい 	0	0	0	0	0	0	
		臨地実習Ⅲ		1						1	週		 1. 床板所「町村1床板でノナーの低格を把無し、(T政管理未実工の未務について 定説所できる。) 2. 地域の実態に応じた公衆完業プログラムを実践、評価することができる。 3. 多職種との連携を図ることができる。 4. 医療機関における到達目種は、臨地実習Ⅱに準ずる。 	0	0	0	0	0		
	æ	調理師論		2	2								 調理師試験に合格できる知識を習得する。 栄養士・管理栄養士と照らし合わせた際の、調理師業務の位置づけと役割を 設明できる。 まさぎな職場における、調理師・栄養士・管理栄養士の連携を図ることが できる。 		0					Í
	食と健康公	薬事法規概論		2	2	$\left \right $							 登録販売者試験に合格できる薬事法規関連知識を習得する。 医薬品販売において必要な法規・制度について理解し、順守することができる。 店舗運営で必要な医薬品や法律知識を身につける。 		0					╞
	分野	食品機能特論		2							2		 食品の機能性成分を特定するための学術的手法を説明できる。 食品の機能性成分を特定するための学術的手法を説明できる。 食品部の機能性成分で特定するための学術的手法を説明できる。 食品部の構造とおよび、その機能性について説明できる。 食品は次月上の相限が起こついて説明できる。 食品は次月上の相関の起こついて説明できる。 		0		0			ţ
		実践調理・調理科学演習		1							2		 調理実習と同時に実験を行い、その結果や知識を活かした調理技術を習得する。 これまでに作成していない和菓子、洋菓子、パン、デザート等の他、ソフト食を作成する。 食品の宮能検査、物性測定、粘度測定等を行い、その評価方法を習得する。 イ育単食や創作料理を作成し、その技術を習得する。 				0		0	t
	実践栄養分野	運動栄養演習 (スポーツ栄養含む)		1							2		 「健康づくりのための身体活動基準」を活用した身体活動計画の立案および 説明ができる。 肥満や樹糠能異常等の生活習慣病の改善を目的とした運動処力と栄養管理に ついて立案および説明ができる。 成長期、成長期、高齢期の各ライフステージに合わせた、運動および栄養の 指導ができる。 各アスリート種目に応じたトレーニングと栄養摂取のタイミングおよび栄養管理 について説明できる。 各アスリート種目に適じたトレーニングとパフォーマンス力向上のための栄 養管理方法について立案することができる。 		0	0	0		0	t
実践活		国際栄養論		2								2	1. 国際栄養学の現在、すなわち食種、栄養、健康の問題をどう捉えるか、また、なぜそのような視点が大事なのか説明できる。 2. 国民の健康や疾病の次税は各国によって異なり、それらは各国の食糧供給や栄養状態、あるいは栄養政策によって異なり、それらは各国の食糧供給 や栄養状態、あるいは栄養政策によく依存していることを説明できる。 3. 国際栄養活動の基本へありたこつて、説明できる。	0		0	0		0	ļ

			必	選		閉]講時	期・i	周授業	時間	数									
	÷	科目			14	F次	24	年次	34	手次	44	手次	到達目標	DΡ	DΡ	D P	DΡ	D P	D P	DP
			修	択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	5 - 1
動・専門研	臨床栄	臨床栄養管理演習		1							2		 疾患・病菌および栄養状態を把握し、各種疾患の治療のための栄養ケア計画 を立案できる。 身体状況や栄養状態に応じた疾患・病態別の献立を作成し、調理できる。 栄養管理ソフトを用いて、常食献立から治療食・療養食へ展開できる。 		0	0	0		0	0
究	養分野	ゲノム科学臨床応用論		2							2		 ゲノムの概念、ゲノム條桁技術、遺伝子診断技術について説明できる。 バイオインフォーマティクスの現状と特米権について説明できる。 遺伝子診断による疾病の発症予想技術について説明できる。 遺伝子診断結果の疾病境体の応用と実践について説明できる。 遺伝子診断結果の案先擒への応用と実践について説明できる。 			0	0			0
		科学英語文献購読		1							1		 英語で書かれた完美に開する学術論文を読むことができる。 完美表天学院入試の支払所目に対応することができる。 実語圏の海外留学において、栄養系の科目を履修できる能力を習得する。 				0			0
		卒業研究		4						4	4	4	 研究テーマについて、情報の収集、問題の設定、研究方法を検討し、研究計 調を立てることができる。 研究計測に従って研究を逆行し、研究結果を他人に分かりやすい形に整理することができる。 研究に関連する参考論文から情報を収集し、自己の結果と客観的に比較・考 解することができる。 4、研究の成果を、科学的な研究論文としてまとめることができる。 	0	0	0	0	0	0	0
	その他	実践活動		2						2	2		 ゼミのテーマについて、調査計画、研究計画を立案することができる。 ゼミのテーマについて、支納換索で装作の収集をすることができる。 ゼミのテーマの専門的な内容について理解し、客観的な考察を加えることができる。 	0	0	0	0	0	0	0
		管理栄養士演習 I		2							2	2	1. 管理完業上国家試験教持「社会・環境上、糖康」「人体の構造と機能及び死病 の成り立ち」「食べ物と健康」および「基礎完業学」の分野のポイントを説明で きる。		0	0				
		管理栄養士演習Ⅱ		2							2	2	1. 管理実業土国家試験教科 応用栄養学」「栄養教育論」 臨床栄養学」「公 衆栄養学」および「給食経営管理論」の分野のポイントを説明できる。		0	0				

栄養学科

学位授与の方針(DP)

DP1【知識・理解】 1 - 1) 社会人としての基礎的な教養を身につけている。 1 - 2) 栄養管理、栄養教育のために必要な、専門的な知識及び技術を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1)健康に関する諸課題について、これまでに培った知識・技術をもとに論理的に思考し、判断することができる

。 P3 【関心・意欲】 3 - 1)保健、医療、福祉に深い関心を持ち、健康増進及び疾病予防・治療に貢献しようとする強い意欲を持っている。

DP4 【態度】 4 - 1) 専門職業人としての職業倫理を持っている。 4 - 2) 専門的知識 - 技術を高めるため、継続的に自己を啓発し、研鑽しようとする態度が身についている。

DP5【技能・表現】 5-1)保健、医療、福祉の分野で、他の保健・医療従事者と連携・協働して、専門的な知識・技術を実践に活かすことができる。

教育課程編成・実施の方針(CP)

1. 総合人間科学の科目を通して、社会人としての基礎的な教養と知識を身につけるとともに、管理栄養士及び栄養士にふさわしい豊かな人間性とコミュニケーション能力を美う。

2. 食べ物と健康、人体の仕組みと疾病、社会・環境と健康などに関する専門基礎分野の科目を通して、幅広い教養を身につけるとともに、大学で栄養学を学ぶ目的を明確にする。 (1年次、2年次)

3.臨床栄養、栄養教育、給食経営管理、公衆栄養などに関する専門教育科目を修得した後、病院・福祉施設・学校給食・保健所などにおける「臨地実習」を実施し、実践的な能力とともに社会人としての基礎的な能力を養う。(3年次)

4. 卒業研究、卒業ゼミ、演習を通して、4年間の学びの集大成を行う。また、これまでに培った知識や経験をもとに、問題解決能力、論理的思考能力を養う。(4年次)

5. 各人が関心のある科目を体系的に履修できることを目的として、総合人間科学、専門基礎分野、専門教育分野の科目の中から、卒業必修科目、栄養士必修科目、管理栄養士必修科 目、及び教職に関する科目をそれぞれ設定する。

		選	栄			開講時	⊧期・i	圆授業	時間羨	女									
	科目		教	1	年次	24	年次	3 4	手次	4	年次	到達目標	D P	D P	D P	DP	DP	DΡ	DP
		択	種免	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	5 - 1
	教職概論	2	2			2						 1. 教職の意義や教師の職務内容、社会的責任などについて説明することができる。 2. 専門職としての教師に求められる資質、能力について説明することができる。 3. 教員養成の歴史、現状、現職研修の動向について説明することができる。 4. 教職をめぐる改革動向について説明することができる。 	0	0	0	0	0	0	0
	教育原理	2	2		2							 教育の理念や思想、原理などについて基本的な事項を説明することができる。 学校教育の歴史や機能について基本的な事項を説明することができる。 現代教育の課題や改革動向について説明することができる。 	0	0	0	0	0	0	0
	教育心理学	2	2			2						・学習のメカニズム(どのように人は発達して、学習し、考え、記憶するのか)の過程を説明できる。 今習活動にかかわる原因局属を拘備づけのタイプを説明できる・児童・生徒との限わり方の系グが人格発達の過程を説明できる・ ・ 授重・生徒との思わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる・ ・授重・形態や評価法を説明できる	0	0	0	0	0	0	
	教育社会学	2	2				2					 子どもの発達を社会的・文化的条件から理解することができる。 現代社会における子どもの発達に関するトビックスを学び、概要を説明することができる。 子どもの発達を説明する社会学の基礎的概念を活用することができる。 	0	0	0		0	0	
	教育課程論	2	2				2					 教育課程の登録、編成の原理と方法などの基本的事項について説明すること ができる。 学習指導要領の内容と特徴について説明することができる。 教育課程改革論など教育課程の現状や課題について説明することができる。 	0	0	0	0	0	0	0
	特別活動論	2	2					2				 特別活動の特質や環想について理解し説明することができる。 学習指導要領における特別活動の位置づけや内容を理解し説明することができる。 学校、子どもの実態と特別活動における教師の指導性について理解し説明することができる。 特別活動に関わる実践記録を分析することができる。 	0	0	0	0	0	0	0
教 職 に	教育方法論	2	2					2				 教育実践の原理や課題位とについて説明することができる。 技業の原理やた法を運帰し、学習指導案を書くことができる。 実就記録の分析方法と考につけ、分析することができる。 技業改革の課題と動向について説明することができる。 	0	0	0	0	0	0	0
関す	学校栄養指導論I	2	2					2				 現金生徒における食に関する環境と指導、管理の変義を理解できる。 児金生後の尊本に関する実施把握と分析方法を理解できる。 学校給食の意義と宗義教論の性命、役割を理解できる。 社会と環境と児童生徒の食の指導との関連性を理解できる。 	0	0	0	0	0	0	
る 科 目	学校栄養指導論Ⅱ	2	2						2			 学習指導展算が理解できる。 食の指導の全体的な計画方法、各教科における食の指導の内容が理解できる。 食に関する指導家の作成のための基礎的知識を獲得する。 食に関する指導の方法論について実践を通して理解できる。 学校、家庭、地域の連携による食の指導の展開方法が理解できる。 	0	0	0	0	0	0	0
	道徳教育の理論と実践	2	2			2						(1) 道徳と実際にかかける環難で便能することができる。 (2) 学習指導薬師における道徳教育の位置づけを説明することができる。 (3) 学習指導薬の基本的な構造を理解することができる。 (4) 道徳の検索実践にかかわる基本的な知識を習得し、模擬授業の形で実践す ることができる。	0	0	0		0	0	
	生徒指導論	2	2					2				 生徒指導の意義・内容を説明できる。 子ども理解の内容・方法を説明できる。 問題行動・トラブル等への対応ができる。 	0	0	0	0	0	0	0
	教育相談(カカンンリングを含む。)	2	2				2					 生徒と数員問のコミュニケーションについて理解を深め、カウンセリングの 技術を使うことが出来る。 学校内外で発生する子どもに関する社会的問題について理解を深めることが 出来る。 子どもの問題に対して具体的な援助計画を立てられるようになる。 	0	0	0	0	0	0	0
	事前及び事後の指導	1	1						←		\rightarrow	 事前 教育実習の意義と目的、実習にあたっての心がまえ、実習中の注意点 を理解し、食の指導に関わる技楽研究を実践できる。 事後 実習の習得事項から自答的整理を行い、今後の課題を明確にすること ができる。 	0	0	0	0	0	0	0
	栄養教育実習	1	1							Ļ	→	 食の指導における具体的な研究課題を発見できる。 自己の望ましい栄養軟論像を形成する。 戦戦に関する実践的・研究的能力を身につける。 	0	0	0	0	0	0	0
	教職実践演習(栄養教諭)	2	2								2	 教願課程間連邦目について扱い返り、各自に表された課題を確認する。 栄教教諭として求められる賞質・能力を具体的な学校場面に位置づけて考えることができる。 信頼される学校づくりに資する栄養教諭のあり方についての理解を深めることができる。 児童生徒等の理解の方法とそれに基づく教育活動について実践力を高めることができる。 余教教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用法を身につけることができる。 	0	0	0	0	0	0	0

英語学科

学位授与の方針(DP)

人文学部英語学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、基準となる単位数を修得し、以下の素養・能力を有すると認められる者に学士(人文学)の学位を授与します。

- 人文学部実施学科の教育目的を提成するために設定された目を優勝して、基準となる単位数を修得し、以上の素美・能力を有する D・1 (知識: 無新] 1-2) 実施に関する意かな調査と運用能力を含につけている。 1-2) 実施に関する意かな調査と運用能力を含につけている。 1-2) 実施に関する意かな調査と運用能力を含につけている。 2-1) 現代社会の溶開間について論し、適切な対応策を考えることができる。 D P3 [間心・意欲] 3-1) 表状を化のみならす世界の文化に関心をもち、無無をさらに認めようとする意欲を身につけている。 3-2) 国際社会や接触社会がな視る之都識に関心をもち、無無をさらに認めようとする意欲を身につけている。 3-2) 国際社会や接触社会がな見る意識に関心をもち、無無をさらに認めようとする意欲を身につけている。 3-2) 国際社会や接触社会がな見る意識に関心をもち、無無をたきに認めためにありまうとする意欲を身につけている。 3-4) 表状を化のみならず世界の文化に関心をもち、無無を大ることができる。 3-4) 国際社会や一環に知らって、より負い環境を利用してもかに、低者とと簡単する姿勢を身につけている。 4-3) 目のもつきが不知識を国際社会や接触と会か実施に役立てる方法を考え、実行できる。 D P5 [状態: 実現] 5-1) 低等の価値構成でな場に立ち、低者と協動することができるスミュニケーション能力を身につけている。 5-2) 実施及び日本語による情報収集・情報処理の技術や方法を身につけている。

教育課程編成・実施の方針(CP)

						E	開講時	蜩・i	圆授業	時間券	故												Γ
		科目	必修	選択	1 :	年次	24	手次	3 年	F次	4	年次	到達目標	D P	D P	D P	D P		DР		D P		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
		実践英語音声学 I	2		2								1.豊音音学文化ticulatory Phonetics的に足気実語俗音の位置関係が説明できる。 2.実語音音の発語と影響の違いな現明できる。 3.実語音の発語と影響の違いな現明できる。 4.実面の優勢している Accelly the Accell		0								
		実践英語音声学 II	2			2							1.職音等神学(Articulatory Phonetics)的に見た英語子音の一覧表を理解し説明でき る。 2.英語子前の奈容記号の違いが説明できる。 3.英語の了人とイントネーションの基本的な違いが説明できる。 4.英語音と日本語音の音構造の基本的な違いが説明できる。		۵								
		グラマー・コンポジション I	2		2								1. 英文法の基礎(用語・機能・意味・特殊兼現等)を理解できる。 2. 学習した文法知識を基にして、正しい英文を書くことができる。		0								
		グラマー・コンボジション Ⅱ	2			2							 実績23歳程度の文法を選解できる。 実習した文法知識を用いて、ある程度まとまりのある文章を書くことができる。 		0								
-		英検演習 I	2		2								1. 実後中級レベルの路彙・文法・認解問題の出題形式・傾向を十分理解し、問題を 迅速かつ正解に解くことができる。 2. リスニングの形式・重要ポイントを十分理解し、問題演習を通して、安定して得 点をあったがあた。当例即時間内でポイントを得らえた基礎的な実文を参くことができる。		0		0					0	
身高 ショ 川禾	香ストレ	TOEIC演習 I	2			2							 10010ウストのリスニングとリーディングの基礎的な問題を迅速かつ正確に解く ことができる。 10010日間知時へ報告アクニックを知ることができる。 10010日間で設われている基礎的たどガネスにない周囲に慣れることができる。 10010日間に照出する活動や慣用句を理解し使うことができる。 		0		0						
Ē	1	英検演習 II		2			2						1. 実験申し建しべいの理像、文法・影解問題の出題形式、傾向を十分理解し、問題 を活動かご確認をいて認らてとおべてき。 2. リスニンダの形式、重要ポイントを十分理解し、問題演習を通して、安定して高 得点をあげることができる。 3. 朝期時間内でポイントを伴さえた変式を書くことができる。		0		0					0	
		TOEIC演習 II		2				2					 ハイレベルの内国にスコアを目前・ 東次の加慮に基づいて解答することができる。 3.70E1cの問題を指やすことができる。 3.70E1cの問題形式に慣れ、実用性に優れた診療や表現の知識を指やすことができる。 4.70E1Cが対象とする様々な状況における会話や音声会加、文書の内容表現解することができる。 		٥		0						
		英語プレゼンテーション I		2			2						State their own opinions on a variety of topics State their own opinions on a variety of topics State their own opinions on a variety of topics A subscription dependent of topics and content Write a speech and perfect it through various drafts A, Perfect presentation skills for delivering a speech		0						0	0	
	-	英語プレゼンテーション II		2				2					I. Practice oral presentation skills and techniques 2. Develop writing skills for presentations 3. Learn to use presentations inflware 4. Create interesting presentations that can be delivered confidently 5. Prepara and present for the Zion Cup English Contest		٥						0	0	
		英語プレゼンテーション III		2					2				L Experse opinions clearly and confidently Listen to other people and respond competently Suitcritate networks preparations with other group members A Debate a given topic in English		0						0	0	
		英語コミュニケーション I	2		4								1. Use English in real conversions with a partner or group 2. Speak English more smoothly with correct trythm 3. Such the English they have learned in communicative activities and authentic situations 4. Study independently using the online Chieru system 5. Maintain an online English journal auto portfolio		٥		0		0			0	
		英語コミュニケーション II	2			4							Study English related to travelling and studying actoad Submits conversations with nate-Freight speakers Sivecent about Japanese culture in English Write and perform a speech for the Zaro Cup English Context Study independently using the online CHeru system Mathemation and the Franking investment of motion		0		0		0			0	
		英語ディスカッション I	2				2						Develop the process of communication through discussion 2. Develop the process of communications skills 2. Superior, particle, and improve key communications skills 3. Superior their own detas and values 4. Study independently using the conflice CHEuu system 4. Shufthan an online teglich journal and portfolio		0		0					0	
		英語ディスカッション II	2					2					1. Build on discussion shill developed in the 1st senseter 2. Improve key communications skills and broaden vocabulary 3. Joinn their own ideas and values through guided trearch 4. Study independently using the online Chieru system 5. Maintain an online English journal auto portfolio"		0		0					0	
		英語プロジェクト I	2						2				1. Pika and prepare a curriculum for the class 2. Scannie current plobal and cultural tauses and discuss them in a meaningful manner 3. Research to prepare presentations to the class 4. Discuss and evaluate the material that is introduced in class 5. Self- and pere-valuate achievement in this course	0	0	0	0	0				0	0
		英語プロジェクト II	2							2			Linderstand case studies of international and domestic companies Research to prepare presentations to the class Sociass and evaluate the situations that are introduced in class A Prepare a case study and action plan and present to the class	0	0	0	0	0				0	0
		グローバル英語 I		2							2		Improve their fluency in authentic discussion situations Zoevelog their critical thinking skills through research-based activities A Research debate topics and present their own ideas	0	0	0	0	0			0	0	0
		グローバル英語 II		2								2	 Develop their English interview skills working with authentic subjects2. Express their opinions on different topics related to current events3. Analyse data and present on it in English 	0	0	0	0	0			0	0	0
		リーディング I	2		2								1.1つの東文には、主語とそれを受ける法無機関があることを理解できる。 注語機関のあとには、支型に応じて、名間的や創屋間的が配置されていることが再 類できる。 3.上記1.2 を理解した上で、文法に同った原称力を付けることの重要性を運解でき る。 4.実践教氏以外に、実際小腹がと自分が導んだ成み物を57単語以上、数のことができ		0		0					0	0
-		リーディング II	2			2							2. L. Reading1で学修した基本的な説解技術を、徐々に自動化して読み進めることができる。 5. m 電動材以外に、英語小説など自分が進んだ新たな読み物を5万単語以上、読むことができる。		0		0					0	0
身前といって	на 1 // н	リーディング III		2			2						1. 単語単位ではなく、ブレーズ単位で美文を読むことができる。 2. 読み物の中に感出する美単語を身につけ、単語力と支助力を向上させる。 な民職務材以外に、美語小説など自分が進んだ新たな読み物を5万単語以上、読むこと ができる 		0		0					0	<u> </u>

					ß	引講時	i朔・j	固授業	時間	数			T					3				Т
	科目	必修	選択	14	- 年次		年次		年次	1	年次	到達目標	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	D
			~		後期		後期				後期				2 - 1				4 - 2		5 - 1	
ゲーショ	リーディング IV		2	193793	EX.791	111791	2	113.94	6.77			1.電子研書を使いこなし、未知の単語を含んだ英文でも大幅にスピードを落とさずに 該にことができる。 2. 複数な機成の文章でも、正しく文章を把握することができる。 3. 検索教材以外に、英語小説など自分が進んだ新たな読み物を5万単語以上、読むこと ができる。		0		0					0	T
ン 科 目		2				2						 実話令と言語令の環境について理解できる。 実話発展の歴史の概称を理解できる。 実話を構め歴史の意味を理解できる。 形陰論の正義を理解できる。 形陰論の正義を理解できる。 鉄指論の温暖を理解できる。 		0		0					0	-
	英語学概論II		2				2					1. 意味強の基礎を理解できる。 2. 社会言語学を仕じめ、応用言語学の基礎を理解できる。 3. 平島な英語で書かれた英語学・言語学の専門書を使める。		0		0					0	t
												1.日本語を直訳しても、必ずしも伝えたい英語にならないことを理解している。 2. 表現したい日本語を、別の日本語表現で言い換えてみる発想を身につけている。	-		-							╋
	ライティング基礎	2				2						 人称代名詞を主語とする英文であれば、動詞の文型に留意した上で、正しい単文を 書くことができる。 従属接続詞を用いた、復文を書くことができる。 第文ライティングにおけるバラグラフの概念を理解している。 		0					0		0	
	パラグラフ・ライティング	2					2					 200~250単筋程度の変文パラグラフを書くことができる。 パラグラフの種灸を育解した上で、エッセイを書くことができる。 		0					0		0	
	エッセー・ライティング		2					2				1. パラクラフの概念を展開した上で、エッセイを書くことができる。 2. エッセイの中に、御文文教を引用して書くことができる。 3. 1.000~1.500単語程度の死文エッセイを書くことができる。	0	0	0	0					0	
	英語文学I	2				2						 技業で取り上げた実米支撑作品をきっかけに、文学作品の魅力に触れ、今後の専 門的文学作品者欠び世界で応用できる。 講義を通して精錬、連載を進める中で、実断力の向上ができる。 	0	0		0				0	0	
	英語文学II		2				2					1. 実施文学1で特と加減を応用させながら、この発電で取り上げた英米文学作品との 比較を行いながら、買い合牧の専門的な文学作品産営の世界では用できる。 2. 課義を通して精読、達読を進める中で、英語力の向上ができる。	0	0		0				0		
	英語通訳演習 I		2					2				1. 東大を加から第次(エークー」を含わせたシンダよく使し、生成度酸やさ自分の の部分で発明。20日本で有効、の思いたなくため、また、 2. ディクテーションフ:目で見る実施と耳て感く実施のギャップを想解し、機能所の 第級とや30以入れできる。 3. (使える実用)の量を増加するために、悪解・試解練習の時にので実施で受かする 様や315 4. (ふたまりで間こえない部分)目リエンノをの一機認時部分をシャドーイング練習 8. 5まだまでで聞こえない部分)目リエンノをの一機認時がなシャドーイング練習 5. 5まだまでであ。	0	0	0	0				0	0	
	英語通訳演習Ⅱ		2						2			1. 美友を前から期後、1エーウー」を言わてにランドはく気に、美波時間では鳥分回の的名(学期)の、90140倍(学期)の2014(3)できるからに支払するとようできる。 2. 最後回聴いを構立力で毎日に、本動場と新容領の過去分詞の違いと見抜ける。 2. しため。 3. レスターン・2. しため、2. しため、2. しため、2. しため、3. しため、4. しため	0	0	0	0				0	0	
	欧米文化交流研修 A		2	2								1 欧米の国び欧米林の文化圏の文化や生活について選挙することができる。 2 自回文化と外国の文化を制成的成績できる。 3 国際化についての選挙を探める。 4 実践的な実語力を身につける。	0	0		0		0			٥	Ī
£	アジア文化交流研修A		2	2								1 アジアの国・勝峻の文化や生活について便解することができる。 2 自回の文化と外国の文化を相称的に農業できる。 3 国際代についての理解を保めることができる。 4 外国際の週間直が多付につけることができる。 5 異文化交流のノーハウを身につけることができる。	0			0		0			0	
3	欧米文化交流研修B		2	2								1 教表の国び政業系の文化圏の文化水生新について理解することができる。 2 自回の文化と地図の文化を利却的に影響できる。 3 国際化についての理解を置める。 4 生活の中で、実際に実際の運用能力を活用できる。	0	0		0		0			0	Ī
t	アジア文化交流研修B		2	2								1 アジアの国・峻城の文化や生然について要称することができる。 2 自回ったとな想の文化を相当的に魔獣できる。 3 国際化についての理解を導めることができる。 4 外国際の理想力を和てっける。 5 異文化文波を通して、多様性への対応ができる。	0			0		0			0	Ī
f	メディア英語 I	2		2								 Study English intensively using the online CHieru system Anahyse areas of English that need extra study and create personalized study tracks. Learn to use the English Department Moodel system for source in future course work Study course-related vocabulary online using the Quizlet study system 	0					0	0		0	
÷	メディア英語 II		2				2					 Continue studying English intensively using the online CHieru system Build an online portfolio for completed content from other courses Sa Jopicor other Software, websites, and applications suitable for learning English Use the English Department's SNS as a base for project work 	0						0	0	0	T
	時事英語入門		2					2				 Use different media as a tool for English learning Study current events in English in newspapers and online Prepare and present a multimedia project on a self-decided theme Create an English podcast for sharing with other students 	0	0	0	0				0	0	T
	応用時事英語		2						2			 Continue to use different media as a tool for English learning Continue studying current events in English in newspapers and online Prepare and present a multimedia projection a self-decided theme Create an English ~book as a resource for other students 	0	0	0	0				0	0	t
	異文化問コミュニケーション I		2			2						1. 文化音景の異なる人に対して、開かれた心と態度を持ち続けることができる。 2. 文化音景の異なる人とのコミュニケーションに、積極的に参加できる。				0		0			0	T
国際理解科	□ 立 小明 コミュニ たー・ション□		2				2					1. 日本勝を通して、日本人・日本文化・日本社会を理解することができる。 2. 身の回りにある日本部に興味を持ち、その使い方や意味を探ることができる。				0		0			0	T
E	エリア・スタディ I		2			2						 Gain understanding of the environment, history, society and culture of different cultures. Internet research Prepare presentations in group work Obseque their understanding of international cooperation and 	0	0		0	0	0	0	0		T
	エリア・スタディ Ⅱ		2				2					multiculturalism I. Gain an understanding of the environment, history, religions and social structures of different cultures 2. Complete comprehensive Internet research 3. Prepare and give presentations in groups 4. Despen their understanding of international cooperation, multiculturalism,	0	0		0	0	0	0	0		T
	国際経済入門		2			2						and globalization 1 紙液とはなたか、紙漆学とはどんな学問か、を学ぶことができる。 2. 現在の家本主義施添けでなうた2実現してきたかを学習できる。 3. 日本紙添がどのようにして発現してきたつ水を学ぶことができ 5. 4. 現在の常果紙添か物徴と、そこでの日本紙添の位置について考えることができ	0		0	0				0		t
	国際関係入門		2				2					る。 - 1. 田原環境最好な知識をすたけることができる。 2. 国原成治に関する保違を無料することができる。 3. 世界情勢を眺め、論じる原に依拠する「自分なりの現産」を獲得することができる。 5.	0		0	0						t
	日本の歴史と文化地理I		2		2							 日本の各時代の文化の特質について考察・理解し、それを説明することができ 各自の間心に基づいて進進した文化事象についてパワーボイントを用いたプレゼ ンデーションができる。 通貨幣件は弊有と外に法解問題の内、歴史の野に出題される事件を把握する 	0		0	0				0		t
	日本の歴史と文化地理Ⅱ		2				2					ことができる。 1. 日本の各地域の逸悪・気候の特質、そこから生まれた文化について学び、それを 現即することができる。 2. 各自の職に広づいて満世した地域の特質や文化速産、最先地、特徴物等につい 7. 9. 連載の主人が見いたアレビンテーションができる。 3. 美球業件上は増えれる事件を平眠する	0		0	0				0		╞
	文化人類学	\vdash	2						2			3、他があり上昇原すしたみた年期の場づいたと思ったいに出される中市など出す」の してなるその化したた、たち付けの形式の方式の上したお面とされの作用のひと して、「ないた」になったた、たち付いの形式のないでした。 して、「ないた」になった。たちで、「たいうちょうか」の様式である。 2、「またにたまる他参加」のかないのわり方について、「たらちたくことができる。 3、現代にたかがかっえるさまざまな問題を解決するためのビントを見つけ出すことができる。	0		0	0	-	Ø		0	0	╀

						開講時	i朔・i	圈授养	能時間	数											キカリキ:		Γ
	科目	必修	5 選択		年次		年次		年次		年次		到達目標	D P 1 - 1	DP = 1 - 2	DP = 2 - 1	D P 3 - 1	D P 3 - 2	D P 4 - 1	DP = 4 - 2	D P 4 - 3	D P 5 — 1	D F 5 — :
	日本語A		2	町現 4	月 後期	前朔	後期	刑典	一份坍	目前共	月後再		1、専門分野の論文やレポート等、論理的な文章を読むために必要な読解力を習得で さる。 2、論理的な文章を読むために必要な活象、文法の知識を習得できる。 3、日常生活・留学生活に必要となるスキルを習得できる。									0	$\left \right $
	日本語B		2		4							1	1. 発表を調き取ることができる。 2. 開き取りに関する自分の時点を転ることができる。 3. 発計する間に必要な表現で簡優を身に付けることができる。 4. 吟事問題を日本指で説明できる。									0	
	インターンシップ		2			2						11 B 12 V	1. 社会人転義力を向えたシンクインターンシックへの参加目的を明確化し、体験に 向れた爆発な場合なわたを獲用し、発展することができ。 2. インターンシップを通じて、ビンネスの社会的資料。成果のために働くことの意 Kについて関係できる。 3. 本学での年少と自己の職業職を保化させ、通性を生かしたキャリアデザインにつ に考えることができる。	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	現代ビジネス人材論		2				2					角ませる。	1. 日本の社会の変遷と、「仕事への移行」に限して女子大学生が革直する運燭を理 係できる。 2. 社会人として求められる12の基礎能力要素について、自らの成長を実感できる。 1. 自らの値推測。特性、興味を登録的に定え、自身のキャリアプランを変更でき 5. 4. 訪問 - 面接などの水場活動や実現のビジネス・シーンに必要な基本動作ができる。	0		0	0		0	0	0	0	0
++	職業選択と能力開発		2					2				and the second	1. 自己分析ができ、自分に通した職業部務ができる。 2. 会社が求めるX4個いたい人、思いたくない人等に関して説明できる。 3. 会社があなたに求めるもの(グループワーク)について説明できる。 1. 地元会業見足、現場出書きでの意見又被を通って比率、社会の職したが説明でき 5. 歳. 規用を書も取るためのキーボイント(グループワーク)について説明できる。	0		0			0	0	0	٥	c
リア形成科	簿記入門		2				2					No an oluna 200	1、取引と社訳のルールから、欧米式計算法と日本式計算法の運いから、その内容が 取引できる。 2、職定相口の要体から、現金の管理は、経理の最も重要な仕事であることを使用で きい概の方法は、取引内容によって記録する帳券は違っことを理解させ、その内容 い意味を加えた。見せた取りになえて、それのために知道である。								٥		
日	簿記演習		2					2				3~4	・前年の取得から住居を考え、簡単の起入方法に基づいて、その内容が現明できる。、 期中の取得から強切と振せる要求しての内容が現明できる。 に体験量単項から仕招く考え、復式第20ヶ柱組みを運解し、その内容が現明できる。 情報 表作成ならお情報表作成まで、その内容が現明できる。 1 気最多別、対外直接投資家の回転ビジネスの基本的な仕組みなまび実施取引(何)								٥		
	国際ビジネス論		2					2				ショ星の天	たば、企業が海外進出するとはどういうことなのか)を定爆できる。 2. 国際ビジネの動向、それに関わるリスク、金融、信報、法律、税金などの諸問 型を選解できる。 3. 日本および米国のビジネス文化の特徴を相互に対比しながら、その強み・弱みを 器杯できる。	0		0	0		0	0	0	0	(
	航空ビジネス研究		2					2				4	1. 自己分析が大き、当定動物を説明できる。 2. エンドリーン・ドイ酸塩等等を登取しな、ことができる。 3. 日本際と実施で筆記対策で面接に対応できる。 4. 客弦果務員や空障職員の任事付容が運筹でき説明できる。 1. 社会人基礎力を向上させつつインターンシップへの参加目的を明確化し、体験に	0	0	0	٥		0	0	0	0	(
地	国際ボランティア演習		2				2					E to West L	向けた必要な知識やスキルを獲得し、発揮することができる。 2. インターンシップを通じて、国際的な既形に立ち、特徴発展可能な社会の在り方 逻環能し、その実現のために自分ができることについて考えることができる。 3. 本学での学びと自己の職業職を深化させ、適性を生かしたキャリアデザインにつ いて考えることができる。	0		0	0	0	0	0	0	0	(
城貢献・国	教育ボランティア演習		2					2				E STOL	向けた必要な知識やスキルを獲得し、発揮することができる。 2、インターンシップを通じて、教育的社会的党国について理解できる。 8、本学での学びと自己の職業職を深化させ、適性を生かしたキャリアデザインにつ いて考えることができる。	0		0	0	0	0	0	0	0	4
際貢献科目	児童英語教育入門		2					2				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 小学校学習指導業額の獲要な利用できる。 小学校学習指導業個外国活動が内容な其体的に説明できる。 小学校学習指導業個外国活動を一学校学習指導業個外国語の目標の違いが説明 4、小学校における人学校実施教育の変新に規則できる。 実施養育会体における人学校実施教育の変新に規則できる。 ハー学校における実施活動の変更が見知できる。 	0	0		٥		0			0	(
	児童英語教育研究		2						2			44.15.44.44	2. 小学校装施活動の目標の立て方が説明できる。 3. 牛部院専科用の作りのオインド装明できる。 4. クラスルームイングリッシュの活用ができる。 5. 参様なアイディア集が懸察でき、いくつかを使うことができる。 1. 国際的模型・映画的視知に立て聞いた豊かな影響と応にいい語を有につけることがで	0	0		0		0			٥	¢
	専門演習 I	2						2				234~5467891	さら、 現代社会の周期間について語し、その対応策を考えることができる。 現代社会の周期間について語し、その対応策を考えることができる。 家米文化のみならず世界やの文化に認めともも、現新を保からための意味を身につけ らことができる。 国際社会・地域社会の思問題に関心をもち、その解決に自らの能力を高める意欲を パローバ会社会のかで、他を自義して含い使感を創いてることができる。 国際社会・地域社会の発展に、各日の能力や領感を発出です。 とのないためためので、他を自義して含いたのなどのできる。 通常社会・地域社会の発展に、各日の能力や領感を発出ですることができる。 の.支援・日本語による情報収集・情報処理能力を身につけることができる。	0	0	0	0	0	0	0	٥	0	(
	専門演習 II	2							2			7234×5×67891	100000000、20000度加に上部なしたかでなる。 東部に除する後かな際に支部に取りたしたべきなる。 現代社会の問題間について資格し、その解決に自らの能力を含めるとができる。 現代社会の問題間について資格しており、その解決に自らの能力を含めるを使いつけ というなとして、制作のなどにならる。 ガローベル社会の中で、他をは簡単に定めともち、現希を保めたための意味をないつけ ないけるととないできる。 メプローベル社会の中で、他をは簡単になるとおいできる。 国際社会の一般として、機構的に現代ものな教習と大ができる。 国際社会の生活を含め、 に関いため、単純社会の定期に、各日の影力や知識を受けてるとおいできる。 国際社会の生活を含め、 国際社会の生活を含め、 国際社会の生活を含め、 実施に資格できる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
演習・研究	卒棄研究	4									4	24458677819718	N ≤ 5.00 かんたらず世界の文化に関心ともち、運帰を運めるためのさらなる意欲を 彼っれることができる。 国際社会・地域社会の運用間に関心をもち、その解決に自らの能力をさらに高める 該を考えいることができる。 していたいたできた。 していたいためでも、自然になったのでは、「ないないないないないないないない。 とかできる。 国際社会・地域社会の発展に、各自の能力や知識をこれまで以上に致立てることが したり、3.40 の代表にないたり、現時の経営発売だ したり、5.40 の代表にないたり、1.40 の能力や知識をこれまで以上に改立てることが していたいないため、自然社会の発展に、各自の能力や知識をこれまで以上に改立てることが していたいため、自然力である。	0	0	0	0	0	0	0	0	٥	
	English Extension I	1			1							23	ときまざな母猫で実務を使用することに取れる。 異都な多なに認めをやか。 異都を特代するために他者と協働する姿勢を身につけている。 課題発展のために、領籍的に実施でコミュニケーションを図る態度を身につけてい		0		۲		0			0	
	English Extension II	1					1					2 2	【週期保のために、植物にに実施でミミュンクージョンを図る態度を身につけてい 5. 見なる文化を理解しようとする姿勢を身につけている。 二期期保険のために、他者と協働する姿勢を身につけている。		0	0	0		0	0		0	
	English Extension III	1							1			2 10 2	2. 国際社会で地域社会の理想に関わった。 第四期社会で地域社会の理想に関わる特ち、課題解決のための意欲を身につけてい 5. 地名と協働して、課題を成し遂げることができる。 	0	0	0	0	0	0	0		0	
	English Extension IV	1									1	2	(無機時状のにのに、効果的に決測を使用することかできる。 国際社会の一員として、責任ある役割を果たらとする態度を身につけている。 と患者の価値観号立場を専重し、患者と簡勝することができるコミュニケーション能 りを身につけている。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(

英語学科

学位授与の方針(DP)

DP1 【知識・理解】 1・1) 国際的視野と地域的視野に立って行動するための豊かな教養と幅広い知識を身につけている。 1・2) 英語に関する確かな知識と運用能力を身につけている。

DP2【思考・判断】 2-1)現代社会の諸問題について論じ、適切な対応策を考えることができる。

DP3 【関心・意欲】 3 - 1) 英米文化のみならず世界の文化に関心をもち、理解をさらに深めようとする意欲を身につけている。

DP4【態度】 4 - 1) グローバル社会にあって、より良い環境を創り出すために、他者と協働する姿勢を身につけている。 4 - 2) 国際社会の一員として、自ら積極的に責任ある役割を果たすことができる。 4 - 3) 自分のもつ能力や知識を国際社会や地域社会の発展に役立てる方法を考え、実行できる。

DP5【技能・表現】 5-1〕他者の価値最や立場に立ち、他者と協働することができるコミュニケーション能力を身につけている。 5-2〕情報収集・情報処理の技術や方法を身につけている。

教育課程編成・実施の方針(CP)

1.人間への深い電解と環境や現代社会文化への幅広い知識の基盤を形成し、専門教育の領域にとどまらない探求心を養う総合人間科学科目と「専門基礎科目」「専門基幹科 目」「専門展開科目」「演習・研究」で構成される専門教育科目を設置する。

2. 「専門基礎科目」には、英語に関する全科目を必修とし、英語によるコミュニケーション能力向上の基礎固めになる科目を配置する。

3. 「専門基幹科目」には、異文化理解を深め、英語・日本(語)などに関するグローバルな知識と思考能力などを養う科目を配置する。

4. 「専門展開科目」には、現代社会の実態を学際的にとらえるために必要な知識とそれを表現する発信力を身につける科目を配置する。

5.「演習・研究」には、大学での学びに必要なスキルと自主的思考力を修得するための科目と、専門的な知識や研究方法及び社会に出て人々と協働し連携できるコミュニケーション能力を修得するための科目を配置する。

6. 高い英語運用能力と国際感覚を養うために、英語資格取得に関する選択科目と海外研修に関わる選択科目を配置する。

7. キャリア形成に関しては、キャリア教育の基礎を学ぶ科目、教職に関する科目、日本語教員養成に関する科目を配置する。

		選	一南	一中			開講問	宇期・う	圈授業	時間	敗											
	科目		英一 語種	英一語種	1	年次	2	年次	3 £	年次	4	年次	到達目標	DP	DP	DР	DP	DP	DΡ	DP	DΡ	D P
		択	一位		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
	教職概論	2	2	2			2						 教備の医療や教師の種柄内容、社会的責任などについて説明することができる。 専門機として教師によめられる登賞、能力について説明することができる。 教員発症の歴史、現状、現職研修の動向について説明することができる。 教機をめぐる改革動向について説明することができる。 	0						0		
	教育原理	2	2	2		2							 教育の理念や思想、原理などについて基本的な事項を説明することができる。 学校教育の歴史や機能について基本的な事項を説明することができる。 現代教育の課題や改革動向について説明することができる。 	Ø						0		
	教育心理学	2	2	2			2						・学習のメカニズム(どのように人は発達して、学習し、考え、記憶するのか)の過 格を説明できる ・学習活動にかかわる原因場遇や動機くけのタイプを説明できる ・児童・生産との関わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる ・児童・生産との関わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる	0						0	0	
	教育社会学	2	2	2				2					 子どもの発達を社会的、文化的条件から理解することができる。 現代社会における子どもの発達に関するトビックスを学び、概要を説明することができる。 子どどの発達を説明する社会学の基礎的概念を活用することができる。 	0		0				0		
	教育課程論	2	2	2				2					 教育課程の意義、編成の原理と方法などの基本的事項について説明することができる。 学習指導要領の内容と特徴について説明することができる。 教育課程改革論など教育課程の現状や課題について説明することができる。 	Ø						0		
	特別活動論	2	2	2					2				 特別活動の修養を展題について理解し返用することができる。 学習指導要額における特別活動の位置づけや内容を理解し説明することができる。 学校・子どの実態と特別活動における数師の指導性について理解し説明することができる。 特別活動に関わる実践記録を分析することができる。 	0						0		
	教育方法論	2	2	2					2				 教育実践の原理を提題などについて原理することができる。 授業の原連や方法を登録し、学習推業を参加した。 実践記録の少作方法を身につけ、分析することができる。 実践記録のの課題と動向について説明することができる。 	0						Ø		
	英語教科教育法I	2	2	2				2					 英語教育について理論と実践の両面から包括的な理解ができる。 小学校外国語活動、中学校外国語、高等学校外国語の学習指導要領の変遷を理解し、新しい学習指導要領の変遷を認明であった。 異文化理解や国際理解にまで視野を拡げた考え方ができる。 	Ø						0		
	英語教科教育法Ⅱ	2	2	2					2				 実施数価に求められる実質と自己成長の方法について説明ができる。 導合本の方法について説明ができる。 第合指導の方法について説明ができる。 第合指導の方法について説明ができる。 4、 主実践画の両面で、重要なポイントが説明できる。 4. ま数の映画で、重要なポイントが説明できる。 	Ø						0		
教 職 に 関	英語教科教育法Ⅲ	2	2	2						2			 英国弊師の役割について説明ができる。 英国業務(本)ないって説明ができる。 教材と容濃使った切らについて説明ができる。 教育者を受け止め、その多様性、の方広の大切さについて説明ができる。 学習者との信頼関係づくりの大切さについて説明ができる。 学習者との信頼関係である。 学びキングの行い方について説明ができる。 アオーム・ジョングの行い方について説明ができる。 アオーム・ジョングの行い方について説明ができる。 アオーキンシングの行い方について説明ができる。 アオーキンシングの行い方について説明ができる。 アオーキンシングの行い方について説明ができる。 アオーキンシングの行い方について説明ができる。 アオーキューションの大切さと実現方法について説明ができる。 							0		0
す	英語教科教育法Ⅳ	2	2	2						2			 各種指導技術の基本が理解できる。 指導案についての基本を理解し、作成することができる。 目標に沿った授業を計画し、それを実施することができる。 							Ø		0
る 科	英語教科教育法V	2	2	2							2		1. 環境で使用子並の1-03学年の兼料事の内容が把握できる。 2. 国資料書に関しては十分な技術発売できている。 3. 国資料書の内容に関する実施の苦諾がスムーズにできる。 4. 環境であったがの音ない使素ができる。 5. 実路だけでなく、実習生として単先した生徒指導ができる。		0					0		0
E	道徳教育の理論と実践	2		2			2						 (1) 道徳上実践にかかわる課題を類素することができる。 (2) 学習指導業額における道徳教育の化営力はを説明することができる。 (3) 学習指導業の基本的な構造を到無することができる。 (4) 道徳の授業実践にかかわる基本的な知識を習得し、視频授業の形で実践することができる。 	0		0		0	0	0	0	
	生徒・進路指導論	2	2	2					2				 生徒指導の意義・内容を説明できる。 子ども理解の内容・方法を説明できる。 同胞石(物・トラブル等への対応ができる。 連路指導・キャリア教育の意義・内容を説明できる。 			0		0	0	Ø	0	
	教育相談(カウンセリングを含 む。)	2	2	2				2					 生徒と教員間のコミュニケーションについて理解を深め、カウンセリングの技術 を使うことが出来る。 学校内外で発生する子どもに関する社会的問題について理解を深めることが出来る。 子どもの問題に対して具体的な援助計画を立てられるようになる。 			0			0	Ø	0	
	事前及び事後の指導	1	1	1						Ļ		→	 担当零の指導を受けることで教育現場での留意事項を確かめながら実習への心の 準備がたさら。 教育実習の報告を聴くことで、実習の成果を高めるための準備をすることができ る。 教育学習の報告を聴くことで、実習の成果を感いて、自らの実習に活かすことが できる。 中・高等早校の校長・教頭経験者の講話を聴いて、自らの実習に活かすことが できる。 年、高の現職常識の話を聴いたり、実践的な授業を受けたりして、自らの実習に 活かすことができる。 既保授業による疑似体験を通して、授業の進め方を理解し教育実習に向けた備え をすることができる。 教育実習体験を通して現場の体験を分かりやすくまとめて語ることができる。 							0	Ø	
	教育実習 I	2	2								←.	→	1. 実習校の実状に応じて実習内容を計解することができる。 2. 実習校の変点的な著作方針・目標・生体指導方針等あるいは実習期間中の行事等 を考慮して職務内容を求たすことができる。 3. 授業については、実習機なのない時日・単元についても可能な限り講話・資料で 学習し、実習校における教育活動全体の概要を理解することができる。		0			٥		0	0	
	教育実習Ⅱ	4	4	4							Ļ	<i>→</i>	 実習校の教員の指導に従って学習指導業やその他の計画を作成することができる。 実習校の教育方針を尊重したがら、実習生として自らを律し行動することができる。 実習校の教育目標や指導方針、学校行事等に配慮したがら実習生としての責務を 果たすことができる。 実習校外の授業も可能な限り参観し、実習校の教育活動全体を把握することができる。 		0			0		0	0	

教職実践	浅演習(中・高)	2	2	2							2	教師として求められる資格・能 とができる。 信頼される学校づくりに貢献す できる。 生徒理解に基づいた教育活動を 授業の計画、実施、評価に関す	自らに戻された環範を使ることができる。 おかを具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ば *る教師の在り方を理解し具体的な方策を探るこ *展開することができる。 * 勾蹠炎と残力を伸ばすことができる。 ない、シスを探り活用することができる。		0			0		0	0		
------	----------	---	---	---	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	---	--	---	---	--	--

英語学科

学位授与の方針(DP)

DP1 【知識・理解】 1・1) 国際的視野と地域的視野に立って行動するための豊かな教養と幅広い知識を身につけている。 1・2) 英語に関する離かな知識と運用能力を身につけている。

DP 2 【思考・判断】 2 - 1) 現代社会の諸問題について論じ、適切な対応策を考えることができる。

DP3【関心・意欲】 3-1)英米文化のみならず世界の文化に関心をもち、理解をさらに深めようとする意欲を身につけている。

DP4【態度】 4 - 1) グローバル社会にあって、より良い環境を創り出すために、他者と協働する姿勢を身につけている。 4 - 2) 国際社会の一員として、自ら積極的に責任ある役割を果たすことができる。 4 - 3) 自分のもつ能力や知識を国際社会や地域社会の発展に役立てる方法を考え、実行できる。

DP5【技能・表現】 5-1)他者の価値観や立場に立ち、他者と協働することができるコミュニケーション能力を身につけている。 5-2)情報収集・情報処理の技術や方法を身につけている。

教育課程編成・実施の方針(CP)

1.人間への深い理解と環境や現代社会文化への幅広い知識の基盤を形成し、専門教育の領域にとどまらない探求心を養う総合人間科学科目と「専門基礎科目」「専 門基幹科目」「専門展開科目」「演習・研究」で構成される専門教育科目を設置する。

「専門基礎科目」には、英語に関する全科目を必修とし、英語によるコミュニケーション能力向上の基礎固めになる科目を配置する。

3. 「専門基幹科目」には、異文化理解を深め、英語・日本(語)などに関するグローバルな知識と思考能力などを養う科目を配置する。

4. 「専門展開科目」には、現代社会の実態を学際的にとらえるために必要な知識とそれを表現する発信力を身につける科目を配置する。

5.「演習・研究」には、大学での学びに必要なスキルと自主的思考力を修得するための科目と、専門的な知識や研究方法及び社会に出て人々と協働し連携できるコミュニケーション能力を修得するための科目を配置する。

6. 高い英語運用能力と国際感覚を養うために、英語資格取得に関する選択科目と海外研修に関わる選択科目を配置する。

7. キャリア形成に関しては、キャリア教育の基礎を学ぶ科目、教職に関する科目、日本語教員養成に関する科目を配置する。

		選		I	開講時	F期・i	周授業	转間	数											\square
	科目		14	年次	24	年次	3	年次	4	年次	到達目標	D P	D P	DP	D P	DP	D P	D P	D P	DΡ
		択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	4 - 1	4 - 2	4 - 3	5 - 1	5 - 2
日本	日本語学概論	2		2							1.豊かで税い言語感覚を習得することができる。 2.自己のことは各学的に選挙することができる。 3.日本語学の基礎的知識を体得することができる。 4.文化理解への視野が広がり、国際人として活躍することができる。	0			0					
語教員	日本語教育方法論 I	2	2								 外国語として日本語を教える教師の資業について変明ができる。 メビーキングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 リスニングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 ライティングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 	0			0					
養 成 に	日本語教育方法論Ⅱ	2		2							 日本語教師の役割が理解できる。 東本、注法原明・発音指導の方法が理解できる。 教材と学習環境の入切さが理解できる。 教育者を受け出め、その多限性への対応の大切さが理解できる。 学習者との信頼関係づくりの大切さが理解できる。 教師としての自分の言動をより返るポイントが理解できる。 学習支援者としての心構えが理解できる。 	0			0					
関	日本語教育方法論演習 I	2			2						 複擬授業体験を通じた学びに基づき、教える際に気をつけるべきポイントを感知 できる。 教師としての自分の言動を意識化できる。 産学だけでなく自分やクラスメートの実践から学ぶことができる。 				0	0	0			
3	日本語教育方法論演習Ⅱ	2				2					 数材の分析ができる。 数条を作成し、実際に授業をすることができる。 技業を客観的かつ多角的に観察・分析することができる。 				Ø	0	0			
科目	日本語教育実習	4					~	\rightarrow			 実置先の学習者のニーズを満たす指導業が作成できる。 学習者にとって必要な「本活動教育できる」 日本語教育権関と学習者の多様性が理解でき、それらに適切な対応をとることができる。 中間と協力して実習先の指導教員や学生に満足してもらえる実習を行うことがで 							Ø	0	

観光文化学科

学位授与の方針 (DP)

教育課程編成・実施の方針 (CP)

1. 観光文化学科では、専門的な知識・理解と思考力を育成するために、教養教育科目を基盤とし、専門教育科目の「異文化に関する科目」、「話字に関する科 目」、「ツーリズムに関する科目」、「総議法性化に関する科目」、「ビジネスに関する科目」、「演習常売科目」の科目群で構成する。 2. 「異文化理解に関する科目」では、異文化や多様が全価値報差類特な活む作者信える。 3. 「語字に関する科目」では、実施および中国語でのコミュニクーション能力を向上させるため、基礎から応用とな回答時に該得できる科目で構成する。 4. 「ツーリズムに関する科目」では、ホンビジリティを基礎とし、リーリズムについて温暖から応用での専門的な知識の修得と課題への対応能力を美り科 目で構成する。 5. 「地域法社に関する科目」では、地域、国外の知らびネスになって、細い、現象で理想への対応力を含う科目を配置する。 5. 「読習・研究科目」では、ビジネスや地域法性化に関する演習をおおして、課題解決能力を含成する食う科目を配置する。 7. 「読習・研究科目」では、ビジネスや地域法性化に関する演習をとおして、課題解決能力を含成する。

						B	開講時	期・追	國授業	時間	故														
		科目	必修	選択	1	年次	24	年次	34	手次	4年	F次	到達目標	D P	D P	DP	DР	D P	DP	DP	DР	D P	D P	D P	備 考
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	1 - 3	1 - 4	2 - 1	2 - 2	3 - 1	4 - 1	4 - 2	5 - 1	5 - 2	
	観	光学入門	2		2								観光の概念・意義・構造を理解することができる。 観光学の対象と方法と理解することができる。 観光と実気化交流の関係を理解することができる。 観光化実界化で観光の学習・研究内容を開始することができる。			0	0				0	0		0	
	_												。。 観光の学習・研究内容と将来の仕事とのつながりがあることを 師伴することができる。 国家試験科目のうち「国内旅行実務」において、受験能力が身												
	۱) ا	内旅行実務		2	2								これく、 銀光立国を目指すわが国の観光資源などについての理解ができ 。 国家試験科目のうち法規系2科目において、受験能力が身に付	0			0							0	
	観	光関連法規		2	2								。 観光立国を目指すわが国の観光法体系のうち、旅行薬分野につ いての理解できる。	0			0							0	
	映	画で学ぶ世界遺産		2		2							主要な世界遺産を理解することができる。 2 世界遺産を持つ国の観光の現状を把握できる。 3 観光地としての世界遺産の価値を認識できる。							0		0			
	観	光産業論		2		2							なぜ観光が21世紀の基幹産業となりうるのかを理解できる。 2 観光産業と各個別産業(旅行業、交通業、宿泊業など)の特性 (知り、それぞれが旅行業と深く関わる仕組みを理解できる。	0			0	0	0		0	0			
	海:	外旅行実務		2			2						旅行会社が行っている海外旅行の実務について理解できる。 2 海外旅行に関わるさまざまな業界の仕事の概要が理解できる。 3 海外の主要な観光スポットが理解できる。				0							0	
	航:	空産業論		2				2					1 世界と日本の航空産業の現状と課題が理解できる。 5 今後の航空産業の展望が説明できる。	0		0	0	0	0		0	0			
観光に関す	本.	スピタリティ論	2					2					ホスピタリティとは何かについて考えることができる。 ・ホスピタリティという語を取り巻く社会について考えることが きる。 ・ホスピタリティを受け入れることができる社会について考える とができる。							0	0	0			
す る 料 目	観	光マーケティング論		2					2				観光マーケティングの既念、プロセスを知ることができる。 観光マーケティングと製造業マーケティングの違いを知ること にできる。 1、事例研究を通じてデスティネーション・マーケティングの重要 を学ぶことができる。				0	0	0	0					
	宿	泊産業論		2					2				ホテル、旅館、民宿並びに公常の宿泊施設など宿泊産業全体が 時7できる。 「宿泊産業の仕事を理解できる」 日本の宿泊産業の現現と課題が理解できる。 1 今後の宿泊産業の現現が説明できる。 マーケティングの基礎を算につけることができる。	0		0	0	0	0		0	0			
	旅	行商品企画論		2						2			新品価値、増売量となるためであった。このできる。 新品価値、増売量となることが きる。 の お品価値、増売量とな商品とな商品となることが まる。 が なる。 が なる。 の になる。 などを 、 の などを 、 などを 、 、 の などを 、 などを 、 、 の などを 、 などを 、 などを 、 、 の などを 、 などを 、 、 の などを 、 な な な な な な な な な な な な な な な な な な					0	o				0	0	
	観	光社会学		2						2			 個々の観光現象を調べて、一般的法則を導き出すことができる。 観光が与えた社会現象を調べ、その原因を探ることができる。 					0		0					
	ブ	ライダル論		2						2			ホテルが堤供する多鉛なサービスを知ることができる。 ・ 我が国のプライダルの基礎 噴を習得できる。 「なっかが堤快するプライダルサービスと、専門結婚式場などと 決戦において、プライダル学ー変濃層を知ることができる。		0				0					0	
	7)	ルチメディアツーリズム		2						2			観光資源コンテンツ作成のためのコンピューターソフトを活用で る。 2 設定した観光地の紹介や旅行ブランの作成ができる。 3 営業・販売用としての日やパンフレットが作成できる。 4 観光情報の検索や活用ができる。										0	0	
	イ	ンバウンド観光論		2							2		「観光立国推進基本計画」を理解することができる。 と世界のインパウンド市場のマーケティングデータを把握するこ ができる。 3 世界のインパウンド市場との観光文化交流は日本の観光立国と 因果関係を理解することができる。			0	0			0	0				
		マーケティング入門	2				2						 企業活動におけるマーケティングの役割を理解することができう。 マーケティングの基本概念を理解することができる。 実用性の高い知識と応用力を身につけることができる。 	Ø		0		0		0					
	マ ク	7 消費者行動論		2				2					マーケティングにおいて適切な標的市場を設定することができ 、 家庭内消費を巡る様々な役割、購入意思決定権の違いを理解す ことができる。 3 家庭内の癒を標的にマーケティング活動すればよいか判断でき らようになる。	0				0		0					
	- ディンクに	* イ ン 広告宣伝論 *		2					2				(当を理論的、実施的に習得したいと考える受講者に、広告の基礎 論を提供することを目的とする。受講者は、広告の基礎理論を理 り、広告主、メディア、広告会社、および一般社会の立場から広 評問問題に対処する能力を身に付けることができる。			0	0	0	0						
	関する	月 ├ ブランド戦略論 5		2						2			パランドの基礎について理解を深め、具体例をもとにブランド戦略 2視点で企業のマーケティング活動を考察することができる。	0						0					
マ ケ	利	4		2						2			デザインマネジメントの基本概念を開催することができる。 企業経営におけるデザインマネジメントの基本知識を習得する とができる。 金業マーケティングをデザインの視点から分析することができ 20	0				0	0	0				0	
ディング・		メディア政策論		2							2		メディアとコミュニケーションの基本知識を習得することがで な。 ・ 国内のメディアの現状と問題点を把握することができる。 ・ メディアからの情報を生活の中でとのように生かしていくか理 できる。					0	0	0					
経営・経済に		経営学入門		2		2							組織・マネジメント・イノベーションの概念や役割を理解する にかできる。 2 金家の目的・事業の定義と目標・経営資源の目標を理解するこ ができる。 3 生産性の目標・生産性の向上・責任と保障を理解することがで るできる。				0		0	0					

						開設	講時期	り・遅	目授業に	時間数															
	1	₿ <u> </u>	必修 i	題択	1年(欠	2年	次	3年	次	4年8	k	到達目標	D P	D P				D P				D P		備 考
12	経				期後	支期 甫	前期 征	炎期	前期	後期前	前期 後	朔	1 簿記一巡の手続を説明できる。 2 基本的な取引を仕訳できる。	1 - 1	1-2	1 - 3	1 - 4	2-1	2-2	3-1	4 - 1	4 - 2	5-1		
する科	営に関す	簿記入門		2		2							 3 基本的な板板準の記入さできる。 1 決算整理と精算表の作成ができる。 Riscultてくる法律用語・基礎的な法概念について、ひととおり理 	0					0					0	
E	っる 科目	ビジネスと法		▲ 2			2				_	<i>\$</i>	平し説明できる。 1 企業の資金調達手段、外国為替の差益・差損、損益分岐点、財	0					0					0	
		ビジネスファイナンス		2						2		-	6・金融に係るリスクについて説明できる。 2 企業の決算書を分析し説明できる。 3 企業の事業計画の特組みを作成できる。 1 質易取引、対外直接投資等の国際ビジネスの基本的な仕組みお	0			0		0					0	
		国際ビジネス論		2						2		1	び実務取りを理解できる。 2 国際ビジネスの動向、それに関わるリスク、金融、情報、法 ま、税金などの諸問題を理解できる。	0				0		0					
	経済	日本経済入門		2 2	2							Ē	日本経済の現状と課題を理解し、説明できる。 2 日本経済の基本的諸事項について、その理由・要因を理解し説 引できる。 - 国際関係論の基本的な知識を身につけることができる。	0			0	0		0					
	に関する	国際関係入門		2		2						1. 64.64	 国際政治に関する報道を理解することができる。 世界情勢を眺め、論じる際に依拠する「自分なりの視座」を獲得 することができる。 					0	0	0					
	科目	国際経済入門		2			2					- 11	1 国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策をめぐる問題、 1国為幹相場をめぐる諸問題、世界の経済危機をめぐる問題、途上 30 容質問題の現状と国際協力のあり方を理解できる。 2 国際経済に関する報道を理解することができる。	O				0		0					
	74	ールドワーク入門		2		2						- 1	 フィールドワークの定義、およびその意義を知ることができ フィールドワークの手法を知ることができる。 実際のフィールドワークを通じて、フィールドワークの重要性 知ることができる。 			0		0	0	0	0	0			
	観光	フィールドワーク		2			2						1 四の重要性と有効性を学ぶことができる。 2 四の手法を体得できる。 3 四を実践する中で、独創性やグループ作業の方法論を身につけ ことができる。 1 報告書を作り発表することで、報告書作成力や発表力を身につ うることができる。					0	0	0	0				
地域活	イベ	ント・テーマパーク論		2				2					○ムことがてきる。 1 自らイベント、フェスティバルの企画、運営の基礎知識を習得 トることができる。 2 テーマパーク経営のエッセンスを国内外の事例によって学び、 2 デースパーク経営のエッセンスを国内外の事例によって学び、 2 デースパークを選びの主要があった。					0	0	0	0	0		0	
性化に	地域	活性化研究		2				2					 地域の実態を知ることにより、地域が抱える課題の存在に気づ こととができる。 準域活性化の意義を知ることができる。 事例研究を通じて各地の活性化の手法を学ぶことができる。 					0	0	0		0			
関する科目	タウ	ンマネジメント論	$\left \right $	2			+		2	+			1 地域コミュニティ(タウン)の定義とそれを経営(マネジメン、)することの意義を理解できる。 2 専例研究を基に、身近なコミュニティに焦点を当て、それが特濃層して前性を探ることができる。					0	0	0	0	0		0	
	地域	観光資源開発論		2						2			3 身近なコミュニティの経営の手法を修得できる。 地域観光賞原の定義と開発の意象を理解できる。 事例研究を起こ、身近な地域に焦点を当て、そつ増もれた観光 復を発見することができる。 地域観光賞原を発見したら、それを得き、発信する手法を修得					0	0	0	0	0		0	
	5.2	ーツーリズム論		2						2		2	できる。 ↓ ニューツーリズムの定義、およびそれが持つ可能性を知ること ↓ ■例研究を通じて、それぞれが持つ社会の活性化の可能性を知	0			0	0	0	0					
		1										-	5ことができる。 3 ニューツーリズムを通じた社会活性化の手法を学ぶことができ 5。 基礎的な英文の意味を理解できる。												
		基礎英語	1	2	-							-	 多様な英文の構造を理解できる。 ほぼ無理なく読める多読教材を毎週1冊読破できる。 基本的な英文の意味を理解できる。 	0	0	0									
		応用英語	1			2						-		0	0	0									
		入門英会話	1	2	2								52 自分自身のことを簡単な英語表現を使い、口頭で伝えることができる。 31 他人がゆっくり話于英語の概要が理解できる。 11 短時間の実会話ができる。 21 自分自身のことを自信を持って話すことができる。		0	0					0				
		英会話	1			2						+	 3 他人が話す英語の概要が理解できる。 1 ゆっくりと英文を読んで内容が理解できる。 		0	0									
		初級英文講読		1			2				_	-	 基礎的なレベルの英文の多説ができる。 基礎的なレベルの英文の速読ができる。 英米小説の多説ができる。 普通に話す程度の速さでの速読ができる。 		0	0									
		中級英文講読		1				2				-	 読んだ英文について、意見を述べることができる。 Chieruの2, 500マイルを達成できる。 		0	0									
	英	マルチメディア・イング リッシュ基礎	1				2					1	 TOEICO450点レベルのリスニングができる。 基本的な母音と子音の聞き分けができる。。 Chieruの2,500マイルを逮滅できる。 TOEICO500点レベルのリスニングができる。 	0	0	0						0	0		
	語に 関す	マルチメディア・イング リッシュ応用	1					2				-	 基本的な英文の正しい読みとその聞き取りができる。 英語でプレゼンテーションができる。 	0	0	0							0		
	っる能力	中級英会話		1			2					+	3 長時間の英会話ができる。		0	0									
	育成科	上級英会話		1				2				+	3 英語でグループディスカッションができる。 1 ビジネス頻出の単語・表現を理解し、それらを口頭と文章で再		0	0									
	E	ビジネス英語入門		2				2					Eできる。 タ 英文ビジネスレター、メールの形式を理解し、与えられた情報 さらとに自分で作成できる。 9 ビジネスに特化した内容のリスニングができる。 4 本が国(英・米・豪・加)のスピーカーの発音の違いが分か		0	0							0		
		入門TOEIC演習		2					2			- 1	5。 2 ディクテーションができるようになる。 3 速説ができるようになる。 1 文法事項の基礎がマスターできる。		O	0									
外国語		応用TOEIC演習		2						2			1 ナチュラルスピードの英語のリスニングができる。 2 長文を読んで全体が理解できる。 3 会話文の内容に関する問いに即答できる。 4 文法事項の全般がマスターできる。		0	0									
に関する		入門英語通訳ガイド演習		2					2				L 基本的な日本事象が理解できている。		0	0	0				0				
る能力育		応用英語通訳ガイド演習		2	T	1				2			1 日本事象全般が理解できている。 2 基本的な語彙を使い、定型的な表現に加えて、様々な場面で日 は事象を紹介できる。		0	0	0				0				
成科目		ツーリズム英語		2					2				 デキストの旅行英語 を読解して内容が理解できる。 旅行に関する英会話の内容が理解できる。 旅行業界の専門用語の意味を理解できる。 		0			O						0	
		エアライン英語		2						2		1	 エアラインで使用頻度の高い英語、専門用語について基本を理 等することができる。 基本的な英文履歴を作成することができる。 英語で簡単な質疑応答ができる。 		0			0						0	
		入門中国語会話		□1 2	2								 発音及び基礎文法をマスターする。 日常会話ができる。 簡単な手紙を書ける。 		0	0					0	0			
		初級中国語会話		□1	T	2				T			5.		0	0					0	0			
		実用中国語会話	$\left \right $	□1 2	2		+			+			 会話力、朝説力を習得できる。 中国文化及び中国人に対する理解を深めることができる。 実用中国語会話を習得できる。 中国の会話の削除力を習得できる。 中国協議主文法の仕組みと知識を習得できる。 		0	0									
	中国	コミュニケーション中国 語		D 1		2							 中国人と簡単なコミュニケーション語学能力を習得できる。 中国語を読む能力を高めることができる。 中国語の聴き取りのコツを身に付けることができる。 	0	0	0							0		

							隈	講時	期・i	副授業	時間萎	ć														
		Ŧ	4 目	必修	選択	1年	次	2 4	手次	3 4	巨次	4年	F次	到達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	備考
		245				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	1 - 3	1 - 4	2 - 1	2 - 2	3 - 1	4 - 1	4 - 2	5-1	5 - 2	
		mに関する能	基礎中国語		□1	_		2	-				-	1 中国の社会と文化を中国語でスピーチすることができる。 2 中国時のや今高茂的な「散む」、「畜く」、「聞く」、「話 1 を習得することができる。 3 中国語の基本文法をしっかり把握できる。 2 各選の新出単語を正確に覚える。	0	0	0									
		力育成	中級中国語		1			2						3 各課の会話練習、ジェスチャーゲーム、グループタスク楽し。 できる。 4 中国語の総合コミュニケーション力を身につける。	0	0	0					0		0		
		科目	上級中国語		□1				2					 中国語文法の基本単元を習得できる。 2 更にややっ度な文法事項を習得できる。 3 具体的に目常生活のいろいろな場合のコンテキストにおいて計 用できるような中国語の会話ができる。 4 中国語で作文の表現能力を習得できる。 	f ()	0	0					0		0		
			応用中国語		□1					2				1 社会生活に必要な中国語を基本的に習得することができる。 2 中国語全般に渡る高度な運用能力を穿に付けることができる。 3 中国語の一分な説解力、表現力、翻訳力を身に付けることが きる。 4 毎年実施される中国語検定試験の基礎問題を解答できる。	e 0	O	0							0		
			ツーリズム中国語		2						2			1 ソーリズム中国語会話を習得することができる。 2 中国的ホスピタリティを理解することができる。 3 中国人観光客のおもてなしに必須の知識を勉強することができる。	5	0					0	0			0	
専			中国語通訳ガイド演習		2							2		 通訳ガイドに必要な語学能力を高めることができる。 日中両国の観光文化の相違を理解することができる。 中国語でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。 		0					0			0	0	
門		欧米:	文化交流研修A		▲ 2	2								 欧米家の国び欧米系の文化圏の文化や生活について理解するこ ができる。 自国の文化と外国の文化を相対的に観察できる。 国際化についての理解を探める。 国際化についての理解を探める。 実践的な英語力を身につける。 	0		0				0					
教		アジ	ア文化交流研修A		▲ 2	2								 アジアの国・地域の文化や生活について理解することができる。 自の文化と外国の文化を相対的に職業できる。 国際化について理解を充めることができる。 外国師の運用能力を身につけることができる。 異次化交流のノーハウを身につけることができる。 欧米の国の欧米系の文化圏の文化や生活について理解すること 	0		0				Ø					
育		欧米:	文化交流研修B		▲ 2	2								(1) なってものいへおいっくに思っくにして主席について見解することができる。 2) 目回ってはと外国の文化を相対的に観察できる。 3) 国際化はついての運解を得める。 4) 生活の中で、実際に交通の運用能力を活用できる。 1) アジアの国・地域の文化や生活について関係することができ。	0		0				0					
科目	異文化交	アジ	ア文化交流研修B		▲ 2	2								る。 2 自国の文化と外国の文化を相対的に観察できる。 3 国際化についての関係を深めることができる。 4 外国語の運用能力を奪いつける。 5 異文化交流を通して、多様性への対応ができる。	0		0				©					
	へ流に関す	比較	文化論		2	2								 現代ドイツの生活と観光地について知識や理解を深めることだできる。 基語的なドイツ語に触れ、ドイツ語検定5級の合格を目指すことができる。 日線でなぜさまざまな違いがあるのか考えることができる。 							0		0			
	る 料 目	欧米	観光文化地理I		2			2						西欧の観光地のあり方として、城内や各国内の全体的な特徴と各書 光地の取り組みについて、観光学の基礎的な知識を活かしながら5 解することができる。	R O		0								0	
		欧米	観光文化地理Ⅱ		2				2					東歌の観光地のあり方として、城内や各国内の全体的な特徴と各 光地の取り組みについて、観光学の基礎的な知識を活かしながら≸ 解することができる。	₽ ₽ ©		0								0	
		アジ	ア観光文化地理 I		2			2						1 東アジア諸国における国際観光の現状を把握することができ 5. 2 東アジア諸国と日本との観光交流の歴史と現状を把握すること ができる。 3 東アジアが国の地球皆や国土人作を把握することができる。 4 東アジリスの国における国際観光の現状を把握することができ。			0								0	
		アジ	ア観光文化地理Ⅱ		2				2					くつ。 2 東アジア以外の国と日本との観光交流の歴史と現状を把握する ことができる 3 東アジア以外の国の地域性や風土人情を把握することができ 5。 4 東アジア以外の国の観米資源を認識することができえ			O								0	
		映画	で学ぶ欧米文化		2						2			 現代英米社会が抱える問題点を把握できる。 映画の中にどのような英米文化が現れているのかが分析できる。 英米文化の特徴を認識できる。 			0		0	0						
		キャ	リアデザイン論 I	2					2					 キャリアデザインとは何かを理解することができる。 キャリアデザインのための自己理解を身につけることができる。 人生をどのように歩んでいくかの考え方を身につけることが。 	0				0	0	0	0		0		
	キャリア教育	イン	ダーンシップ		2					2				さる。 動務経験を通して、企業等の社会的役割、社会の成り立ち、 ∮ (ことの意味、責任、チームワークの重要性などを理解できる。 2 自分の職業業満を離成したり高めたりすることができる。 3 特表の進路につながりうる実習先の企業等の活動内容、産業4 動向を理解できる。	b D					Ō	0	0	0	0		
	科目	÷+	リアデザイン論Ⅱ		2						2			1 キャリアデザインについて、理論と実践の視点から理解ができる。 5 ご知解と仕事理解の基本的な考え方が理解できる。 3 仕事のルールや必要となる能力は何かを理解できる。 4 ワークライフバランス、生活学習などの取り組みを理解する。 とができる。	-				0	0	0	0	0	0		
		初級	日本語		1	2								1 初歩的な日本語の回技能(読む、書く、話す、聞す、聞く)を身に / おことができる。 2 初歩的な日本語(外国語)の学習を通して、物事を若干異な- た角質から見つめ、また、考えを少し深めることができる。 3 日本語を用いて少しおもしろいことに挑戦できる。	>		0		0	0						
	留学生対	中級	日本語		■1	2								1 やや高度な日本語の円技能(鉄む、書く、話す、聞く)を身(つけることができる。 2 やや高度なな日本語(外国語)の学習を通して、物事を異な- た肉煮らら見つめ、また、考えを深めることができる。 3 日本語を用いておもしろいことに挑戦できる。	>		0		0	0						
	7.応科目	上級	日本語		■1		2							 2 商産な日本語の回技能(説む、書く、話す、聞く)を身につけるとかできる。 2 商産な日本語(外国語)の学習を通して、多角的に物事を見つい。 2 商産な日本語(外国語)の学習を通して、多角的に物事を見つい。 3 日本語を用いて意義のあるおもしろいことに挑戦できる。 	>		0		0	0						
		応用	日本語		1		2							1 螺蛳体日本語の四技能(読む、書く、話す、聞く)を身につ るとができる 2 螺蛳体日本語(外国語)の学習を通して、一層多角的に物事(2.のめ、また、考えを充分に深化させることができる。 3 日本語を用いて意義深いおもしろいことに挑戦できる。			0		0	0						
		ツー	リズム演習	1			2							1 論理的思考の基礎要得ができる 2 ツーリズムに関する問題点の抽出ができる 3 ツーリズムに関する的確な情報収集ができる 4 効果的なアレゼンテージョンの基本習得ができる	0		0	0		0	0	0	0		0	
		ビジ	ネス演習	1				2						1 ビジネスや社会で多用される基礎的知識・スキルを修得している。 2 ビジネスや社会で必要な論理的に考え説明する基本的な能力を 修得している。					0		0	0	0	0		
	演習・研	地域	活性化演習	1					2					 地域の実態を知ることにより、地域が抱える課題の存在に気 ことができる。 地域活性化の意義を知ることができる。 専柄売を通じて各地の活性化の手赴を学ぶことができる。 専友に地域を選び、その活性化に取り組むことができる。 自分の所属するゼミのテーマの先行研究の概要を現解してい 	3			0	0	0		0	0		0	
	究科目	專門i	演習 I	1						2				る。 2 質的研究と量的研究の基礎的な分析ができる。 3 研究テーマにふさわしい調査方法の選択ができる。	0			0	0	0	0	0	0	0	0	
		專門	演習 II	1							2			1 電筒データと量的データの分析と活用ができる。 2 所属するゼミのテーマと関係の深い先行研究の概要が理解できる。 3 論文物策にあたり適切な調査方法を遵択してそれを正しく活り ができる。	0			0	0	0	0			0	0	
		卒業	研究	4								4	4	 問題意識や研究デーマをできるだけ明確にしながら、その内羽 についての発表・討論をすることができる。 本案論文制作について、研究計画を立案できる。 論理的な考え方ができ、説得的な論考ができる。 	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
									_			-	-		-											

助産別科

学位授与の方針(DP)

DP1 [知識・理解]
 DP1 [知識・理解]
 DP1 [知識・理解]
 DP1 (PD+Fクルを期の放性の健能実現に関する知識を修得している。
 1 - 3) 国際化社会における母子保健向上に関する知識を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1)妊娠、出産・産権及び新生児各時期において正常経過の判断ができる。 2-2)妊娠・出産・産権及び新生児各時期において正常からの逸脱の判断ができる。

DP3【関心・意欲】 3-1)性と生殖に関する女性を取り巻く課題に積極的に取り組むことができる。

DP4 【態度】 4-1) 母子保健チームの一員として責任を持つ行動ができる。

DP5【技能・表現】 5-1) 基礎的な助産ケアを安全・安楽に実施できる。

教育課程編成・実施の方針(CP)

助産別科のカリキュラムは、助産師としての能力を育成するための基礎となる「助産の理論領域」と助産実践能力を培う「助産の実践領域」で編成する。

2.助産の理論領域は助産実践の基になる基礎的知識を学ぶ「基礎科目」で構成し、助産の実践領域は助産実践の中核となる「専門科目」と専門科目の幅広い理解につたげる「支税科目」及び助産実践力を育成する「実習」で構成する。

3. 基礎科目では、リブロダクティブ・ヘルスの考え方を核にして、性と生殖に関する女性の健康に関する基本的な考え方と助産師の役割を中心とした周産 期の助産ケアに必要な基礎的知識を修得すると共に、社会の動向・ニーズの変化に関心をもち、性と生殖に関する女性の健康に関する異趣に積極的に取り組 む態度を資ムす。

4. 専門科目では、安全・安楽なマタニアィサイクル支援、健やかな乳幼児の成長発達支援、健やかな女性のライフサイクル支援に関する知識を修得すると 共に、経転・出高・産環及び新生児各専期において正常経過の判断・正常逸既に関する判断ができ、助産防としての責任ある態度・助産技術を提供する能力 を育成する。

支援科目では、安全・安楽なマタニティサイクル支援、健やかな乳幼児の成長発達支援に関する幅広い知識を修得する。

6. 実習科目では、学内で学んだ知識・判断力・態度・技能の法合的な学びの集大成として、母子保健チームの一員として責任を持つ行動ができると共に、対象に応じた基礎的な助産実践を安全・安楽に提供できる能力を育成する。

		授業科目の名称	単位	必	選	開講選授業		到達目標	DP	DP	D P	DP	D P	DP	DP	DP
			数	修	択	前期	後期		1 - 1	1 - 2	1 - 3	2 - 1	2 - 2	3 - 1	4 - 1	5 - 1
		基礎助産学1	1	1		2		1.助産の基本概念と助産に関連する理論の概要について提供できる。 2.目本における加藤師の資格と残乱、法的位置いれについて資料できる。 3.リプロダクテイグ・ヘルスグイダの基本となる考え方について説明できる。 4.かが国の男子保険の動向に運動を使用させれたで説明できる。 6.助産適能の特徴のよど展開について説明できる。 6.助産適能の特徴のよど展開について説明できる。 7.助産節的教育や物産の方向性について満えることができる。	0	0	0			0		
		基礎助産学Ⅱ	1	1		2		 男女のリプロダクションに関する形態・機能、性と生殖に関連する疾患、その 対応について説明できる。 リプロダクションに必要な医療機器の操作や検査およびデータの判読ができる。 	0	0	-	0	0			
助産の理	基礎科	母子の心理・社会学	1	1		2		1. 思泰期,非年期の本体的変化および心理的装置を説明さる。 2. 思泰期,非年期の本体的変化などの構成 2. 思泰期,非年期に特徴の注意でも高。 3. 成人期に増加りた間を説明できる。 4. 成人期に増加りた間を活動し、対応法定規則できる。 5. 成人期に増加した間を消費し、対応法定規則できる。 6. 中年期,そ年期に特有の問題を増算し、対応法を説明できる。 6. 中年期,そ年期に特有の問題を増算し、対応法を説明できる。 8. 持千間係・父子問惑を能くための複発剤について説明できる。	0	Ø		0	0	0		
論領城	TT 目	助産学研究演習	1	1		2	4	1. 助産学額薬における研究的視野を養うために必要な研究の基本的方法を説明できる。 さ、 2. 文献のクリティークができる。 3. 自己の課程受け特も妊娠薄弱のケアについて研究的に取り組み、文献をもとに 考察を保め発表できる。	0			0	0	0		
		母子栄養学	1	1		2		 マタニアオサイクルを第における健康教育に必要な母子の栄養と食事について 説明することができる。 妊娠期と乳児期の病態失業について説明することができる。 幼児期・恩奉期・更年期における健康教育に必要な栄養管理について説明できる。 	0	0		0	0			
		キリスト教と生命倫理	1	1		2	2	 キリスト物的人間最と批業最を理解に説明できる。 キリスト物的人間最と批業最後の第二個通び打た生命倫理に対する考え方を理解し、説明できる。 連合相關におけるカウンセリングの対応を説明できる。 通信相関におけるオンともの生死や障害の受害に対応する親の支援について説明できる。 商運的見地からみた助産師の役割の重要性を説明できる。 	0					Ø		
		助産診断・ケア学Ⅰ(妊娠期)	1	1		4		1. 助産師に必要な妊婦の健康許査と援助の目的・必要性・意義を説明することができる。 できる。 2. お妊娠期のフィジカルアセスメントを実施するための知識・技術・態度を習得す ることができる。 3. 妊娠期のフィジカルアセスメントに基づき、妊婦に必要なケアや健康教育を実施するための知識・技術・態度ができる。	0			0			0	0
助		助産診断・ケア学Ⅱ (分娩期)	1	1		4		 産婦の形態機能に基づいた産婦の身体的・心理的特性を説明することができる。 分娩期のフィジカルアセスメントを実施するための知識・技術、態度を習得することができる。 分娩期のフィジカルアセスメントに基づき、分娩進行状態に応じた産場に必要なケアおよび健康教育を実践するための知識・技術、態度を習得することができる。 	0			0			0	0
産の実践	専門科目	助産診断・ケア学Ⅲ(産褥期)	1	1		4		 助産師に必要な瞬端の健康診査と提加の目的・必要性・意義を説明することが できる。 産構列のフィジカルアセスメントを実施するための知識・技術・態度を習得す ることができる。 産構列のフィジカルアセスメントに基づき、構場に必要なケアや健康教育を実 施するための知識、技術・暖点ができる。 	0			Ø			0	0
領域		助産診断・ケア学IV(新生児・乳幼児)	1	1		2		 第生記,見幼児の形態・機能的特性と適応適能について説明できる。 新生記,名見のフィジカルアセスメンドに必要な診療法とその実際を説明できる。 新生記,名見に起こる異常と疾患およびその幼応法を説明できる。 出生温後の新生児のウアおよび最佳法を実態できる。 ハイリスの新生児の常能について説明できる。 XILにおける見や実験への支援について説明できる。 ス組分に気法・要連適場について説明できる。 	0			0			0	0
		助産診断・ケア学 V (周座期のハイリスク)	1	1		2		 「陳夏朔(妊娠・分娩・産褥各期)の異常および疾患、その対応について説明できる。 フィジカルアセスメントに基づく繁急時の対応法や、他職種との連携を説明できる。 「陳夏朔に活用する医療機器の操作や検査・データの判談ができる。 「陳夏朔(妊娠・分娩・産褥各期)の異常および疾患をもつ対象のケアを説明できる。 	0				Ø			0

助産別科

学位授与の方針(DP)

DP1 [知識・理解]
 DP1 [知識・理解]
 DP1 [知識・理解]
 DP1 (PD+Fクルを期の放性の健能実現に関する知識を修得している。
 1 - 3) 国際化社会における母子保健向上に関する知識を修得している。

DP2【思考・判断】 2-1)妊娠、出産・産権及び新生児各時期において正常経過の判断ができる。 2-2)妊娠・出産・産権及び新生児各時期において正常からの逸脱の判断ができる。

DP3【関心・意欲】 3-1)性と生殖に関する女性を取り巻く課題に積極的に取り組むことができる。

DP4 【態度】 4-1) 母子保健チームの一員として責任を持つ行動ができる。

DP5【技能・表現】 5-1) 基礎的な助産ケアを安全・安楽に実施できる。

教育課程編成・実施の方針(CP)

助産別科のカリキュラムは、助産師としての能力を育成するための基礎となる「助産の理論領域」と助産実践能力を培う「助産の実践領域」で編成する。

2.助産の理論領域は助産実践の基になる基礎的知識を学ぶ「基礎科目」で構成し、助産の実践領域は助産実践の中核となる「専門科目」と専門科目の幅広い理解につなげる「支援科目」及び助産実践力を育成する「実習」で構成する。

3. 基礎科目では、リブロダクティブ・ヘルスの考え方を核にして、性と生殖に関する女性の健康に関する基本的な考え方と助産師の役割を中心とした周産 期の助産ケアに必要な基礎的知識を修得すると共に、社会の動向・ニーズの変化に関心をもち、性と生殖に関する女性の健康に関する異趣に積極的に取り組 む態度を資ムす。

4. 専門科目では、安全・安楽なマタニティサイクル支援、健やかな乳効児の成長発達支援、健やかな女性のライフサイクル支援に関する知識を修得すると 共に、妊娠・出毒・産環及び新生児各専期において正常経過の判断・正常逸風に関する判断ができ、助産師としての責任ある態度・助産技術を提供する能力 を育成する。

支援科目では、安全・安楽なマタニティサイクル支援、健やかな乳幼児の成長発達支援に関する幅広い知識を修得する。

6. 実習科目では、学内で学んだ知識・判断力・態度・技能の法合的な学びの集大成として、母子保健チームの一員として責任を持つ行動ができると共に、対象に応じた基礎的な助産実践を安全・安楽に提供できる能力を育成する。

		授業科目の名称	単位	必	選	開講 週授業	時期 時間数	到達目標	D P	D P	D P	DP	D P	DP	D P	DP
		KATH PORT	数	修	択	前期	後期		1 - 1	1 - 2	1 - 3	2 - 1	2 - 2	3 - 1	4 - 1	5 - 1
		助産診断・ケア学VI(健康教育演習)	2	2		4	4	 マクニアイチクルを用した様、分換、産貨用)における助産診断に基づき、 対象に必要な機能材を実施できる。 三、回見単身の経営発し、対象に応じた機能教育の企画・運営ができる。 2. 回見単身の経営発し、対象に応じた機能教育の企画・運営ができる。 4. 女性のワイフサイクルを新に通知な支払調整の力法を説明できる。 		Ø		0	0	0	0	0
		助産診断・ケア学種(助産過程演習)	2	2		2	2	 1. 防産過程の基本的な考え方、助産通信のプロセスを使用できる。 2. 採紙・分換・産幣・新生児の専門を通して教会でセスメントし、助産診断・ ケア計画は実の助産適整展開ができる。 3. 受け持ち時のの原産過程展についてまとめることができる。 4. 受け持ち事例の助産過程について封鎖し、評価することができる。 	0			Ø	0	0		
	専門科目	女性の健康支援論	1	1		2		 住護級産とヘルスプロモーションについて説明できる。 人性各条例使期間とクアについて説明できる。 人性な各例使期間とクアについて説明できる。 人性なの変化に応じた実験計画の動向と実践計測指導の問題点及び対応について 見切できる。 もの変化に応じたな実現を要する健康問題を理解し、基本的な実現について説明 する。 人性教育のの変遷と対象に応じた仕様別の内容について説明できる。 他教育の構成するセックス・ジェンダー・セクシェブリライについて説明できる。 体装飾方のマングルルでなメントの必要能でいいて説明できる。 	0	0	0			0		
		助産管理学	2	2		2	4	7. 化体験なのフィングルのアセスマンとれの実際はついいご範囲できる。 1. 助産管理の実施機会を管理しておくいいご範囲できる。 2. 国際法理から助産業務のに対範囲と法的現在について説明できる。 3. 国際法理がためる勉強業務定要があたは全観の生たくのの取り組みについて 8. 国際務理会の大部分、登録からたいので、登録をついた、 6. 助産業務におけるりメスクマネージメントについて説明できる。 6. 助産業務におけるリメスクマネージメントについて説明できる。 7. 実装飾らぬ手にわけてあり、 5. 実装飾らな手における助産業者について説明できる。	Ø					0		
		地域母子保健	1	1		4		 地域母子保健をめぐる現状と課題を説明できる。 地域母子保健の仕組みと助産師の来たす役割を説明できる。 国際化時代の地域母子保健のあり方を説明できる。 	0	ø	0			0	0	
		総合看護学	1		1	2		 看護理論の変遷や考え方について説明できる。 看護の概念を明確にし、その機能や役割・倫理規定について説明できる。 自らの看護実践を科学的に評価するとともに、看護過程を展開することができる。 	0					0		
助産の	支援科	母性の運動科学	1	1		2		 生理機能を踏まえ、運動が母体と胎児に及ぼす影響について説明できる。 周密期の女性に適した運動の他類や具体的な実施方法について説明できる。 運動の安全管理基準について説明できる。 	0							
の実践領域	TT 目	子育て支援論	1		1	2		 2. 親氏病して提になり、ための違い、成長適応を説明することができる。 2. 親方,宿尻が使加上させるための複数官の実現しいて説明することができる。 3. 母子のコミュニケーションを通して母子関係を育む助産師の役割について説明 するとおできる。 4. 花九州市子育て支援の実践を学ぶ。 	0					0	0	
		助産学基礎実習	4	4		実習		1. 封編・分換・資料・香港「新生児期の対象の身体・心理・社会的変化を説明できる。 2. 封編・分換・産料・新生児期の対象に制産進発展、開まに支払・分換・産料・分換・産剤・新生児期の対象に制度進程展開また「近本約な加度技術が 実施できる。 4. 封編・分検・産綱・新生児期の対象に必要な保健指導が指導を非に実施でき 5. と緩・分検・産綱・新生児期の対象になりて異常の発生子期長び発生時の判断 しと感を均慮を提明できる。 6. 妊娠・分検・産綱・新生児期の対象の診断に必要な検査・を履を説明できる。				0	0	0	0	Ø
		助産学実習 I (正常)	5	5			実習	1. 封編・分換・高綱・新生児期の対象の身体・心理・社会的変化を説明できる。 2. 封編・分換・高綱・新生児期の対象に動産社務および助産通程展開の展開が実 施できる。 4. 封編・分娩・高綱・新生児期の対象に動産社務および助産通程展開の展開が実 施できる。 5. 封編・分娩・高綱・新生児期の対象の動脈に必要な検査および方法について説 号し、封編・分換・高綱・新生児期の対象の動脈に必要な検査および方法について説 号し、毛編・分か、高綱・新生児期の対象の動脈に必要な検査が非成素とれて実施できる。 7. 異常の発生予測及び発生時の判断と必要な処置が指導者とれに実施できる。				0	0	0	0	O
	実習	助産学実習Ⅱ (正常逸脱)	3	3			実習	1. 国家経過をたどる毛紙・分娩・産卵・新生児期の対象の身体・心理・社会的変 化を期下さる。 2. 奥索経過をたどる毛紙・分娩・産卵・新生児期の対象に助魔技術の習得および 加速温健展開化増帯をとならに変できる。 3. 奥容経過をたどる毛紙・分娩・産卵・新生児期の保健推導が指導者とともに実 まできる。 4. ため、が指導者ととも「実施できる。 5. NICTを提供の原則が提明できる。 5. NICTを提供の原則が提明できる。 6. NICLE317る具常者生児の基本的実験をとケアが指導者とともに実施できる。 6. NICLE317る具常者生児の基本的実験をとケアが指導者とともに実施できる。 8. NICLE317る具常者生児の基本的実験をとケアが指導者とともに実施できる。 8. NICLE317る具常者生児の情報および家族への支援と虚綱経過をふまえた保健 損撃が説明できる。				0	0	0	0	Ø
		助産管理実習	1	1			実習	1. 病院、診療所における助産業務管理・運転について原用できる。 2. 肉原店の回転業務管理・運転へいて説用できる。 3. 助産業務に必要な治合とその運用について説明できる。 4. 実容おに反常事態発生物の動産増低における営むなの実際を説明できる。 5. 地域の通貨期管理・ステムと連携方法を説明できる。 6. 地域における尚子友提活動の実際を説明できる。				0	0	0	0	Ø

2018年度 短大一般教育カリキュラムマップ

		出/	立数			短期大学部の学	立授与の方針(DP)		
		甲1	<u>U 90</u>	DP1【知言	哉・ 理解】	DP2【思考·判断】	DP3【関心·意欲】	DP4【態度】	DP5【技術】
		必修	選択	1-1)	1-2)	2-1)	3-1)	4-1)	5-1)
キリスト教教育	キリスト教学 I	2		O					
	キリスト教学Ⅱ	2		O					
初年次教育	初年次セミナー	1		O					
	運動と健康	1		O					0
	スポーツ実技		1	0					O
女性と健康	女性とマナー		*1	O				0	
	女性とマナー 女性史 共生社会とジェンダー		*1	O					
	共生社会とジェンダー		*1	O					
	女性と装いの文化		*1	O				0	
	心理学 文学		2	O					
	文学		2	O					
基礎教養	日本国憲法 比較文化と国際理解		2	O					
圣妮扒良	比較文化と国際理解		2	O				0	
	経済学入門		2	O					
	生活の中の環境学		2	O					
	メディアリテラシー		2	O					0
	情報処理入門 英会話入門 こどもとふれあう英会話 I		2	O					0
	英会話入門		1	O					0
アカデミックスキル	こどもとふれあう英会話 I		1	O	0				0
	こどもとふれあう英会話Ⅱ		1	O	0				0
	ハングル入門 日本語表現法		1	O					0
	日本語表現法		1	O					0
地域創生	北九州の過去・現在・未来		1	O					
	北九州の技と文化		1	O					
キャリア形成支援	キャリア開発 実践キャリアプランニング		1	O					
	実践キャリアプランニング		1	O					

※ *は1単位以上必修選択

保育科

学位授与の方針(DP)

保育科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に短期大学士(保育学)の学位を授与します。

DP1【知識·理解】 Dr1 (Д)減・(単序) 1 - 1) キリスト教精神を基盤に、教養と知識を身につけている。

 (保育者に必要な専門分野の学問知識を修得している。)

DP2【思考・判断】 2-1)個々の子どもを深くとらえ、保育としての適切な対応を考えることができる。

DP3【関心・意欲】 3-1) 子どものあそびや子ども文化などに興味をもつ。 3-2) 子どもや保護者を含めた現代的課題に関心を持ち、保育者としての社会的な役割を意識する。

DP4 【態度】 4-1) 保育者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。 4-2) 自らの保育実践を振り返り、さらに質の高い保育を探求する力を有している。

DP5【技能・表現】 5-1)コミュニケーション能力やマナーを身につけ、他者と協働することができる。 5-2)保育内容をふまえた基本的な表現技術を身につけている。 5-3 子どもや保護者への適切なあそびや業護技術などを実施することができる。

教育課程編成・実施の方針(CP)

保育科は、以下のような教育課程を編成し実施します。

1. 保育科の教育課程は、保育の専門家を育成することを目的とし、短期大学士として必要な教養を身につける一般教育と保育者に必要な知識・技術を養うための専門教育で構成する。

2. 一般教育は、「キリスト教教育」、「初年次教育」、「女性と健康」、「基礎教養科目」、「アカデミックスキル」、「地域創生」、「キャリア形成支援」の科目群で構成する。「キリスト教教育」では、建学の精神の基本であるキリスト教を学び、学院の歴史および建学の精神である「感恩金化」を理解させることができる素養を身につける。「初年次教育」では、大学教育への移行が円滑に図られるための教育ブログラムを実施する。「女性と健康」では、女子大学として女性と健康に焦点をあて、科目を構成する。「基礎教養」では、専門科目の導入である学問領域に触れ、幅広い教養を身につける。「アカデミックスキル」では、外国語の学習により異文化理解とコミュニケーションスキルの基盤を養い、1 T活用能力を身につける。「ア地気が更っては、地域社会が求める自立した女性を目指すためのキャリア形成の基本を学び、学科のキャリア形成発展科目との連動により、実践的態度及び お飯能力の目指して 技術修得を目指す。

3.専門教育は、「保育の本質・目的に関する科目」、「保育の対象の理解に関する科目」、「保育の内容・方法に関する科目」、「保育の表現 技術」および実習関連科目で構成する。「保育の本質・目的に関する科目」では、児童福祉や保育者としての本質に関する科目で構成している。 「保育の対象の理解に関する科目」では、子どもの心身の発達に資する知識を身につける。「保育の内容・方法に関する科目」では、キリスト教 保育を含めて保育内容について幅広い知識と実践を学ぶ。「保育の表現技術」に関する科目では、子どもの表現を広くとらえながら遊びを促して いく技術の修得を目指している。各科目群は、保育者に必要な知識・技術を養成するため、段階的に進行する。さらに、実習関連科目では保育者 として必要な総合的な力を養成する。

4.保育士資格と幼稚園製諭二種免許状を取得するために必要な科目を別途資格免許に係る必修科目として配置している。また、多様化する社会のニーズに対応するためにピアヘルパー資格、こども音楽療育士、認定べビーシッター資格が取得できる選択科目を配置している。

				必	選	遇	围授業	時間	敗											
			授業科 目			1 4	手次	2 年	巨次	到達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
				修	択	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	5 - 1	5 - 2	5 - 3
	教職に		保育者論	2		2				 血理職に裏付けられた専門的な知識、技術、判断をもった保育者の専門性につい て理解することができる。 保育士、幼稚園教諭の資格、専門職としての倫理性と資務の自覚が必要であるこ とを理解することができる。 まざまえ事例を通して、保育者に求められる専門性と省窮について理解することができる。 保育者として保護者や地域社会との協働、各専門機関との協働について、事例から理解することができる。 自己変革に向けた保育士、幼稚園教諭として何を考え、何をすることが必要か、 自分なりに説明できる。 		\bigcirc				0				
	に関する科目	保	保育原理	2			2			 保育の意義や社会的役割がわかり、現在の保育制度および将来構想に関する知識を持つ。 多様な保育思想、保育目標、保育方法があることを知り、それぞれの特徴がわかる。 多様な保育を作り出すための明確な視点を持ち、保育のあり方を考えることができる。 		0			0					
		育の本質・目	教育原理	2				2		 教育の意義、教育の目的、教育と児童福祉との関連性について理解できる。 教育の歴史について学び、教育の基本原理について理解できる。 日本と諸外国の教育制度および教育実践の多様な取り組みについて説明できる。 小児教育の目的について、教育基本法その他の教育関係法規を参考に説明できる。 生涯学習社会における教育の課題について理解できる。 		0			0					
専		的に関する科目	児童家庭福祉	2		2				 現代社会における児童家庭福祉の意義と保育との関わりについて説明できる。 児童家庭福祉の建念とあゆぶこへいて説明できる。 児童家庭福祉の制度や実施体系について説明できる。 児童家庭福祉の制度や実施体系について説明できる。 児童家庭福祉の現状と課題、展望について説明できる。 児童家庭福祉の実践と従事者の役割、各領域における相談援助活動の役割を訪 明できる。 		0			\bigcirc					
門		П	社会福祉		2		2			 現代社会における社会福祉の意義、歴史的変遷を説明できる。 社会福祉と児童福祉や児童の人様、家庭支援との関連性について説明できる。 社会福祉の期度、実施体系等ついて説明できる。 社会福祉における相談援助、利用者の保護にかかわる仕組みについて説明できる。 社会福祉にあける相談援助、利用者の保護にかかわる仕組みについて説明できる。 		0			\bigcirc					
教			社会的養護		2			2		 養護問題の現状や背景を説明できる。 社会的兼護の体系や児童福祉施設などの役割を説明できる。 児童福祉施設における養護の実際について説明できる。 児童福祉援助者としての保育士の役割や援助内容について説明できる。 通切な児童観、施設養護観を持つことができる。 		0			\bigcirc					
育			相談援助		1			2		1. 相談提助の基本原則を理解し、保育士として実践する相談援助の内容とその過程を説明することができる。 2. 保育場面で相談援助を行う専門家として望ましい姿を描き、説明することができる。 3. 専例研究・演習を通して相談援助の各方法を活用した子どもたちのウェルビーングを目指した取り組みを検討することができる。			0		\bigcirc					0
科	す教殿		保育の心理学 I	2		2				1. 保育実践に関わる発達心理学の知識を習得し、実践に結びつけることができる。 2. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。 3. 子どもが人との相互的かかわりを通して発達していくことを具体的に理解し説明 することができる。		0	0							
Ħ	科に日間	保	保育の心理学Ⅱ		1		2			 子どもの心身の発達と保育実践の関連について具体的に説明できる。 生活や遊びをとおして学ぶ子どもの経験や学習の過程について記述できる。 保育における子どもの発達と提助について記述できる。 		\bigcirc	\bigcirc							
		育の対象の理	臨床心理学(カウンセリング含む)		2				2	 基礎的な人格理論や発達理論について説明できる。 子ども理解に関わる基礎的な心理的アセスメント方法について説明できる。 言語的・非言語的心理説助の方法を説明できる。 自己理解を译める方法について説明できる。 			0		\bigcirc					
		解に関する科	こどもの保健 I		2		2			 保育者として保健活動の重要性が理解でき、他機関との連携の必要性が考察できる。 人口動態統計から我が国の子どもの姿がとちえることができる。 子どもの身体的発育、身体機能の発達が理解できる。 		0	0							
		E	こどもの保健Ⅱ		2			2		 子どもの病気(こころの問題も含む)と保育上の配慮点が理解できる。 子どもによく見られる感染症および園における感染症対策が理解できる。 保育における衛生管理、安全危機管理を理解、考察できる。 		0	\bigcirc							

				必	選		見授業				DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP
			授業科目	修	択		∓次 後期		年次 後期	到達目標	1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	5 - 1	5 - 2	5 — 3
			こどもの保健演習	19	1				2	 子どもの健康にかかわる保健活動の計画および評価ができる。 子どもの養護技術が身につく。 教会教会処置および応急処置法が身につく。 保育現場における安全管理の具体的な方策を導き出すことができる。 子どもの健康(心の問題も含む)を取り巻く関連機関との連携の在り方を考察できる。 			0							0
		保育の対象の理解	こどもの食と栄養		2			4	(4)	 子どもの食生活の特徴について説明できる。 完美に関する基礎的知識について説明できる。 - どのような食べ物をどれだけ、どのようにして食べたら望ましい食生活といえるの が現明できる。。 子どもの発育・発達に応じた栄養と食生活について理解できる - 保育者として の援助の役割について説明できる。。 食育の基本とその内容及び食育のための環境を伝統ある食文化・行事食や地域の 特性を生かした食とのかかわりの中で理解できる。 児童福祉施設における食生活等について把握できる。 		0								0
		床に関する 科目	家庭支援論		2			2		 保育所の持つ「子育て支援」をの社会的役割の重要性を理解する。 現代の家族を取り巻く社会環境から家庭生活、とくにその人間関係(夫婦・親子・きょうだい)の現状を理解することが「子育て支援」のために必要不可欠であることを理解させる。 保育所以外の児童福祉施設の親における「子育て支援」とその連携について理解する。 4、個別の家族のニーズに応じた多様な支援提供が必要であり種々の援助活動および 関係機関との連携について理解させる。 					0					0
-			保育·教育課程論		2		2			 保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と、評価について説明できる。 計画、実践、省家・評価、改善の過程について、その全体構造を説明できる。 保育課程・教育課程の組織と指導計画の作成について、具体的に説明できる。 知知所提書計画(通・日案)を作成することができる。 部分指導案作成を模擬保育の液習を経て修正し、自己評価することができる。 							\bigcirc		\bigcirc	
			保育内容総論	1		2				 「保育内容総論」の意義と、乳幼児の保育内容が説明できる。 子どもの発達の順序性と、適切な援助について説明できる。 グループで協力して、指導計画を作成し、模擬保育の発表ができる。 		\bigcirc							\bigcirc	0
			保育内容「健康」		1	2				 幼児教育の目的と領域「健康」のねらいおよび内容について理解する。 子どもの心と健康、それにかかわる保育者の資料を理解する。 子どもの健康と遊びおよびその環境構成を理解する。 生活習慣の形成・安全教育について理解する。 		0							\bigcirc	0
車			保育內容「環境」		1		2			 保育における「環境」の意味を理解することができる。 幼稚園・保育所における保育内容「環境」のねらいと内容を知り、理解することができる。 子どもの環境へのかかわり方の発達の過程を理解し、援助の方法を考察することができる。 簡育・栽培の方法について具体的に知り、実践する方法を身につけることができる。 幼児期の環境教育の方法を知り、望ましい方法を探究することができる。 園環境のあり方について理解し、環境構成の計画をすることができる。 		0							0	0
門			保育内容「言葉」		1		2			 乳幼児期の言葉の育ちの過程について理解することができる。 子どもの言葉の育ちと保育について、様々な事例をもとに考察することができる。 子どもの言葉の育ちを支える児童文化財について理解することができる。 児童文化財を活用した実践研究をすることができる。 保育内容「言葉」のおらいと内容ついて理解することができる。 		0							0	\bigcirc
教			保育内容「表現(造形・絵画表 現)」		1			2		 作品を試行錯誤しながら完成させる喜びを知る。 実習を通して、様々な素材、造具に償れ親しみ、豊かな表現が出来るようになる。 保育者としての造形的な知識や技能、実践的な指導力が身につく。 		0							0	0
育科	教職に関する	保育の	保育内容「表現(身体・音楽 表現)」		1			2		 音楽を聴いて即時に反応し、基礎リズム、強弱、速度についてより深く理解する。 様々な形で表現する喜びを味わう。 ダルクローズ・リトミックを理解し、表現する力を獲得する。 		0							\bigcirc	0
E	科目	内容・方法に関す	保育内容「人間関係」		1				2	 幼稚園教育要領および保育所保育指針における領域「人間関係」の位置づけを、 説明できる。 国生活における「人とかかわる力」の育ち(社会性の発達)について、遊びとの 関連で説明できる。 国生活における子どもの集日形成やグループ活動について、説明できる。 再どもの「人とかかわる力」を育てるための保育者の働きについて、説明できる。 国生活におけるけんや問題行動と保育者の対応について、説明できる。 		0							0	0
		,る科目	保育実践の理解と方法		1			2		 幼稚園教育の基本的な考え方、子どもの発達の援助を行うための指導法について 理解することができる。 幼稚園の保育内容について学び、実践することができる。 幼児指導に向けて適切なねらいと内容、効果的な指導法、環境構成と数材の準備 ができる。 			\bigcirc				0			
			保育メディア演習		1				2	 人間としての「育ち」全体の観点に立って、「メディア(媒介物)」の活用を 考えることができる。 保育者として必要な情報機器および数材の活用ができる。 これまで継承されてきた教育方法について理解できる。 自らの保育において重要な方法について考える力を身につける。 		0					\bigcirc			
			保育相談支援		1				2	 保育における相談援助の必要性について説明できる。 カウンセリングの基礎的技能を実践できる。 保育におけるアセスメントの意義と方法、それに基づく援助のあり方について説明できる。 保育相談支援における連携の意義と実際について説明できる。 					0					0
			障がい児保育 I		1		2			 確応いの定義と確がい児保育の理念が説明でき、特別が保育ニーズを明らかに することができる。 様々な確がい特性について説明でき、個別的な保育上の留意点をあげることが できる。 保育所、障がい児通園施設等における障がい児保育の役割を説明することができ さる。 除がい児保育場面における具体的な支援方法を説明することができる。 除がい児保育場面における具体的な支援方法を説明することができる。 除がい児保育問題した旅育・相談機関の種類と内容を説明することができ る。 		0	0							
			障がい児保育Ⅱ		1			2		 国がい現保育の歴史的変換の流れ、特別支援教育(保育)の理念を説明することができる。 秘密部にいの各幅幅がいの特性を説明することができる。 保育・教育現場で見られる障がい児の問題・課題に対する対応方法を計画することができる。 国がいのある子どもの保育指導計画を作成することができる。 			0							0
-			乳児保育 I		1		2			 乳幼児の成長発達に即した保育の基本を理解する。 乳児保育担当者としての基本的知識・技能の習得を図る。 愛着形成期の子どもとのかかわりが人格形成の基礎となることを理解する。 かかわりの実際を学ぶ。 		0	0				<u> </u>			
			乳児保育Ⅱ		1			2		 乳幼児の成長発達に即した保育の基本を理解する。 乳児保育担当者としての基本的知識・技能の習得を図る。 愛着形成切りたともとのかかわりが人格形成の基礎となることを理解する。 かかわりの実際を学ぶ。 			0							0

				必	選		授業				DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP
			授業科目	修	択		₣次 後期		年次 後期	到達目標		1 - 2						5 - 1		
			社会的養護内容	15	1				2	 社会的養護における児童の権利擁護について理解する。 施設養護反び他の社会的養護の機能や役割について具体的に学び理解する。 個々の児童に応じた自立交援計測・養護計画の作成の意味と留意点を理解する。 援助(基本均生活・親子関係調整・学校や地域との関係調整・自己実現等)の方法や技術(内容理解を) 援助者としての倫理・人間性と専門性の向上に努めることを具体的に学び理解を する。 社会的養護を通して家庭支援・児童家庭福祉や地域福祉について理解や認識を深める。 			0		0					0
		保育の内	キリスト教保育	2			2			 キリスト数保育の歴史を知り、その思想について理解できる。 キリスト数保育における行事の職要を知り、その意義について理解できる。 キリスト数保育における礼拝・祈り・賛美・型語・型書の劇等について理解できる。 キリスト数保育の基本理念について理解できる。 キリスト数保育の機幹にある子ども観・人間観について考えることができる。 	0								0	
		容・方法に関	こども音楽療育概論		2		2			 音楽療法に関する基本的考えを理解できる。 対象児の発達とそれに応じての音楽活動について理解できる。 		0							\bigcirc	\bigcirc
		丙する科目	こども音楽療育演習		1			2		 コミュニケーションを育てる療養プログラムを立案できる。 障がい別、形態に応じて適切に工夫した楽器の使い方や弾き歌い、即興伴奏ができる。 複擬セッションの実施とその評価ができる。 									0	0
			こども音楽療育実習		1				5日間	 実際に子ども達(確がいをもった子ども達)とのグループ体験や音楽活動へ参加 や観察実習、体験実習を通して音楽を活動の実践方法を身につけることができる。 									\bigcirc	0
			在宅保育		2				2	 在宅保育の意義や役割について知る。 家庭訪問保育者として必要な知識・技能について理解できる。 									\bigcirc	\bigcirc
			音楽の基礎		1	2				 発声法・呼吸法を実践し、声をスムーズに出すことができる。 音楽理論を学ぶことで、楽譜を読たことができる。 正確な音優ともことができる。 音楽における基本的な知識や技能を理解し、実践できる。 		\bigcirc							\bigcirc	
専			こどものうたあそび		1		2			 曲中で音程を正しくとることができる。 自ら曲想を考え、表現しながる軟電することができる。 保育現場における音楽的活動を展開するために必要な知識や技能を習得できる。 									\bigcirc	
門			こどものためのピアノI		1	2				 手の構えや運指法などの基本を習得する。 「バイエルビアノ数則本」の第100番程度の曲やマーチの演奏が出来るようになる。 									\bigcirc	
教			こどものためのピアノ II		1		2			 『幼児の音楽教育』と『幼児さんびか』を教材として演奏技術を培い、それらの 弾き語りができるようになる。 『バイエルビアノ教則本』の第100番程度の曲やマーチの演奏が出来るようになる。 									\bigcirc	
育科	教科に		こどものうたと伴奏法 I		1			2		 「幼児の音楽教育』と『幼児さんびか』の約30曲の弾き語りが出来るようになる。 『バイエルピアノ教則本』の第100番程度の曲やマーチの演奏が出来るようになる。 									\bigcirc	
Ħ	関する科目		こどものうたと伴奏法 II		1				2	 主に『幼児の音楽教育』と『幼児さんびか』を教材として演奏技術を培い、それ らの弾き語りが出来るようになる。 									\bigcirc	
		保育の	器楽アンサンブル		1				2	 1. 簡易打楽器の取扱い・委法を理解できる。 2. リズム譜の理解と読譜力を向上させリズム譜の作成をすることができる。 3. 様々な楽器を使ってアンサンブルすることができる。 4. 子ども達への器楽アンサンブルの指導ができる基本的な技術を身につけることができる。 									\bigcirc	
		表現技	こどもの造形あそび		1	2				 様々な素材、道具に慣れ親しみ、豊かな表現ができる。 保育者としての総計的な知識や技能、実践的な指導力を身につけることができる。 									\bigcirc	
			こどもの運動あそび		1		2			 幼児体育の果たしている意義と登制を理解できる。 子どもの全面的な発達を促すために、人間の運動発達について理解できる。 幼児の体育指導に必要な技術・技能について理解できる。 									\bigcirc	
			こども文化	1		2		<u> </u>		 子どもの成長と文化のかかわりについて説明できる。 さまざまな子どもの文化財についての基本を説明できる。 子どもを取り巻く文化に関心を持ち、主体的に課題発表に取り組む。 		ļ		0			ļ	ļ		\bigcirc
	\diamond		こどもの発達理解とあそび		1			2		 乳幼児期の心身の発達と遊びとのかかわりについて説明できる。 干どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について記述できる。 発達にそくした遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 			0	0						\bigcirc
			こどもの生活とあそび		1				2	 生活科の教科目標、評価の観点及びその趣旨を説明できる。 生活科の学習内容と具体的活動について知り、遊びの事例や教材について説明できる。 幼稚園・保育所(園)と、小学校との連携について説明できる。 				0						\bigcirc
	教科に関する科		こどもの文学と物語		1				2	 子どもの精神世界を見つめ、子どもに関する日常の疑問にも答えることができる。 感じたこと、考えたことなどイメージしたことを自分らしいやり方で表現することができる。 		\bigcirc	0							
	Ξ		保育総合表現		2				4	 音楽表現、身体表現、言語表現、造形表現を総合した表現活動を体験できる。 満技力、軟唱力、創作力を磨き、子どもに相応しい表現力を体得できる。 チームワーク力、コミュニケーション力を養い、共同作業において自らの関わり 方を検証できる。 							0	0	\bigcirc	

				必	選	退	围授業	時間	数											
			授業科目			1 4	手次	2 4	手次	到達目標	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P	D P
				修	択	前期	後期	前期	後期		1 - 1	1 - 2	2 - 1	3 - 1	3 - 2	4 - 1	4 - 2	5 - 1	5 - 2	5 - 3
			こども学基礎演習	2		2	2			1. 保育現場の現状を知り、保育者としての自分の見通しを持つことができる。 2. 保育者として、社会人として必要な人間関係形成・社会形成能力を備える。 3. 自己の役割を見出し、様々な他者を認めつつ協働していく力を持っことができる。 4. 保育者として、様々な課題を発見し適切な計画を立ててその課題を処置し解決できる力を身につける。						\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc		
		総合法	こども学特別演習	2				2	2	 主体的に研究課題を設定し、実践や演習方法を考え、実行することができる。 研究活動やその成果に対して、適切な自己評価および相互評価ができる。 ゼミ内外の学生と協力して、研究報告発表会等を企画運営することができる。 						\bigcirc	0			
	\$	· 演 習	保育·教職実践演習(幼稚園)		2				2	 保育者としての使命感を持ち、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を身 につける。 2. 回條保育者や保護者、地域の専門機関との関係を築きながら、保育実践に取り組 むとができる。 3. 子ども理解のための観察や記録に基づき、子どもの発達や心身の状況に応じた保 育をする力を見やにつける。 4. 保育に関する現代の問題解決のための対応・判断力を身にっける。 5. 保育理場での問題解決のための対応・判断力を身にっける。 6. 保育者として必要な知識・技能が修得できたかどうか自己確認し、自己課題を明 確にできる。 			0		0	0	0	0		0
	教育実		教育実習指導		1	Ļ			→	1. 2年間の実習計画を体を知り、各類(教育実習1(1年後頃、2年前期)、教育 実習Ⅱ(2年後期))の教育実習の意義・目的・内容にひって理解できる。 2、実習欄でのオリエンテーションの受け方や実習の基本的心得について理解し、実 裁できる。 3、実習の際に必要な、観察と記録の方法、教材研究や指導案作成方法などを中心 に、これまで各構築や演習で学んだ知識と技術を総合的に活用しながら実習に取り組 む準備ができる。 4. 実習後には、グループ別話合いや個別面読および報告会を通して自己課題が明確 にできる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	昭		教育実習 I		1	← 1	週 →			 実習生としての基本的態度を客(こつけることができる。 キリスト教内容を体験的に理解できる。 子どもと一緒に生活し、幼児の発達の姿を理解することができる。 分権顕教育の実際が概れ理解できる。 観察の方法にお記録の書と方が理解できる。 教材研究の方法について、実習体験を通して理解できる。 	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
申	教		教育実習Ⅱ		1			1週		 キリスト教保育を体験的に理解できる。 幼稚園教育の実際が理解できる。 幼児理解の方法について、実習体験を通して考えることができる。 実習日誌の作成ができる。 教材研究の方法が実習体験を通して理解できる。 	\bigcirc	0	0	0	0	\bigcirc	0	0	0	0
門	育実習		教育実習Ⅲ		2				2週	 実習園において観察実習に基づいて、参加実習を担当することができる。 指導業を作成し、部分実習や一串実習を担当することができる。 実習園における各種の行事や幼稚園数論の職務を体験的に理解できる。 実習園における毎日の保育について記録にまとめ、考察することができる。 実習園における毎日の保育について記録にまとめ、考察することができる。 実習体験をもとに総合的考察を行ない、自らの今後の課題をまとめることができる。 	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教 育 科			保育実習指導 I		2	2	2			 保育実習の変差・目的について説明できる。 保育実習に対する心構えをもち、実習課題を明確化できる。 実習認識の意義・方法を理解し、実際に記録できる。 実習施設の概要について説明できる。 実習施設における担当保育士の指導を通して、保育内容や子どもへの理解を深める。 保育実習に関する事務手続きについて犯罪し、適切に処理できる。 (不言実習に関する事務手続きについて犯罪し、適切に処理できる。 実習の事後指導及び実習施設の評価をもとに、自己評価を行い、新たな学習目標や課題を明確にする。 	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E			保育実習指導Ⅱ		1			1	1	 保育士としての職業倫理を説明できる。 子どもの家族とのコミュニケーションの取り方や、地域社会との連携方法につい で説明できる。 個々の子ともの個人差やニーズを把握し、子どもの最善の利益に配慮した関わり について説明できる。 保育課題や指導計画について理解し、立案できる。 保育課題で指導す適匹では肥良し、適切に処理できる。 保育新保育に関する事務共能について犯罪し、適切に処理できる。 保育所保育士に求められる資質、能力、技術を理解し、自分の課題や今後の方向 性を明確化できる。 	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			保育実習指導Ⅲ		1			1	1	 施設実習Ⅱにおける実習の意義・目的・内容について説明できる。 施設実習Ⅱに対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。 児童福祉施設における保持士の役割について説明できる。 加速設計の指定計の役割について説明できる。 施設実習Ⅱにおいて求められる基本的な養護・療育技術を実践することができる。 実習後の振り返りから、施設保育士の役割の観点から自己課題を明確にできる。 	\bigcirc	\bigcirc	0	0	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0
		保育実習	保育所実習 I		2			10日		 実習を行う座育所の役割や機能について説明できる。 実習を行う座育所の役割や機能について説明できる。 乳幼児とのかがわりを通して、子どもの発達について説明できる。 乳幼児としたがわりを通して、子どもの発達について説明できる。 保育課程・指導計画の意義について説明できる。 実習を通して保育技術を習得し、実践につなげることができる。 子どもの発音の利益を具体化するための取り組みについて説明できる。 実習を通して自己の課題を明確にできる。 	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			保育所実習 II		2				10日	 保育全般に参加し、習得した管算技術を実践に活みすことができる。 乳坊児の個人差について理解し、子どもへの対応方法を実践できる。 指導計画を立案し、それを実践できる。 指導計画を立案し、それを実践できる。 様本な保育ニーズについて理解し、保護者や地域社会との連携を説明できる。 テどもの最悪の利益への配慮を通して、保育上に求められる資質について説明できる。 デとの最悪の利益への配慮を通して、保育上に求められる資質について説明できる。 	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			施設実習 I		2				10日	児童福祉施設の役割と、そこで生活している子どもの専門職員の役割、他機関との連 携、地域との連携などについて理解をする。 1. 子どもとともに左后としながら、子どもの観察をし、ニーズを見出すことができる。 3. 養護・療育活動に参加し、適切な処遇のあり方について考えることができる。 3. 養護・療育活動に参加し、適切な処遇のあり方について考えることができる。 4. 保育士としての倫理観、子どもの最節の料益を保障するための具体的対策など、 保育士とロて倫理観、子どもの最節の料益を保障するための具体的対策など、 保育士の役割について渡りできる。 5. 安友及び疾病子防いの配慮について考え、実践できる。 6. 職員のそれぞれの役割とテームワークについて理解した上で、自分の役割を遂行 できる。 7. 地域の中での児童福祉施設の役割について説明できる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			施設実習Ⅱ		2				10日	 対象児・者についてのアセスメントの意味を説明できる。 養護計画・擁育計画の作成を試みる。 保育士の専門性について十分理解し説明できる。 	\bigcirc									